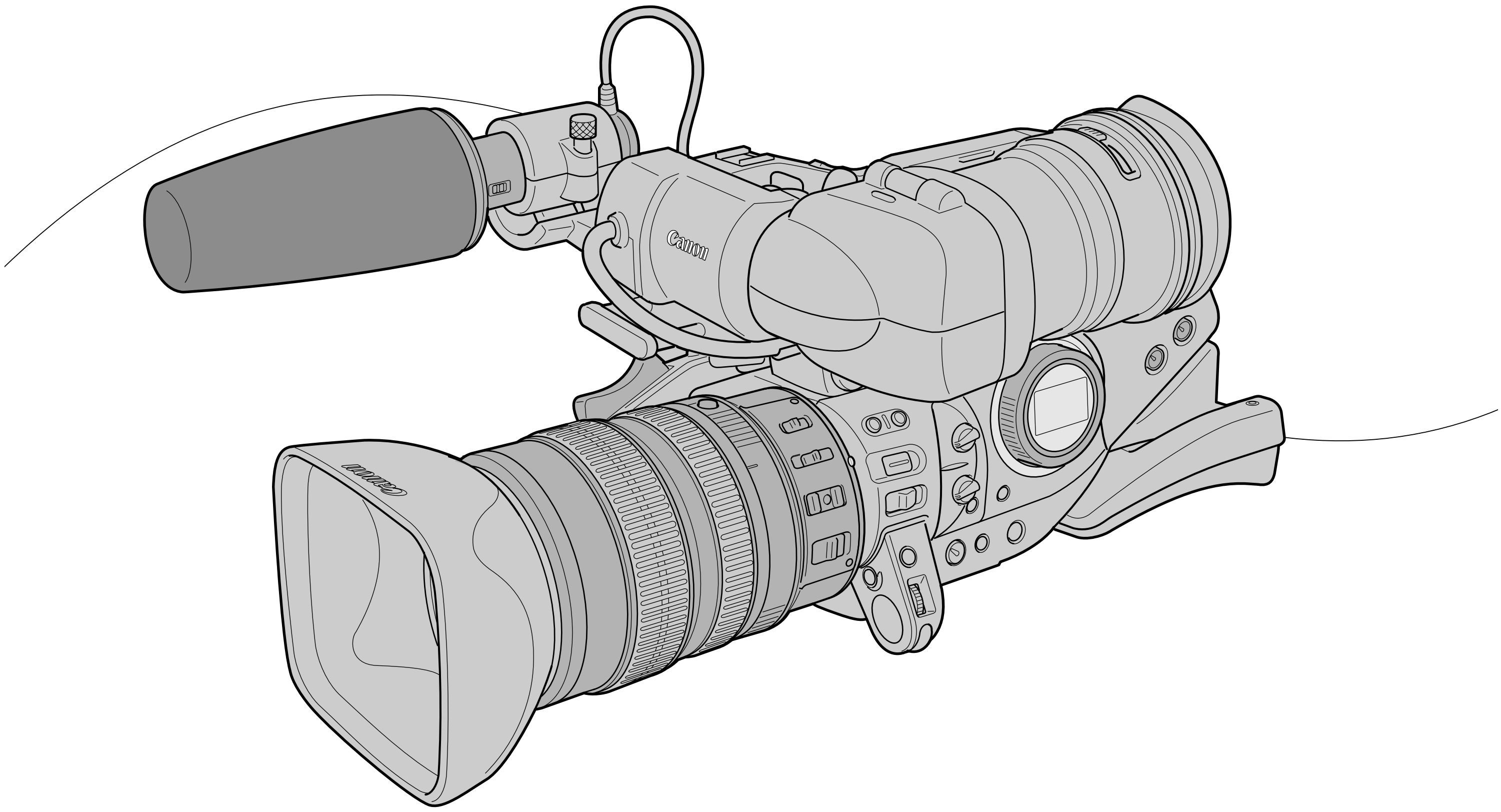
PUB. DIJ-222

Canon

HD VIDEO CAMERA RECORDER

XL H1



Mini DV Digital Video Cassette

HDV

HDV 1080i

使用説明書

はじめに

準備編

撮影編

再生編

編集編

カード編

その他

もくじ

はじめに

準備編

撮影編

本書の使いかた

このたびは、キヤノンXL H1をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

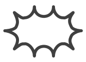
本書の構成は、次のとおりです。

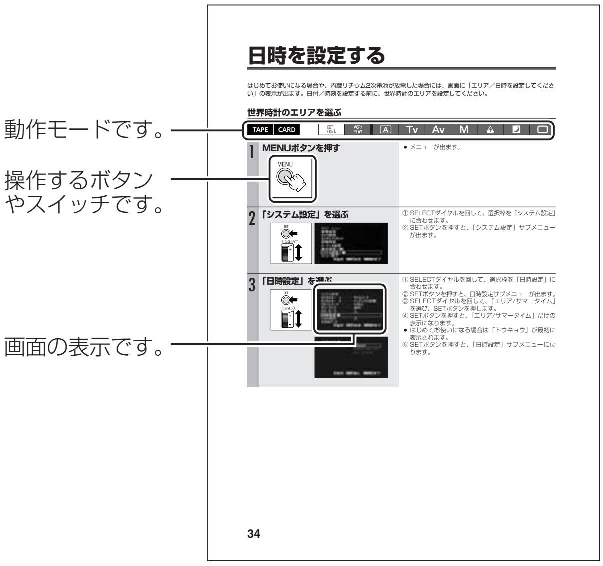
本書の記載について


：操作するうえで、守っていただきたいことです。


：基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。

（🕮 ○○）：（　）内の数字は参照ページです。


：表示の点滅を示しています。

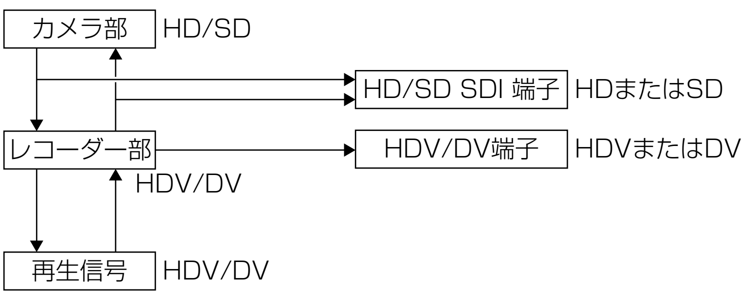


- 文中の「画面」は、ファインダーの画面を表しています。
- 文中の「カード」はSDメモリーカードまたはマルチメディアカードを表しています。
- 本書では、入力端子は「CH1、CH2、CH3、CH4」と、録音するチャンネルは「チャンネル」と表記しています。
- 本書では、キヤノンHDビデオズームレンズ5.4-108mm L ISⅡズームレンズをHD 20X L ISレンズと表記しています。
  またイラストはHD 20X L ISレンズ装着時になっています。
- 作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。
- 動作モードによっては、使用できない機能があります。本書では、次のように表示しています。


：使用できます。

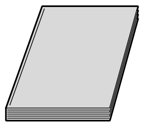
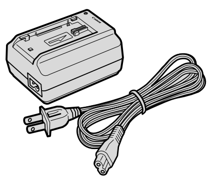
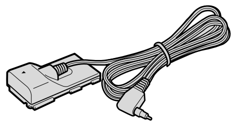
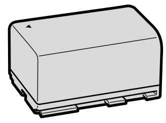
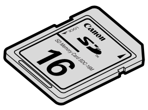
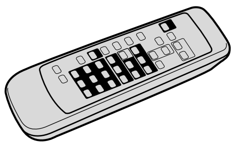
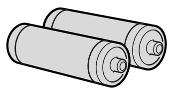
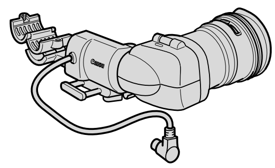
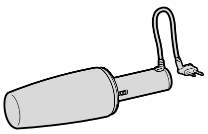
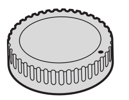
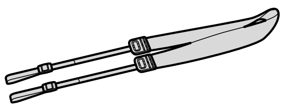
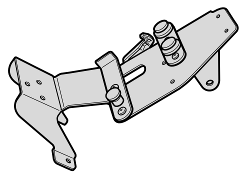
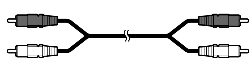
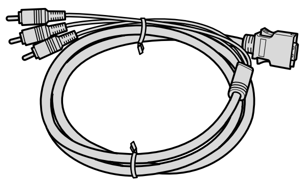
：使用できません。

- 本書では、HD/HDV、SD/DVの各信号規格を以下のように定義しています。



付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

XLH1使用説明書 	コンパクトパワーアダプター CA-920 	電源カプラー DC-920 	バッテリーパック BP-950G 
SDメモリーカード SDC-16M 	リモコン （ワイヤレスコントローラー） WL-D5000 	リモコン用単3電池 2本 	ファインダーユニット 
マイク 	マウントキャップ （本体装着） 	ショルダーストラップ SS-1000 	アダプターホルダー ユニット 
ステレオケーブル  （赤） （白）	D端子コンポーネント ビデオケーブル　DTC-1000 		

はじめに

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万が一、ビデオカメラが正常に動作しない場合は、「トラブルシューティング」（📖 173）をご確認ください。

HDV記録時のテープについて

HDV記録用には、HDV対応テープの使用をおすすめします。

記録内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラやテープなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

長時間録画モードについて（DV規格）

長時間録画（LP）モードは、標準（SP）モードの1.5倍の録画ができる機能です。長時間録画モードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

- Canonは、キヤノン株式会社の登録商標です。
- “Mini DV”ロゴは商標です。
- HDVおよびHDVロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- Windows®は、米国Microsoft社の米国および他の国における登録商標です。
- 「LANC」ロゴおよび「LANC」マークは、商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機をIEEE1394端子付きのパソコンと接続するときは、別売のDVケーブルCV-150F/CV-250Fをお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠警告 火災、感電、破裂などにより、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

万が一のとき

⚠警告

プラグをコンセントから抜く

● **・煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生したとき**
・落としたり、外装を破損したとき
・内部に水、海水などの液体や異物が入ったとき
上記の場合は、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックもはずす。
火災、感電の原因。キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店に修理を依頼してください。

接触禁止

● **雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。**
感電の原因。

禁止

● **バッテリーパックから液もれしていたら使わない。**
皮膚の障害、失明、発火の原因。
・液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
・万一目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

機器を取り扱うとき

⚠警告

分解禁止

● **分解、改造しない。**
発熱、火災、感電、けがの原因。

禁止

● **強い振動や衝撃を与えない。**
破損により、火災、やけど、けがの原因。特に、液晶画面やレンズは、強い衝撃を与えて、割れるとけがの原因。

強制

● **指定された機器を使用する。**
火災、感電、けがの原因。

禁止

● **機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせない。また、ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない。**
火災、感電、けがの原因。

水濡れ禁止

● **ぬらさない。**
火災、感電、やけどの原因。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特に注意してください。

禁止

● **絶対に、バッテリーパック、コイン型リチウム電池などを、加熱や火中投入しない。**
破裂により、やけど、けがの原因。

禁止

● **電源コードを傷つけない。**
・加工しない。
・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜く。
電源コードが傷つくと（芯線の露出、断線等）、火災、感電の原因。

安全上のご注意…つづき

⚠警告

強制
● **電源プラグは根元まで確実に差し込む。**
火災、感電の原因。

強制
● **充電中は長時間触れない。**
低温やけどの原因。

禁止
● **海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しない。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。**
火災、感電、けがの原因。

⚠注意

強制
● **飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。**
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

ぬれ手禁止
● **ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**
感電の原因。

強制
● **コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまない。**
発熱により、やけどの原因。

強制
● **コード類は、つまづかないように配置する。**
足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

強制
● **バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付ける。**
脱落すると、けがの原因。

強制
● **バッテリーパックやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。**
落ちると、けがの原因。

使用・保管するとき

⚠警告

風呂場、シャワー室での使用禁止
● **風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。**
内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。

禁止
● **直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。**
発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。

禁止
● **不安定な場所に置かない。**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因。

強制
● **電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。**
火災の原因。

禁止
● **バッテリーパックの端子部に金属製のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。**
「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因。

⚠注意

禁止

● **ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。**
内部に熱がこもり、火災の原因。

プラグをコンセントから抜く

● **使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
火災の原因。

撮るとき

⚠警告

禁止

● **運転中に使用しない。**
交通事故の原因。

強制

● **撮影しているときは、周囲の状況に注意する。**
けが、交通事故の原因。

お子様がそばにいるとき

⚠警告

強制

● **コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置く。**
万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。

強制

● **乳幼児の手の届かないところに置く。**
感電、けがの原因。

⚠注意

指をはさまれないよう注意

● **お子様がカセットの挿入口に、指を挟まれないようにする。**
けがの原因。

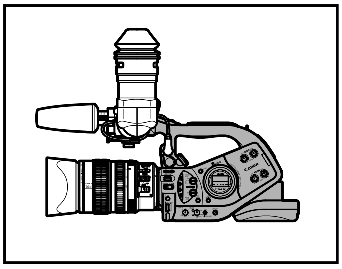
各部の名称

液晶表示パネル照明（LIGHT）ボタン

液晶表示パネルのバックライトの入／切を行います。押すと、約10秒間バックライトが点灯します。3秒以上押し続けると、ボタンを再度押すまでバックライトは点灯します。

使い方の説明は(　)内のページにあります。

本　体



左面

液晶表示パネル照明 (LIGHT) ボタン

エンドサーチ (END SEARCH) ボタン（41）

オーディオモニター (AUDIO MONITOR) ボタン（66、110）

電源 (POWER) ランプ（16）

液晶表示パネル（160）

モード選択 (MODE SELECT)スイッチ（40）

フレームレート (FRAME RATE) スイッチ（51）

カラーファインダー接続用端子（20）

モノクロビューファインダーユニットFU-1000接続用端子

ファインダーピーキング（EVF PEAKING）ボタン

ファインダー拡大（EVF MAGNIFYING）ボタン

露出ロック (EXP. LOCK) ボタン（78）

レンズリリース (LENS RELEASE) スイッチ（25）

設定 (SET) ボタン（32）

絞り (IRIS)／選択（SELECT）ダイヤル（74、76、78）

（録画チェック）ボタン（39）

カラーバー／フェード選択 (BARS/FADE SELECT) ボタン（100、101）

カラーバー／フェード入/切 (BARS/FADE ON/OFF) ボタン（100、101）

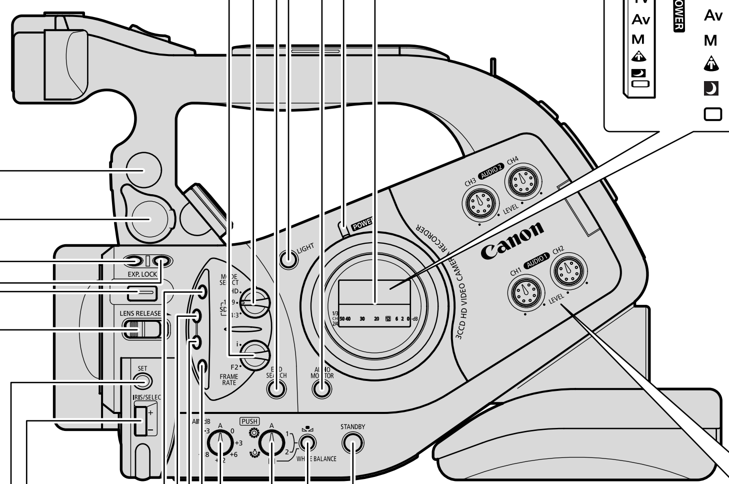
メニュー (MENU) ボタン（32）

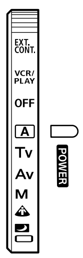
ゲイン (GAIN) ダイヤル（81）

ホワイトバランス (WHITE BALANCE) ダイヤル（82）

ホワイトバランス (WHITE BALANCE) セットボタン（83）

スタンバイ (STANDBY) ボタン（37）

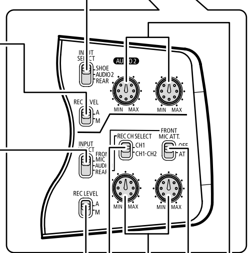




メインダイヤル

- EXT. CONT.　外部コントロールモード
- VCR/PLAY　VCR／PLAY モード
- OFF　電源 OFF
- A　オートモード
- Tv　Tv（シャッター優先）モード
- Av　Av（絞り優先）モード
- M　マニュアルモード
- スポットライトモード
- ナイトモード
- 全自動モード

（A～全自動モード：カメラモード）



入力切換 (INPUT SELECT) スイッチ (CH3, CH4)（61）

録音レベル (REC LEVEL) スイッチ (CH3, CH4)（65、66）

入力切換 (INPUT SELECT) スイッチ (CH1, CH2)（61）

録音レベル (REC LEVEL) スイッチ (CH1, CH2)（65、66）

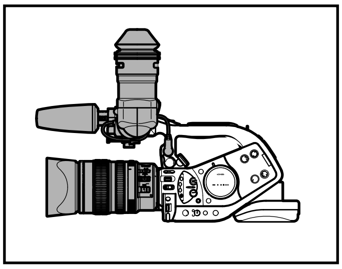
リア入力録音チャンネル切換 (REC CH SELECT) スイッチ (CH1, CH2)（62）

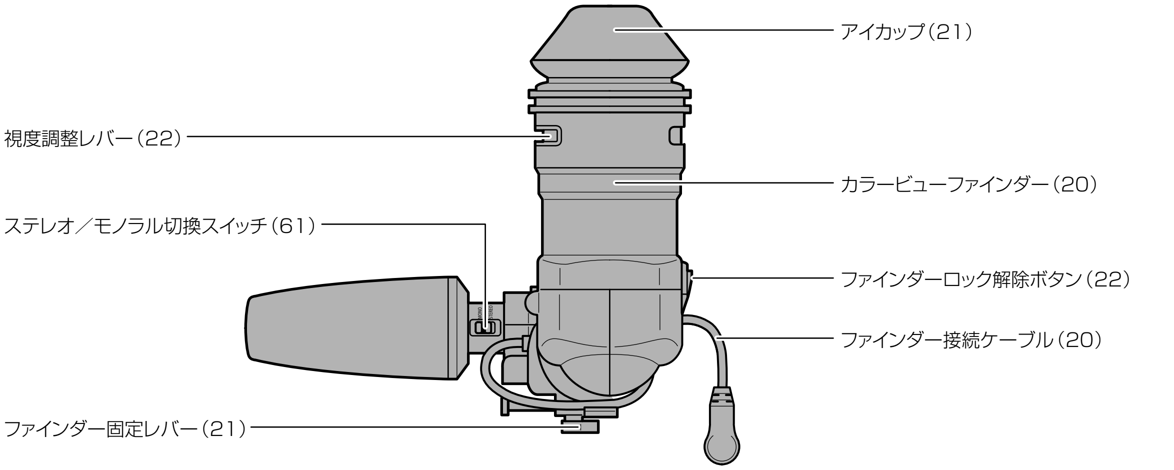
マニュアル録音レベルつまみ (CH1, CH2)（66）

フロントマイクATT. (FRONT MIC ATT.) スイッチ (CH1, CH2)（61）

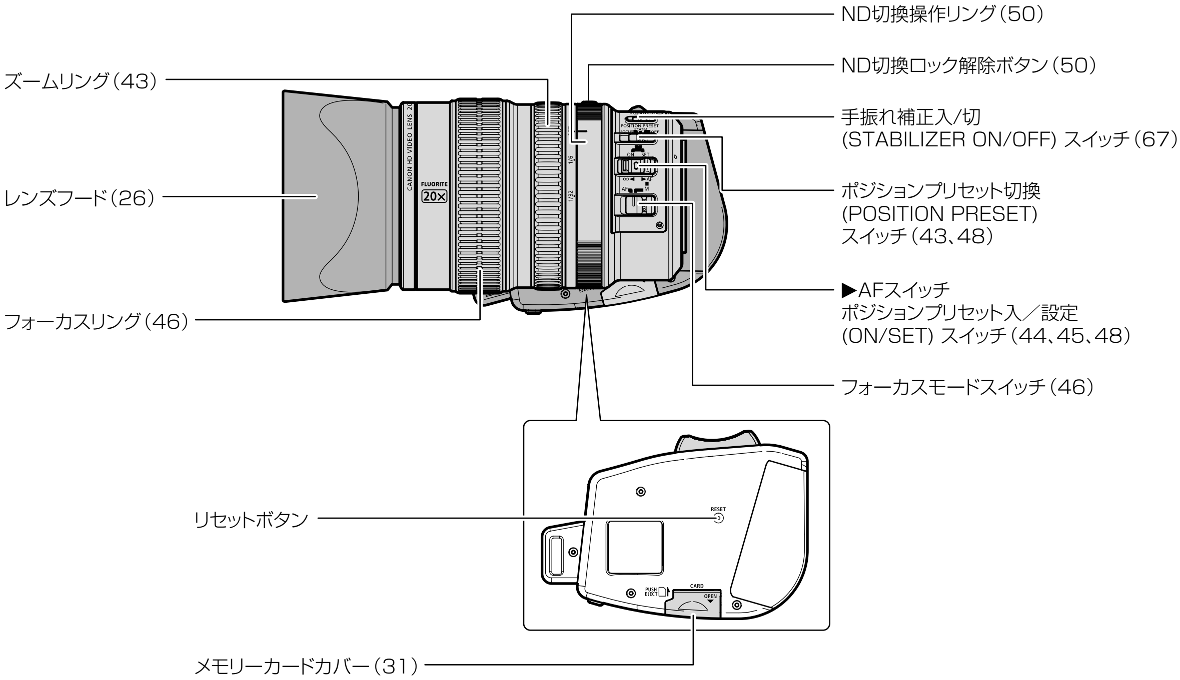
マニュアル録音レベルつまみ (CH3, CH4)（66）

左面





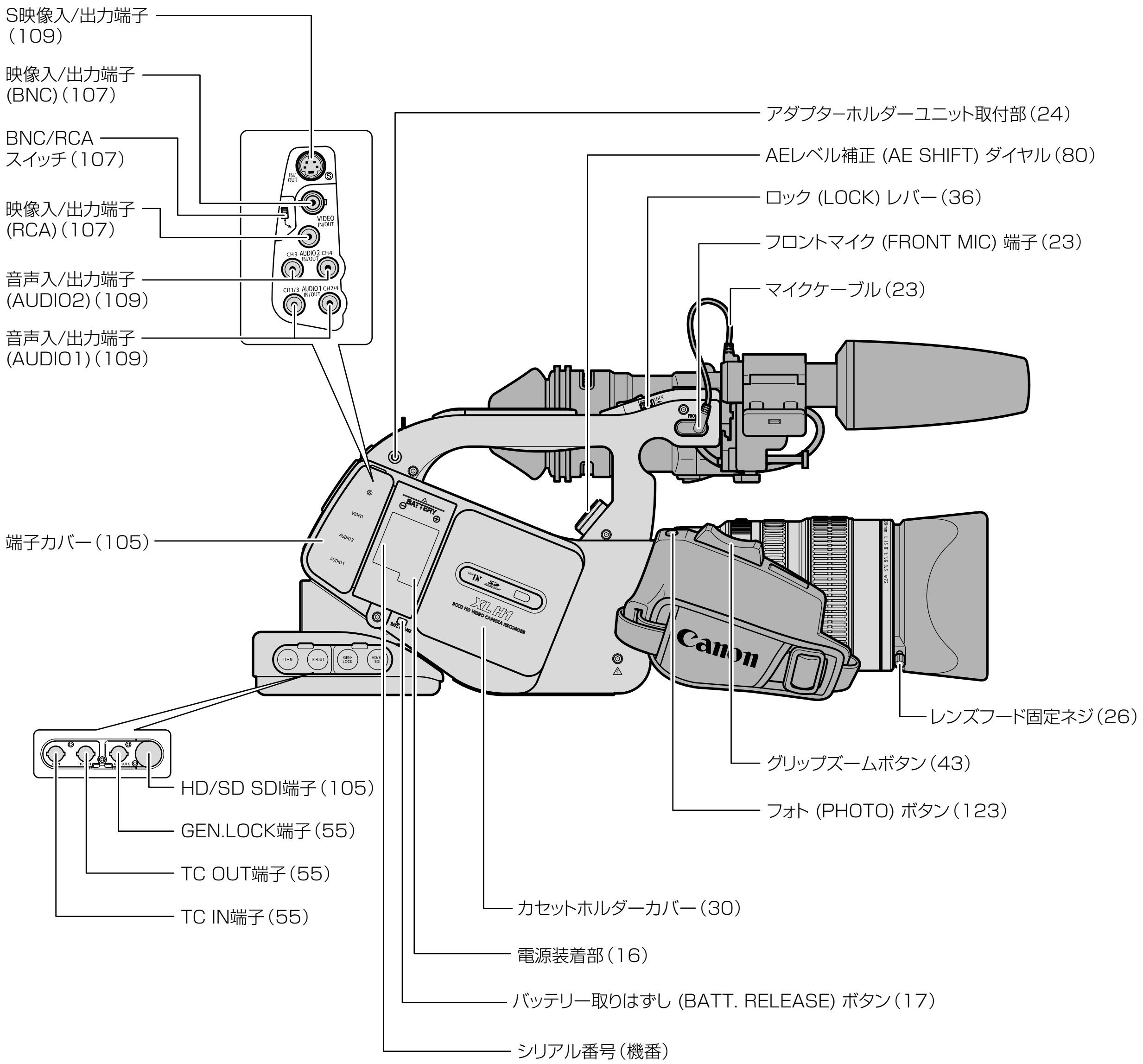
アイカップ（21）
視度調整レバー（22）
カラービューファインダー（20）
ステレオ／モノラル切換スイッチ（61）
ファインダーロック解除ボタン（22）
ファインダー接続ケーブル（20）
ファインダー固定レバー（21）



ND切換操作リング（50）
ND切換ロック解除ボタン（50）
ズームリング（43）
手振れ補正入/切
(STABILIZER ON/OFF) スイッチ（67）
レンズフード（26）
ポジションプリセット切換
(POSITION PRESET)
スイッチ（43、48）
▶AFスイッチ
ポジションプリセット入／設定
(ON/SET) スイッチ（44、45、48）
フォーカスリング（46）
フォーカスモードスイッチ（46）
リセットボタン
メモリーカードカバー（31）

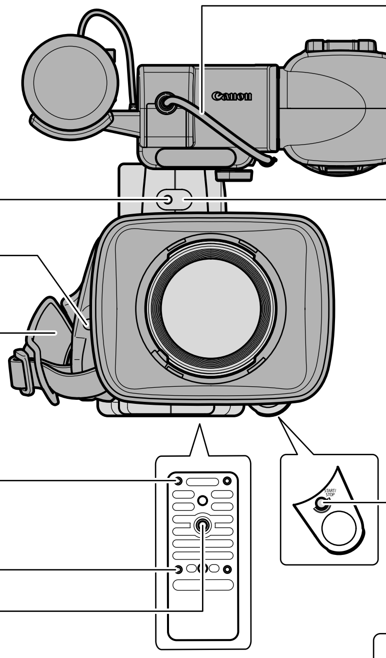
各部の名称…つづき

右面

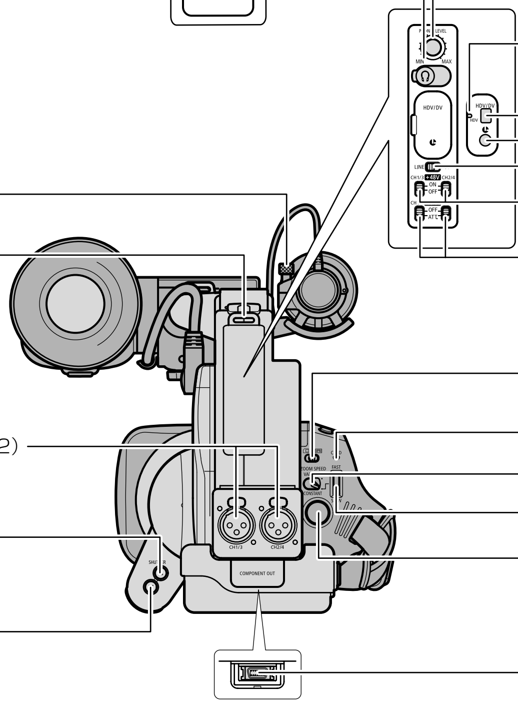


S映像入/出力端子（109）
映像入/出力端子(BNC)（107）
BNC/RCAスイッチ（107）
映像入/出力端子(RCA)（107）
音声入/出力端子(AUDIO2)（109）
音声入/出力端子(AUDIO1)（109）
端子カバー（105）
HD/SD SDI端子（105）
GEN.LOCK端子（55）
TC OUT端子（55）
TC IN端子（55）
アダプターホルダーユニット取付部（24）
AEレベル補正 (AE SHIFT) ダイヤル（80）
ロック (LOCK) レバー（36）
フロントマイク (FRONT MIC) 端子（23）
マイクケーブル（23）
レンズフード固定ネジ（26）
グリップズームボタン（43）
フォト (PHOTO) ボタン（123）
カセットホルダーカバー（30）
電源装着部（16）
バッテリー取りはずし (BATT. RELEASE) ボタン（17）
シリアル番号（機番）

正面



後面



＊三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。ネジ長が5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

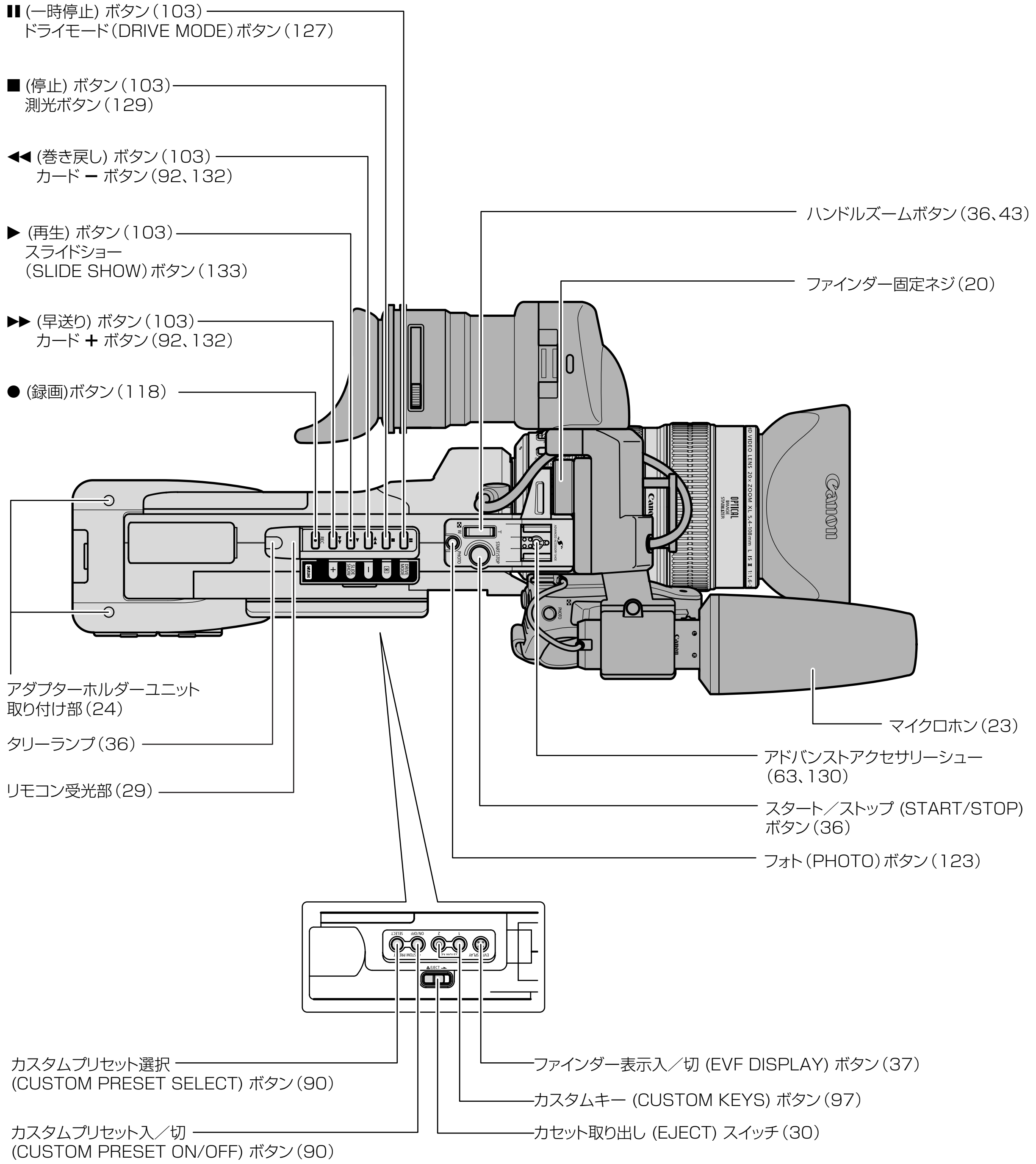
Ⓛマークについて

Ⓛは、LANC [Local Application Control Bus System （ローカル・アプリケーション・コントロール・バス・システム）]リモート端子のマークです。LANCリモート端子とは、ビデオ機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

❍ Ⓛマークが表示されている機器と接続してください。
❍ LANCリモート端子で接続した周辺機器の操作ボタンの中には、動作しないもの、本機の動作と異なるものがあります。
❍ Ⓛマークが表示されていない機器と接続した場合の動作については保証致しかねます。

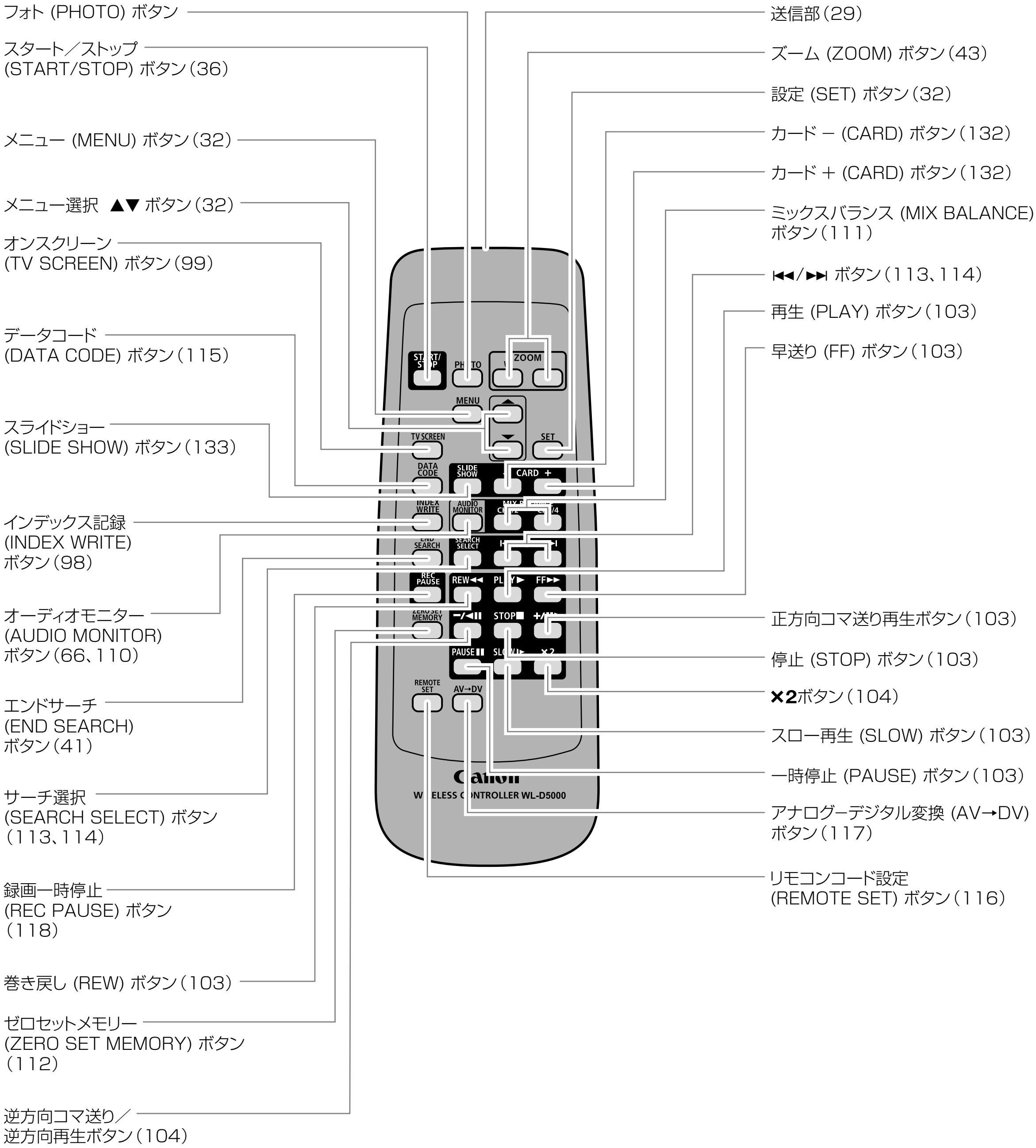
各部の名称…つづき

上面



❚❚（一時停止）ボタン（103）
ドライモード（DRIVE MODE）ボタン（127）
■（停止）ボタン（103）
測光ボタン（129）
◀◀（巻き戻し）ボタン（103）
カード － ボタン（92、132）
▶（再生）ボタン（103）
スライドショー
（SLIDE SHOW）ボタン（133）
▶▶（早送り）ボタン（103）
カード ＋ ボタン（92、132）
●（録画）ボタン（118）
ハンドルズームボタン（36、43）
ファインダー固定ネジ（20）
アダプターホルダーユニット
取り付け部（24）
タリーランプ（36）
リモコン受光部（29）
マイクロホン（23）
アドバンストアクセサリーシュー
（63、130）
スタート／ストップ（START/STOP）
ボタン（36）
フォト（PHOTO）ボタン（123）
カスタムプリセット選択
（CUSTOM PRESET SELECT）ボタン（90）
カスタムプリセット入／切
（CUSTOM PRESET ON/OFF）ボタン（90）
ファインダー表示入／切（EVF DISPLAY）ボタン（37）
カスタムキー（CUSTOM KEYS）ボタン（97）
カセット取り出し（EJECT）スイッチ（30）

リモコン　WL-D5000（📖29）

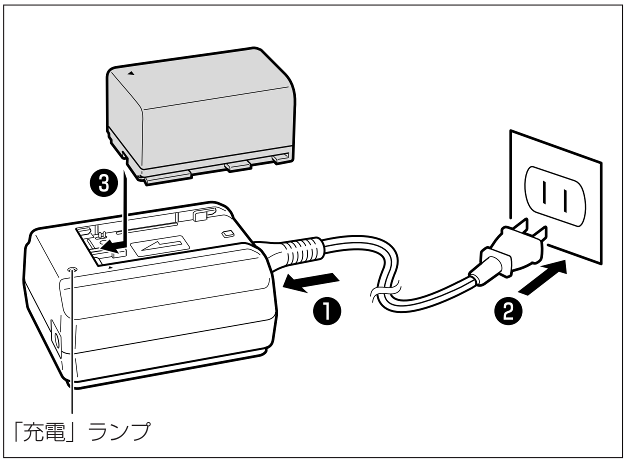


電源の準備

バッテリーパックは、充電してから使います。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします（🕮 165）。
バッテリーパックを充電するときは、電源カプラーをコンパクトパワーアダプターからはずしてください。



❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

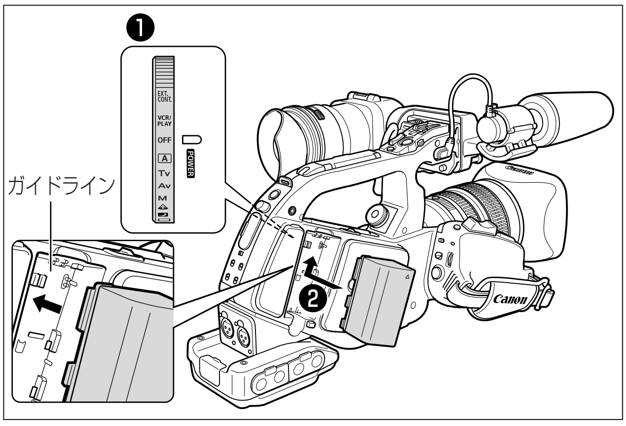
❸ バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながら、カチッと音のするまで、スライドさせる
充電ランプが点滅し、充電が始まります。
充電が終わると、充電ランプが点灯します。

❹ スライドさせてバッテリーパックを取りはずす

❺ 電源プラグをコンセントから抜く

❻ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

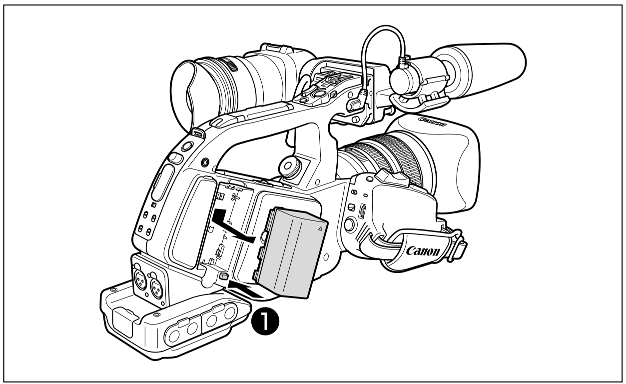
バッテリーパックを取り付ける



❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ バッテリーパックの先端を電源装着部のガイドに合わせて、押し付けながら、カチッと音のするまで、上にスライドさせる

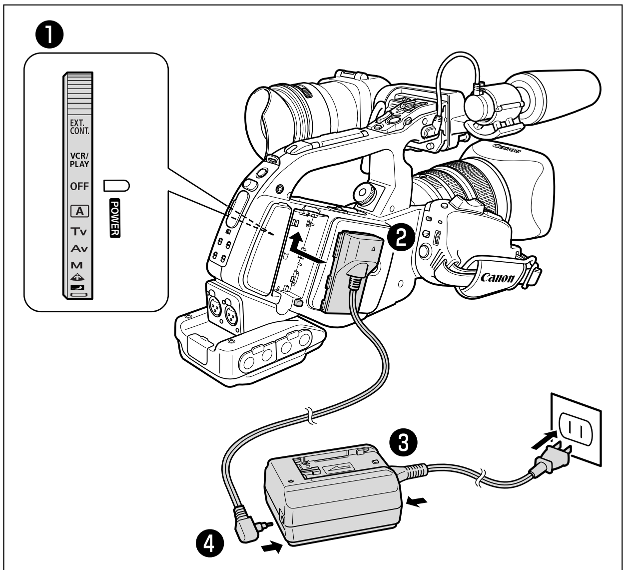
バッテリーパックを取りはずす



❶ BATT. RELEASEボタンを押しながら、バッテリーパックを下にスライドさせてはずす

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。



❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ 電源カプラーの先端を電源装着部のガイドに合わせて、押し付けながら、カチッと音のするまで、上にスライドさせる

電源カプラーをはずすときは、BATT. RELEASEボタンを押しながら、下にスライドさせてはずします。

❸ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

❹ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターに接続する

内蔵リチウム2次電池について

本機は、リチウム2次電池を内蔵していて、日付などの設定が保持されます。この内蔵のリチウム2次電池は、本機を使っている間に充電されますが、使用時間が短いと少しずつ放電され、本機を使わない期間が3ヶ月くらい過ぎると、完全に放電してしまいます。その場合は、リチウム2次電池を充電してください。充電するときは、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、24時間放置してください（メインダイヤルは「OFF」）。



- ❍ バッテリーパックを充電するときは、電源カプラ—をコンパクトパワーアダプターからはずしてください。
- ❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
- ❍ テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
- ❍ コンパクトパワーアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。

準備編

次のページへ

電源の準備…つづき

❍ コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが消灯になり、充電を中止します。
❍ ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。
0～50%　：約1秒間隔で1回ずつ点滅
50%～75%：約1秒間隔で2回ずつ点滅
75%以上　：約1秒間隔で3回ずつ点滅
100%　　：点灯
❍ バッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの使用時間は、次のとおりです。

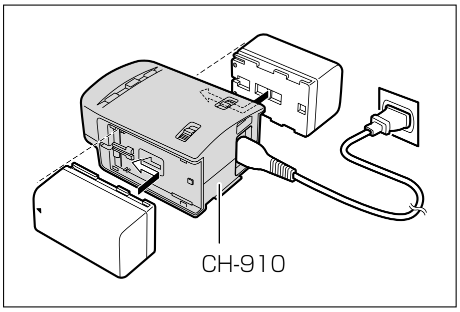
バッテリーパック			BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
コンパクトパワーアダプターCA-920での充電時間			約145分	約220分	約235分	約320分
HDV						
連続撮影時間	HD 20X L IS レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約140分	約210分	約295分	約405分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約105分	約165分	約230分	約315分
実撮影時間*	HD 20X L IS レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約80分	約115分	約155分	約210分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約60分	約90分	約125分	約170分
再生時間			約165分	約250分	約350分	約480分
DV						
連続撮影時間	HD 20X L IS レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約155分	約230分	約335分	約455分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約120分	約180分	約250分	約350分
	20X L IS レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約140分	約210分	約300分	約415分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約110分	約170分	約235分	約320分
	16Xマニュアル レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約160分	約250分	約340分	約465分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約120分	約190分	約260分	約360分
	3Xワイド レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約130分	約195分	約295分	約400分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約105分	約165分	約230分	約315分
実撮影時間*	HD 20X L IS レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約85分	約130分	約175分	約240分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約65分	約100分	約135分	約190分
	20X L IS レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約80分	約115分	約155分	約215分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約60分	約95分	約125分	約175分
	16Xマニュアル レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約90分	約140分	約175分	約240分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約70分	約105分	約140分	約195分
	3Xワイド レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約75分	約110分	約150分	約210分
		別売のモノクロファインダーユニットFU-1000使用時	約60分	約90分	約125分	約170分
再生時間			約180分	約275分	約375分	約510分

* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。実際には、これよりも短くなることがあります。

❍ 10℃～30℃の範囲で充電することをおすすめします。
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。
❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。

❍ 別売のデュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910では2個のバッテリーパックを連続充電できます。また、充電したバッテリーパックを装着（2個まで）することにより、本機への給電ができ、しかも本機の電源を入れたままバッテリーパックを交換できます。

バッテリーパック	充電時間
BP-930	約240分
BP-945	約280分
BP-950G	約280分
BP-970G	約380分

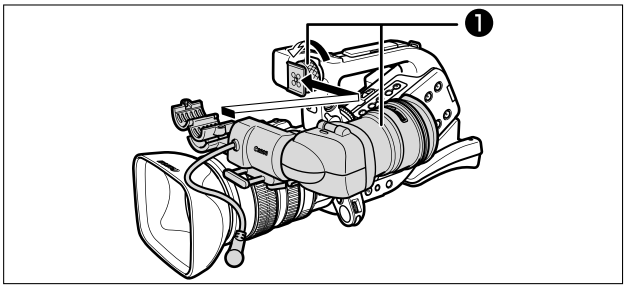


❍ **バッテリーパックは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2〜3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

準備編

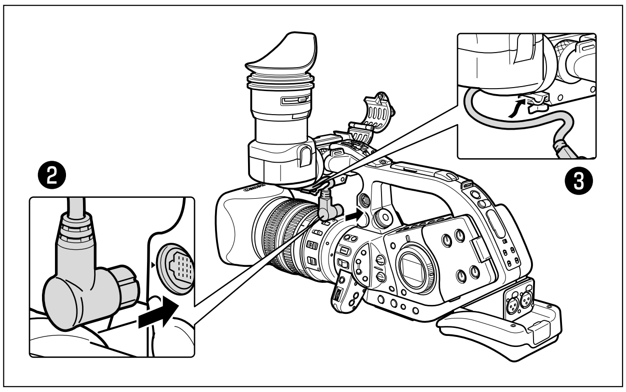
カメラの準備

ファインダーを取り付ける／取りはずす



取り付ける

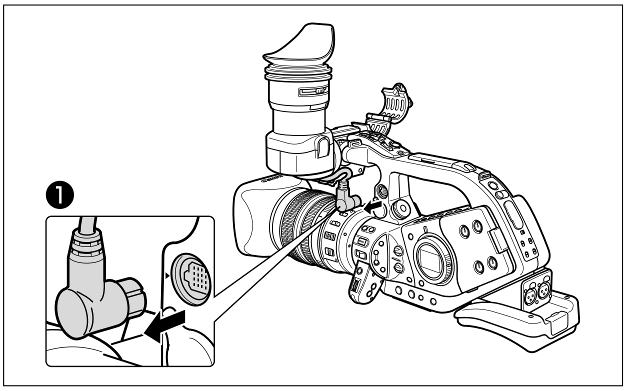
❶ ファインダー取り付け部にスライドさせて取り付け、固定ネジを回して固定する



❷ マークを合わせてファインダーケーブルをカラーファインダー接続用端子（📖 10）に接続する

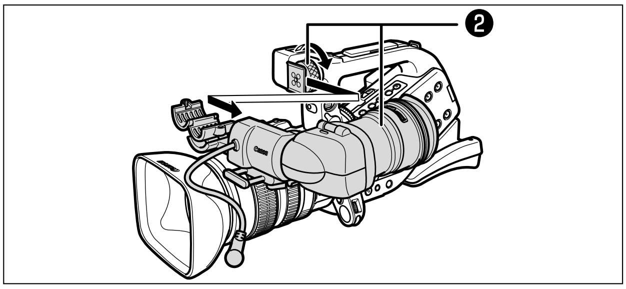
● ケーブルは接続用端子にまっすぐ接続します。

❸ ファインダーケーブルをケーブルクランプに固定する



取りはずす

❶ ファインダーケーブルをはずす



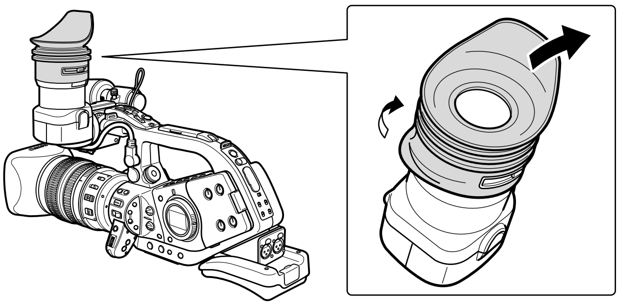
❷ 固定ネジを回してゆるめファインダー部をスライドさせてはずす

アイカップを取りはずす／取り付ける

ファインダーは目の位置や使う目（右目、左目）に合わせて、位置を調整できます。
左目を使う場合は、アイカップを逆向きに取り付けることができます。

取りはずす

側面を持って、アイカップをはずす

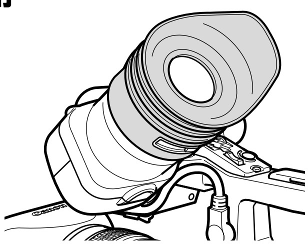


取り付ける

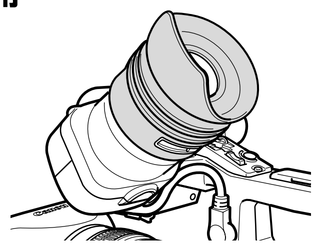
視度調整レバーの位置と切り欠き部を合わせて、奥までアイカップをはめ、固定する

使う目に合わせ（右目／左目）取り付けられます。

右目用



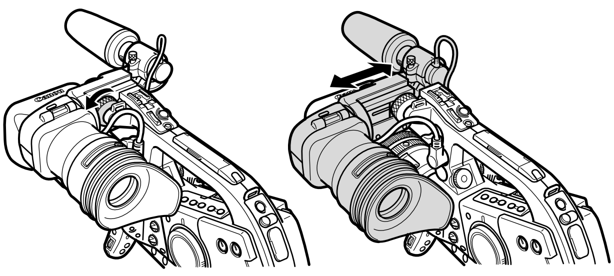
左目用



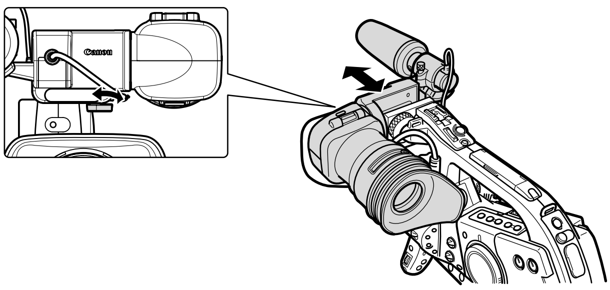
ファインダーの位置を調整する

ファインダーユニットは、前後左右にスライドできますので、右目／左目の最適なファインダー位置を設定できます。
位置を決めたら、固定ねじ／固定レバーでファインダーユニットを固定します。

左右の調整
固定ねじをゆるめ、左右にスライドさせる



前後の調整
固定レバーをゆるめ、前後にスライドさせる

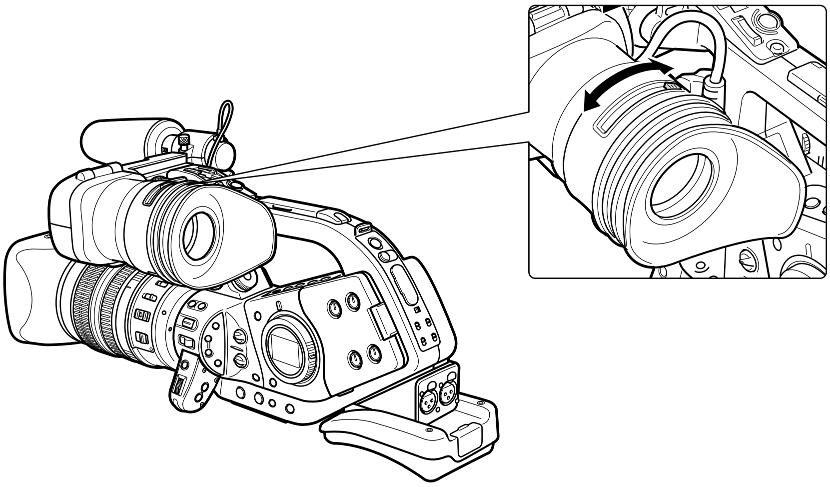


※本機を別売のシステムケースHC-3200に収納するときは、ファインダーを右側に寄せてください。

次のページへ

ファインダーの視度を調整する

電源を入れ、ファインダーの表示がはっきり見えるようにレバーを動かして調整する。

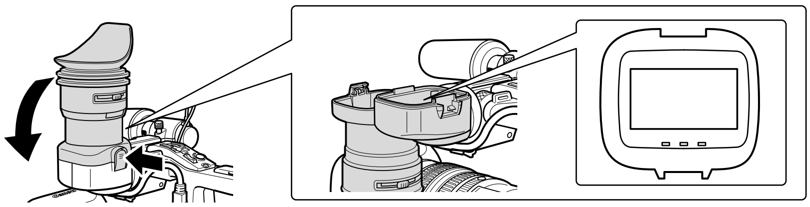


直射日光がファインダー内に入らないようにしてください。レンズが光を集めるために、ファインダー内の液晶部が損傷することがあります。特にストラップや三脚を使用しているときや持ち運ぶときはご注意ください。このような場合はファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

ファインダーを液晶画面として使う

接眼アダプターを跳ね上げると、ファインダーを液晶画面として使用できます。

ロック解除ボタンを押して、接眼アダプターを跳ね上げる。



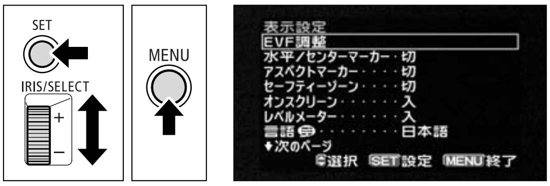
液晶画面として使用しないときは、液晶画面保護のため、接眼アダプターを閉じておいてください。

接眼アダプターを跳ね上げると、液晶画面は少し明るくなります。

ファインダーを調整する

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

ファインダーの明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスは標準に調整されていますが、必要に応じて調整できます。
ファインダーの明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスの各調整と撮影する映像とは関係がありません。



❶ MENUボタンを押す
❷「表示設定」➤「EVF調整」を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して「EVF調整」を選び、SETボタンを押して設定します。



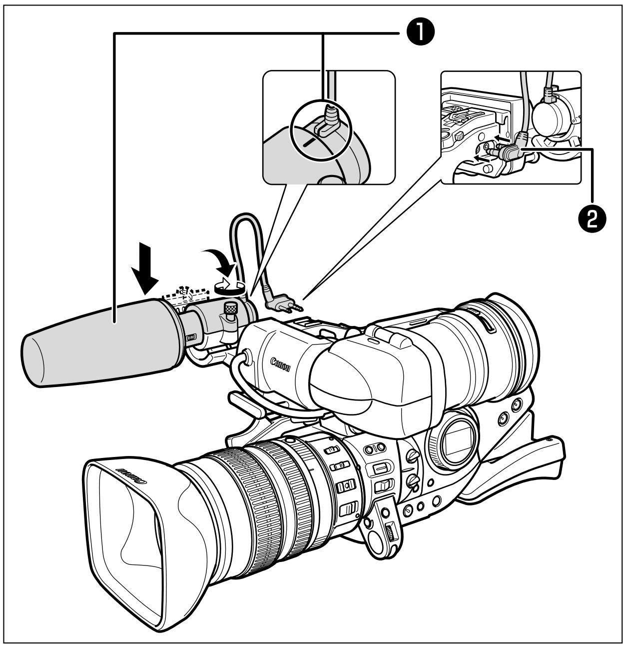
❸「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」から調整する項目を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- 「EVFシロクロモード」については99ページをご覧ください。

❹ SELECTダイヤルを回して調整する
❺ SETボタンを押すと、調整項目を選ぶ画面に戻ります。
❻ MENUボタンを押す

準備編

マイクの取り付け

マイク固定ネジをゆるめ、マイク固定部を開いておきます。



❶ 指標を合わせ、固定する

❷ マイクケーブルをFRONT MIC端子に接続する

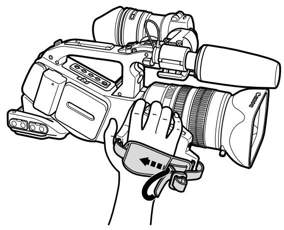
次のページへ

カメラの準備…つづき

グリップベルトの調節

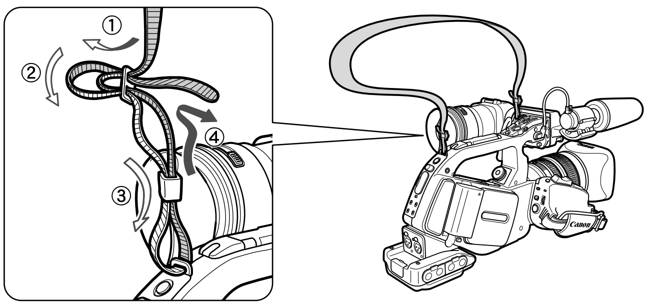
親指がスタート／ストップボタンに、人さし指と中指がズームボタンに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。



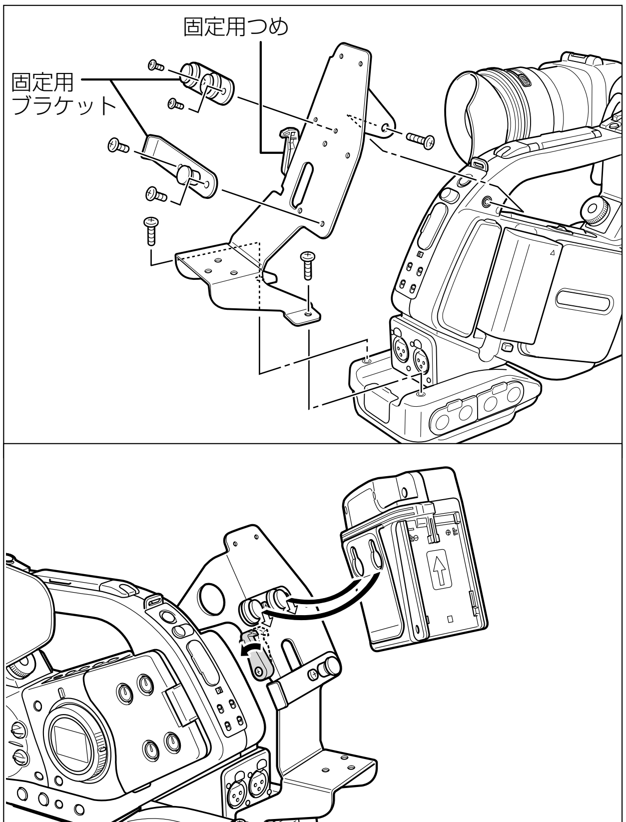
ストラップの付けかた

- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。



アダプターホルダーユニットを取り付ける

アダプターホルダーユニットを使うと、市販のワイヤレスマイクレシーバー、別売のデュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910が取り付けられます。



❶ ホルダーアダプターユニットを3箇所でねじを締めて固定する

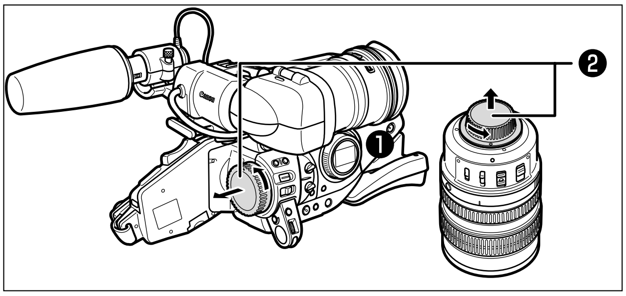
❷ 取り付けるレシーバーに合わせて固定用ブラケットを取り付ける

- 固定用ブラケットを利用して、デュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910を取り付ける場合は、ブラケットにある固定用のつめでCH-910をしっかり固定してください。CH-910をはずすときは、つめを矢印方向に押し下げてください。

レンズの準備

XLマウントレンズを取り付ける／取りはずす

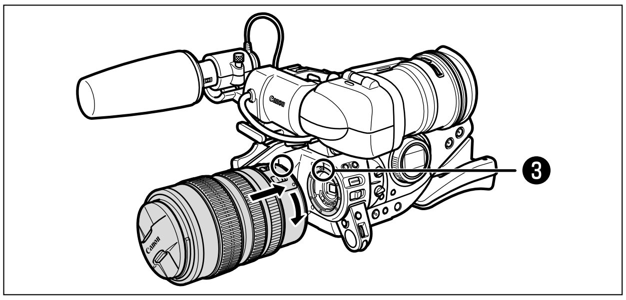
●取り付けるレンズの使用説明書もあわせてご覧ください。



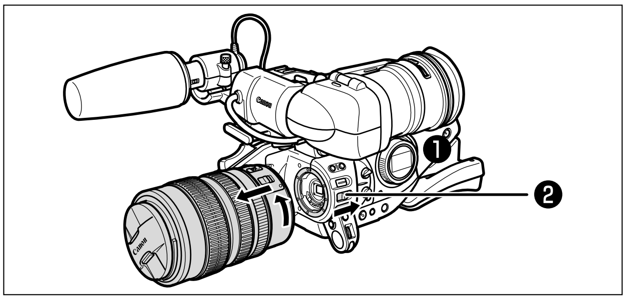
取り付ける

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ ビデオカメラ本体のマウントキャップとレンズのダストキャップを取りはずす



❸ ビデオカメラとレンズの赤い指標を合わせ、レンズをはめ込み、時計方向にカチッと音がするまで回して取り付ける

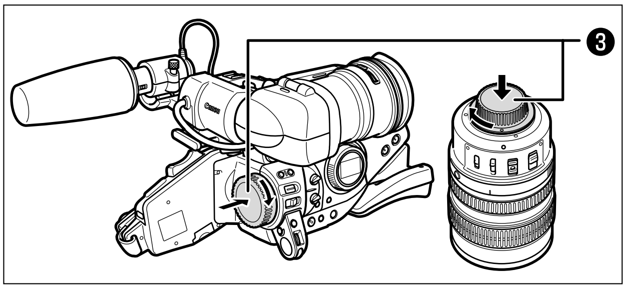


取りはずす

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ LENS RELEASEスイッチをスライドさせながらレンズを反時計方向に回し、ビデオカメラとレンズの赤い指標を合わせ取りはずす





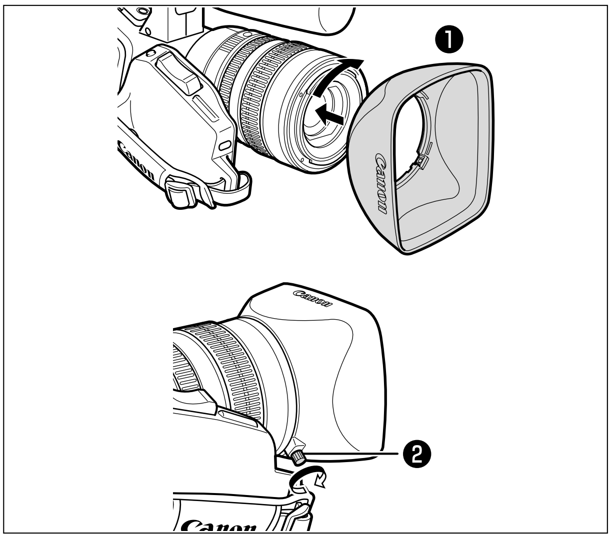
❸ ビデオカメラ本体にマウントキャップを、レンズにダストキャップを取り付ける

❍ レンズの取り付け／取りはずしなどは、ビデオカメラやレンズを落とさないようにして行ってください。
❍ レンズの取り付け、交換などは直射日光や強い照明を避けて行ってください。
❍ XLマウントはVLマウントと互換性はありません。
❍ レンズを取り付けずにビデオカメラの電源を入れると、ファインダーに「LENS」表示が点滅します。
❍ レンズを取りはずしたときに、レンズ、本体のマウント部およびその内部に手で触れたり、汚れたりしないようにしてください。汚れたときなどは、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください（クリーニングを行うときは必ずビデオカメラの電源を切ってください）。
❍ HDV記録時、HDV専用レンズ以外は性能保証できません。本機にHDV対応ではないレンズを取り付けると、「静止画対応のレンズではありません」と「HDV対応のレンズではありません」が画面に表示されます。また、HDV対応レンズでも、別売のエクステンダー XL 1.6×使用時はHDVの性能保証できません。「HDV対応のレンズではありません」が表示されます。

次のページへ

レンズの準備…つづき

レンズフードを取り付ける



❶ **レンズ先端部にフードをはめ込み、Canonの文字が上にくるように時計方向に回す**

- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取りはずしにくくなります。

❷ **固定ネジでフードを固定する**

レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどに効果的です。

フランジバック調整（レンズにフランジバック調整がある場合を除く）

通常は必要ありませんが、テレ、ワイドズーム中のボケを必要に応じて補正できます。自動調整（AF）用、マニュアルフォーカス（MF）調整で設定でき、また、設定値をバックアップもできます。
設定値は10本のレンズまでバックアップされます。

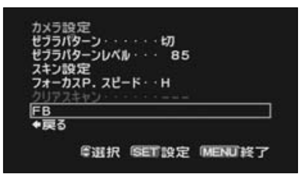
TAPE	CARD

EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

準備

① フレームレートを60iまたは30Fにする
② 本機を被写体に向けて固定する
　・ 被写体との距離を1m以上にする
　・ ワイド端でピントの合わせにくい被写体は避けてください
③ ズームをワイド端にする
④ Avモードを選び、絞りを開放にする
⑤ テレ端、ワイド端で被写体が画面中央にあることを確認する
　（必要に応じてNDフィルターを使用してください）
⑥ 適正露出であることを確認する

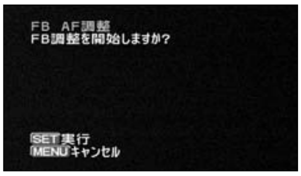
AF調整



① MENUボタンを押す
②「カメラメニュー」➤「カメラ設定」➤「FB」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して「FB」を選び、SETボタンを押して設定します。

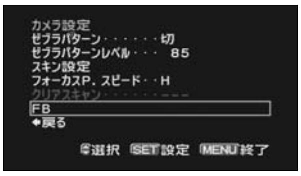


③「➧AF調整」を選び、SETボタンを押す



④「FB調整を開始しますか？」画面で、SETボタンを押す
⑤「FB調整正常終了」が表示されたら、MENUボタンを押す

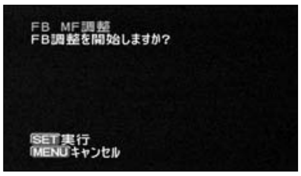
MF調整



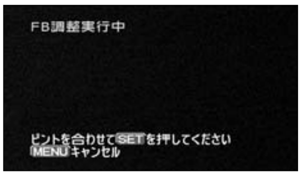
① MENUボタンを押す
②「カメラメニュー」➤「カメラ設定」➤「FB」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「FB」を選び、SETボタンを押して設定します。



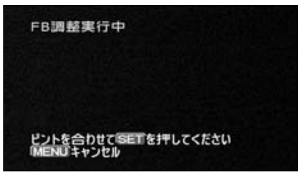
③「➧MF調整」を選び、SETボタンを押す



④「FB調整を開始しますか？」画面で、SETボタンを押す



⑤ ズーム位置がテレ端になって、「FB調整実行中」画面で「ピントを合わせSETを押してください」が表示されたら、ピントを合わせ、SETボタンを押す



⑥ ズーム位置がワイド端になって、「FB調整実行中」画面で「ピントを合わせSETを押してください」が表示されたら、ピントを合わせ、SETボタンを押す
⑦「FB調整正常終了」が表示されたら、MENUボタンを押す

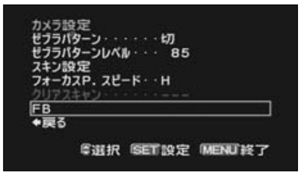
準備編

次のページへ

レンズの準備…つづき

フランジバック調整値を初期化する

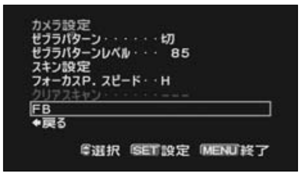
装着しているレンズの設定値を初期化します。



① MENUボタンを押す
②「カメラメニュー」➤「カメラ設定」➤「FB」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「FB」を選び、SETボタンを押して設定します。



③「調整値初期化」を選び、SETボタンを押す

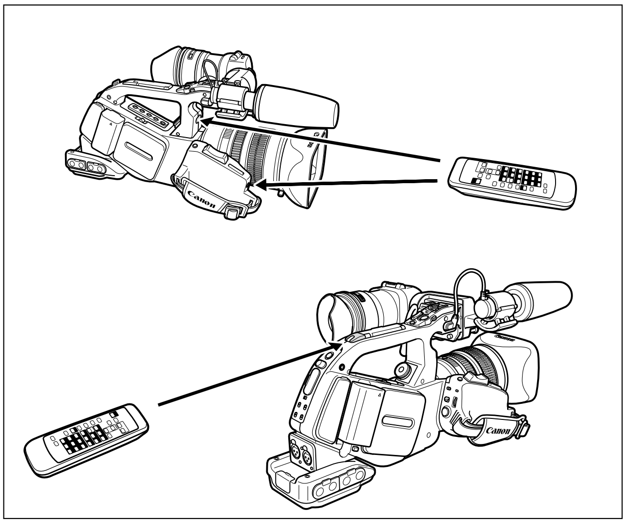


④「初期化しますか？」画面で「はい」を選び、SETボタンを押す
⑤ MENUボタンを押す

以下の場合は、調整エラーになり、フランジバック選択画面に戻ります。
❍ AFでピントが合わない
❍ フランジバック調整中にレンズをはずす

リモコン

リモコンの操作のしかた

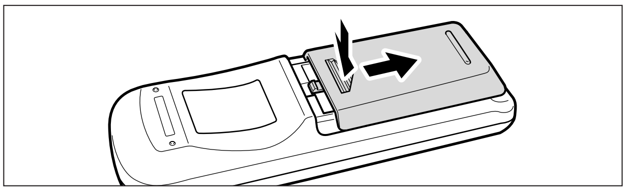


リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

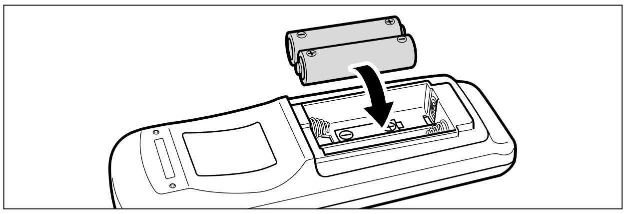
本機のリモコン受光部は前後に3箇所あります。

電池の入れかた

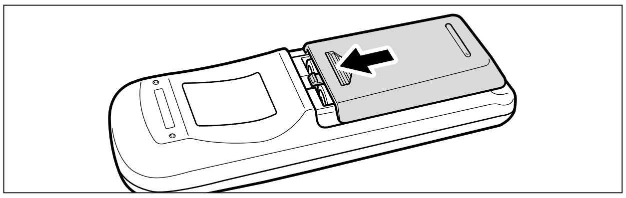
リモコンは、2本の単3乾電池で動作します。



❶ 電池カバーを押しながら取りはずす



❷ ⊕、⊖を表示に合わせて正しく入れる



❸ 電池カバーを取り付ける

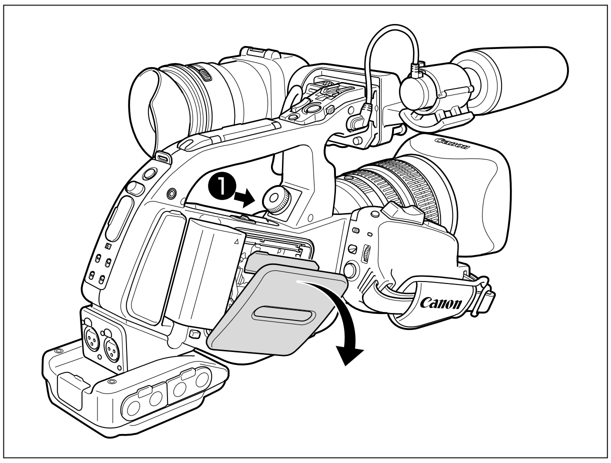


- ❍ 本機には2種類のリモコンコードがあります。リモコンで操作できないときは、必ず本体のリモコンコードを確認してください。電池を交換すると、リモコンコードは「設定1」に戻ります（□ 116）。
- ❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。2本とも、新しい電池をお使いください。
- ❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

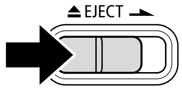
カセットを入れる／出す

ビデオカセットはMini DVマークの付いたものをお使いください。
● HDV記録用には、HDV対応テープの使用をおすすめします。

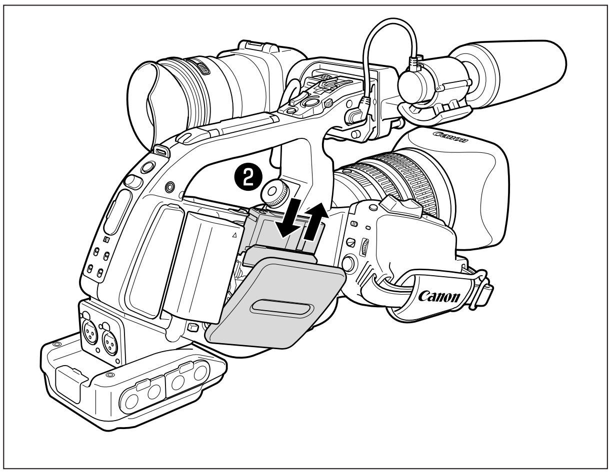
カセットを入れる／出す



❶ EJECTスイッチをスライドさせる

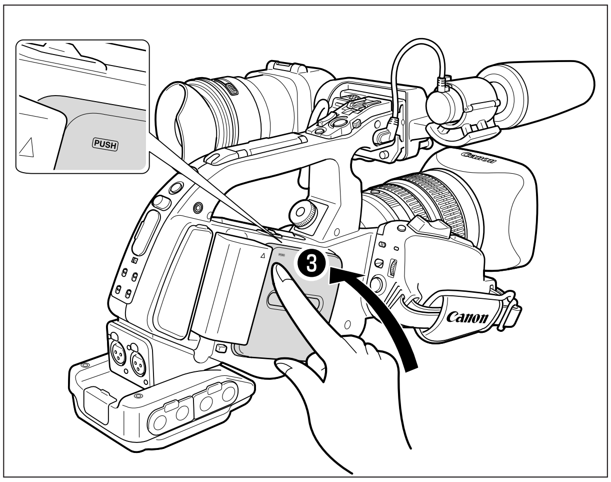


● カセットホルダーカバーが開き、カセットホルダーが自動的に開く。



❷ カセットをまっすぐ奥まで入れる／出す

● カセットの透明な窓を外側に向けて、誤消去防止ツマミのある面を上にして入れる。
● カセットを出すときは、カセットホルダーからまっすぐに引き抜く。



❸ カセットホルダーカバーを閉じる

● PUSHマークを押す。

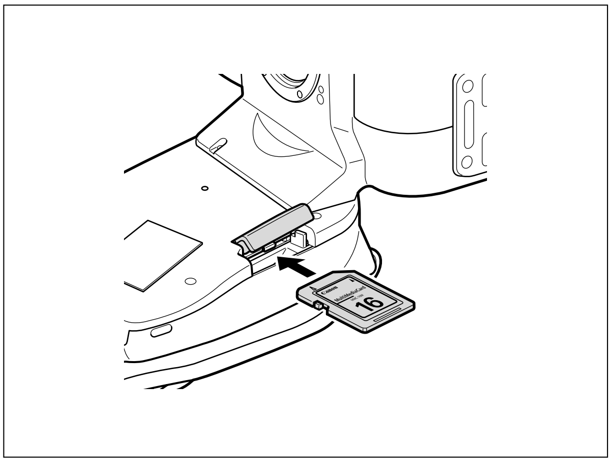
❍ カセットホルダーが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、しないでください。故障の原因となります。
❍ カセットホルダーカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、メインダイヤルが「OFF」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。

カードを入れる／出す

本機は、SDメモリーカード（ SD ）とマルチメディアカード専用です。

カードの入れかた



❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ カバーをスライドさせて、開ける

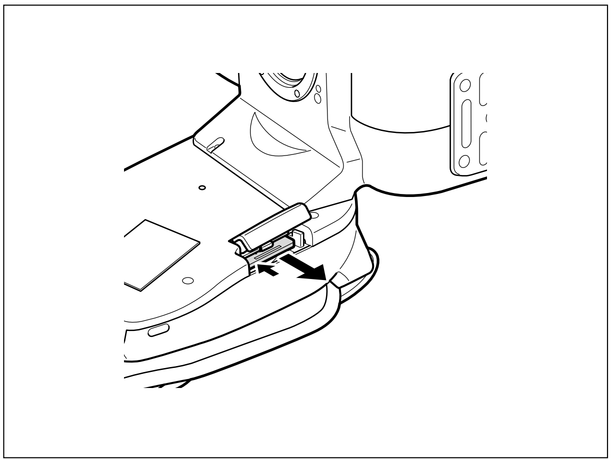
❸ カードを奥までしっかり入れる

❹ カバーを閉じ、スライドさせる

● カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じないでください。

カードの出しかた

カードを抜くときは、無理に出さないで、必ず❸の操作を行ってください。



❶ メインダイヤルを「OFF」にする

● CARDランプが消えていることを確認してください。

❷ カバーをスライドさせて、開ける

❸ カードの端を押す

● カードが出てきます。

❹ カードを抜く

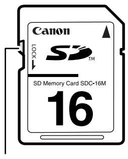
❺ カバーを閉じ、スライドさせる

❍ 付属のカード以外のカードを使用する際には、本機で初期化してください。（🕮 138）

❍ カードの出し入れは、ビデオカメラの電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。

❍ SD（Secure Digital＝著作権保護システム）メモリーカードには、誤消去防止ツマミが付いています。

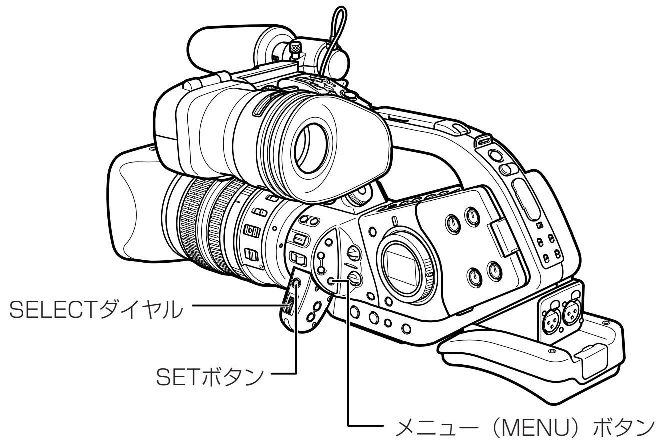
❍ すべてのカードの動作を保証するものではありません。



誤消去防止ツマミ

メニューで設定を変える

メニュー項目は、メニュー一覧（📖 144～157）をご覧ください。



メニュー画面下部の縁どりされている表示は、本体上のボタン／ダイヤルを表しています。



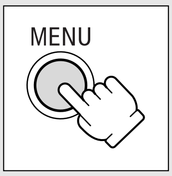
選択	SELECTダイヤルを回して、設定内容を選択します。
SET 設定	SETボタンを押して、設定します。
SET 戻り	SETボタンを押して、前のメニューに戻ります。
SET 次	SETボタンを押して、次の項目に進みます。
MENU 終了	MENUボタンを押して、メニューを終了します。

本体のSETボタンと、リモコンの▲、▼、設定ボタンは、同じ操作になります。

本体	リモコン
SELECTダイヤルを上に回す	▲ボタンを押す
SELECTダイヤルを下に回す	▼ボタンを押す
SETボタンを押す	SETボタンを押す

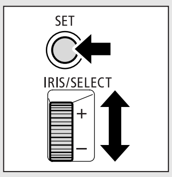
ここでは、カメラモードのときに、本体で操作する場合で説明しています。
例：「ゼブラパターン」を「入」にする

1 MENUボタンを押す



- メインメニューが出ます。

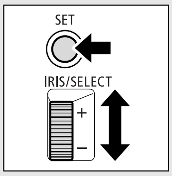
2 項目を選ぶ





① SELECTダイヤルを回して、選択枠を設定する項目に合わせます。
② SETボタンを押すと、選んだ項目のサブメニューが出ます。

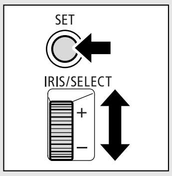
3 機能を選ぶ

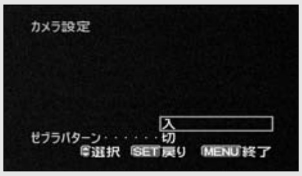




① SELECTダイヤルを回して、選択枠を設定する機能に合わせます。
② SETボタンを押すと、選んだ機能だけの表示になります。

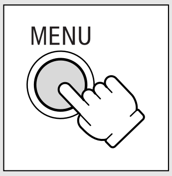
4 設定内容を選び、設定する





① SELECTダイヤルを回して、選択枠を設定する設定内容に合わせます。
② SETボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す



● メニューが消えます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない項目は、グレーで表示されます。
❍ MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

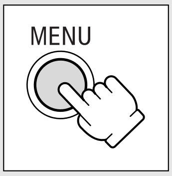
日時を設定する

はじめてお使いになる場合や、内蔵リチウム2次電池が放電した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」の表示が出ます。日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定してください。

世界時計のエリアを選ぶ

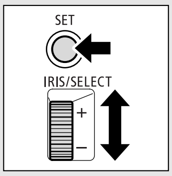
TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

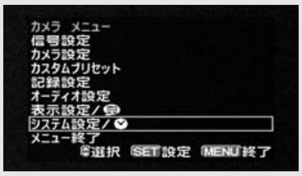
1 MENUボタンを押す



● メニューが出ます。

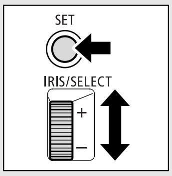
2 「システム設定」を選ぶ





① SELECTダイヤルを回して、選択枠を「システム設定」に合わせます。
② SETボタンを押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。

3 「日時設定」を選ぶ





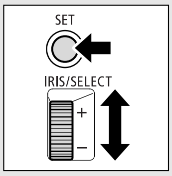


① SELECTダイヤルを回して、選択枠を「日時設定」に合わせます。
② SETボタンを押すと、日時設定サブメニューが出ます。
③ SELECTダイヤルを回して、「エリア/サマータイム」を選び、SETボタンを押します。
④ SETボタンを押すと、「エリア/サマータイム」だけの表示になります。
● はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。
⑤ SETボタンを押すと、「日時設定」サブメニューに戻ります。

日付／時刻を設定する

TAPE CARD ｜ EXT. CONT. ｜ VCR/PLAY ｜ A ｜ Tv ｜ Av ｜ M

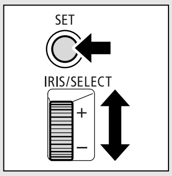
4 「日付／時刻」を選ぶ

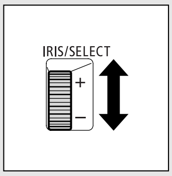


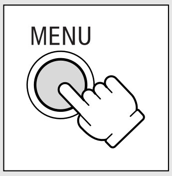


① SELECTダイヤルを回して、選択枠を「日付/時刻」に合わせます。
② SETボタンを押すと、「日付/時刻」だけの表示になります。

5 日付と時刻を設定する









例：2005年10月1日午前9時20分に設定する
① SETボタンを押して、項目を選びます。選んだ項目が点滅します。
押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。
② SELECTダイヤルを回して、数字を選びます。

①と②の操作をくり返して設定します。

③ 時報に合わせて、MENUボタンを押します。内蔵時計が動き始めます。

準備編

撮影時に日時を表示する

本機では、撮影中に現在の日時を画面の左下に表示できます。

TAPE CARD ｜ EXT. CONT. ｜ VCR/PLAY ｜ A ｜ Tv ｜ Av ｜ M



① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ガイド」➤「日時表示」を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して、日付／時刻の設定が解除されることがあります。その場合、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください（📖 169）。

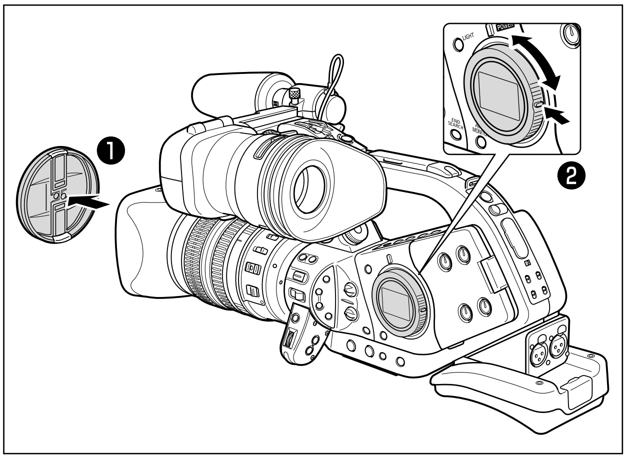
撮影

> 撮影する前に
> 必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には、市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

初期設定では、本機は以下のようになっています。
記録規格：HDV
オーディオモード：2チャンネル

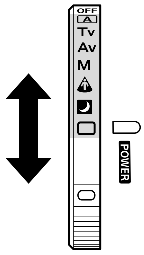
TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

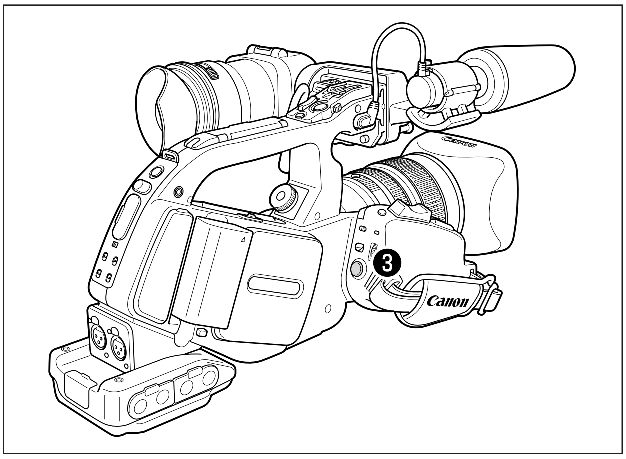
・「音声の記録」については、59ページをご覧ください。



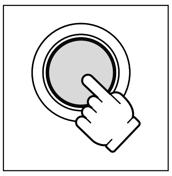
❶ レンズキャップをはずす

❷ ボタンを押しながらメインダイヤルをカメラモードにする
- 電源ランプが点灯する。
- 撮影一時停止になる。



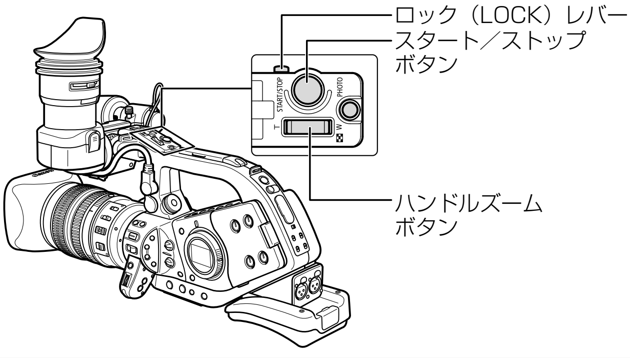


❸ スタート／ストップボタンを押す
- 撮影が始まる。
- タリーランプとファインダーのRECランプが点灯します。

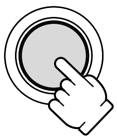


ローアングル撮影

本機にはローアングル撮影用に、ハンドル上部にスタート／ストップボタン、ハンドルズームボタン、PHOTOボタンがあります。
ロック（LOCK）レバーをレンズ側にスライドさせると、無効になりますので誤操作を防止できます。



撮影一時停止



スタート／ストップボタンを押す

撮影が終わったら

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ レンズキャップをはめる

❸ カセットを取り出す

❹ （ファインダーが消灯したのを確認して）バッテリーパックを取りはずす

● STANDBY（スタンバイ）ボタン
撮影一時停止またはVCRストップ時に1秒以上押すとパワーセーブモードになり（ファインダーに「パワースタンバイします」の表示が出ます）、電源が切れます。もう一度押すと電源が入ります。
メインダイヤルと異なり、露出ロックの入／切、カラーバーの選択、入／切はそのまま保持されます。

● 3分タイマー
通常、撮影一時停止が約3分間続くと、テープとヘッドの保護のためVCRストップになります。さらに本機を操作しない状態が約2分間続くと、電源が切れます。
本機では、この「3分タイマー」について、カメラメニューの「システム設定」➤「パワーセーブ」で、電源を切るか（入）、切らない（切）が選択できます。
「切」では、カメラ部は電源が入っていますので、絞り、シャッタースピードなどのカメラ部の設定をそのまま続けて行えます。
この状態から撮影をするときは、スタート/ストップボタンを押してください。録画一時停止にするときは、カスタムキーの「VCRストップ」ボタンを押してください（📖98)。
「入」を選んでいて電源が切れた場合は、STANDBYボタンを押すか、メインダイヤルを一度「OFF」にしてからカメラモードに戻し、電源を入れなおしてください。

● VCRストップ
カメラメニューの「システム設定」サブメニューで、CUSTOM KEYS1または2を「VCRストップ」に設定することで、カメラ部に電源を入れたまま、レコーダー部だけを任意に停止させることができます（📖99)。
「VCRストップ」ボタンを押すことで、3分タイマーに制限されずに、カメラ部の設定などを行えます。
撮影するときは、「VCRストップ」ボタンをもう一度押して、撮影一時停止にしてください。

● EVF DISPLAY（ファインダー表示）ボタン
撮影時のファインダー表示はEVF DISPLAYボタンを押すたびに下記のように変わります。

↓
通常の表示
↓
オーディオレベルメーター、マーカー、セーフティーゾーン、ピーキング／拡大表示撮影モード、EXPロック、NDフィルター、カスタムプリセット、シャッター、絞り、AEレベル、ゲイン、ホワイトバランス、カラーバー、フェーダー、スキンディテール、スピードライト充電警告表示、
日時＊
↓
日時＊、マーカー、セーフティーゾーン
↓
表示なし

＊カメラメニューの「表示設定」サブメニューの「ガイド」を「日時表示」に設定すると日時も表示します。

- メインダイヤル、STANDBYボタンで電源を切ると通常の表示に戻ります。
- 接続したモニターTVなどに出る表示も同じになります（オンスクリーン機能）。

❍ 同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、日付サーチ、インデックスサーチ、エンドサーチが正しく動作しないことがあります。

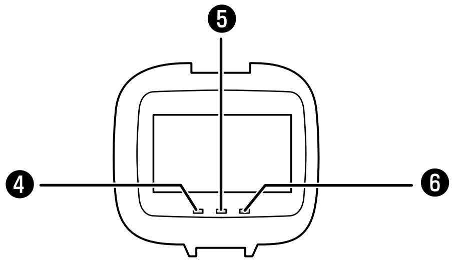
❍ カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。
❍ 長時間使用しないときは、メインダイヤルを必ず「OFF」にしてください。
❍ カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。

次のページへ

撮影…つづき

撮影中のファインダー表示





①タイムコード（ 53）

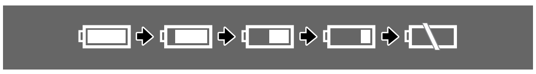
②テープ残量と“END”の点灯

テープ残量を「分」単位で表示します。
撮影中／再生中にテープが終端になると「END」が点灯し、停止状態になります。

- 撮影時間が15秒以下のときは残量表示が出ないことがあります。
- テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

③バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。



- バッテリーパックが消耗すると「」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
- 消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに切れたりすることがあります。
- 実際の残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

④SHUTTERランプ

下記のシャッタースピード以外のときに点灯します。

フレームレート	シャッタースピード
60i	1/60秒
30F	1/30秒
24F	1/48秒
カードカメラモード	1/60秒

⑤RECランプ

撮影中に点灯します。テープの録画可能時間が5分以下になると、点滅し、テープ終端になると消灯します。

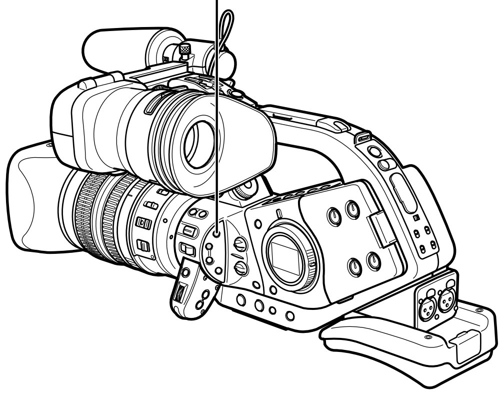
- テープの残量表示が出ないときは、RECランプは点滅しません。

⑥GAINランプ

AGC（オートゲインコントロール）が+3dB以上または−3dBになると点灯します。

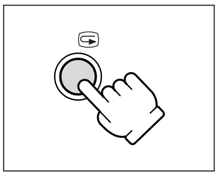
テープに撮影した画像を確認する（録画チェック）

撮影した場面を再生して、撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。



TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

録画チェック



撮影一時停止中

録画チェックボタンをポンと押す

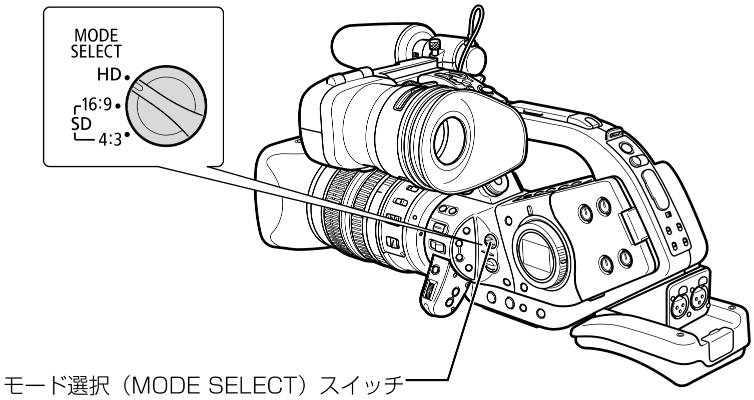
撮影した最後の場面（約3秒間）が再生され、撮影一時停止に戻ります。

現在の信号規格と、テープに記録されている信号規格が異なる場合は、映像が正しく再生されません。

信号規格を選ぶ（HD/SD）

TAPE | CARD | EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M

HDV記録するときやHDカメラとして使用するときはMODE SELECTスイッチをHDVにします。
DV記録するときや、SDカメラとして使用するときは、MODE SELECTスイッチをSD 16：9またはSD 4：3にします。



HDV記録



・ メニューで「LED点灯」を「入」に設定していると、MODE SELECTスイッチの回りが青く点灯します。

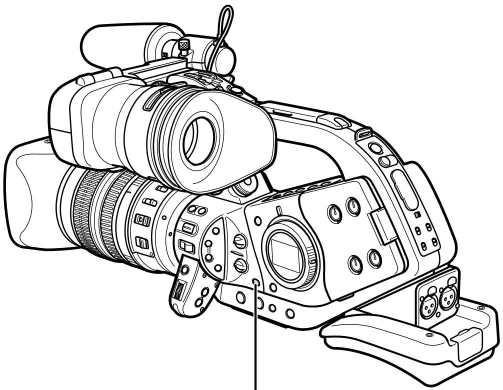
DV記録





エンドサーチ

最後に撮影した場面から続けて撮影したいときに使います。

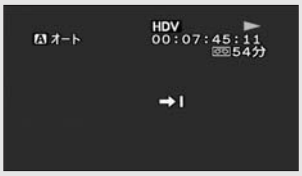


エンドサーチ（END SEARCH）ボタン

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M

1 END SEARCHボタンを押す





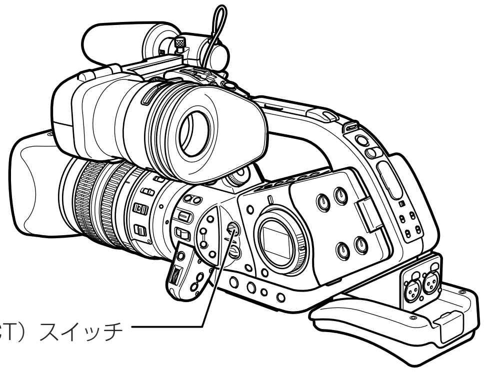
- 「➜I」の表示が出ます。
- テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止します。
- エンドサーチ中にもう一度ボタンを押すと、中止します。

❍ 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
❍ テープの途中に未記録部分があると、エンドサーチが正しく働かないことがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、エンドサーチが正しく動作しないことがあります。

撮影編

アスペクト比を切り換える SD

SD記録するときは、アスペクト比を4：3、16：9で切り換えられます。



TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

MODE SELECTスイッチをSD16：9またはSD4：3にする。

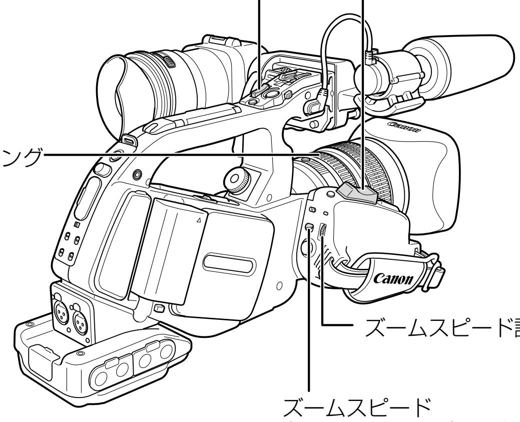
- 16：9では、水平方向の画角が広くなります。
- 本機では、16：9対応のファインダーを採用しているため、アスペクト比4：3の場合は、画面中央に表示され、左右は黒帯になります。

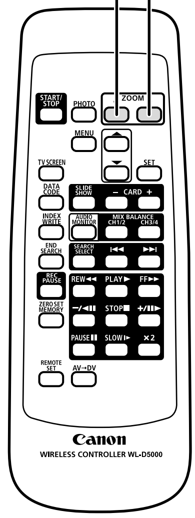
❍ 撮影中はMODE SELECTスイッチを操作しても、アスペクト比は切り換りません。撮影一時停止になったときに切り換ります。
❍ 16：9で撮影したときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください。（詳しくは、テレビの使用説明書もあわせてご覧ください）。4：3のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1映像入力端子やビデオID-1方式対応のテレビに接続すると、自動的にワイド画面に切り換ります。
❍ 4：3撮影時に、別売のレシオコンバーターRC-72を取り付けることで、焦点距離を0.8倍にできます。

ズーム

本機では、グリップ部、ハンドル部の2箇所にズームボタンがあり、さらに、レンズのズームリング、リモコンのズームボタンでも操作できます。

TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M





ズームスピードについて

- グリップ部のズームボタンはZOOM SPEED切換レバーがVARIABLEのときは、ズームスピードはズームレバーの押しかたで変化します。軽く押すと低速ズームになり､押し込むと高速ズームになります。CONSTANTでは、ダイヤルをFAST→方向に回すと高速ズーム（ズーム表示の右の数字が大きくなる）に、逆方向に回すと低速ズーム（ズーム表示の右の数字が小さくなる）になります。
  HD 20X L ISレンズの場合のズームスピード（ワイド端〜テレ端まで）
  VARIABLE：　約3.5秒〜約60秒
  CONSTANT：表示1の場合：約60秒
  　　　　　　表示16の場合：約3.5秒
  （ズームスピードはレンズによって異なります。）
- レンズのズームリングはゆっくり回すと低速ズームに、早く回すと高速ズームになります。
- ハンドル部のズームスピードは一定ですが、ZOOM SPEED切換レバーをCONSTANTにして選んだズームスピードになります。
- 付属のリモコンのズームスピードは一定です。

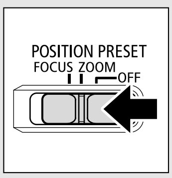
ズームプリセット（ズームプリセット機能を搭載したレンズ使用時）

プリセットしたズーム位置に戻ります。

ズーム位置をプリセットする

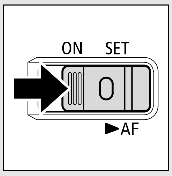
TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

1 POSITION PRESETスイッチを「ZOOM」にする



撮影編

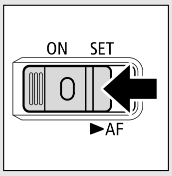
2 ON/SETスイッチを「SET」にする



● 「SET」にしたときのズーム位置がプリセットされ、ズーム表示のプリセットした位置が黄色で表示されます。

プリセットしたズーム位置に戻る

1 ON/SETスイッチを「ON」にする

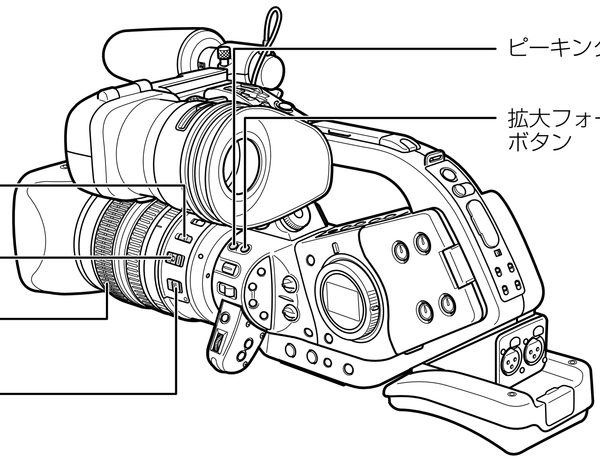


● ズームがプリセットした位置に戻ります。

❍ ズームプリセット設定後に、エクステンダーXL 1.6Xを取り付けたり、ズーム倍率の異なるレンズを取り付けると、ズームプリセットはリセットされます。
❍ ZOOM SPEED切換レバーをCONSTANTにして設定したズームスピードで、プリセットしたズーム位置に戻ります。

フォーカス

本機のピント合わせには、自動でピントを合わせるオートフォーカスとマニュアルでピントを合わせるマニュアルフォーカスの2種類があります。
また、マニュアルフォーカス時にピントを合わせやすくするためのピーキング（輪郭強調）表示と拡大表示機能があります。
● その他のレンズについては、お使いになるレンズの使用説明書をご覧ください。



TAPE | CARD　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M | | |

オートフォーカス（オートフォーカス機能を搭載したレンズ使用時）

本機のオートフォーカスには、通常のオートフォーカスとプッシュAFの2種類があります。

❶ 通常のオートフォーカス

レンズのフォーカスモードスイッチがAFのときに機能します。
TTL方式のオートフォーカスで2cm（ワイドの端、レンズ先端から）～∞（無限遠）までの被写体に自動的にピントを合わせます。
ファインダーの中央部にある被写体にピントが合います。
オートフォーカス中でも、フォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

❷ プッシュAF（HD 20×レンズ使用時）

マニュアルフォーカスで、POSITION PRESETスイッチがOFFのときに、▶AFスイッチを▶AF側にしている間だけ、オートフォーカスが動作します。

❍ 晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込み、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が被写体が小さく撮影されるため目立ちます。
NDフィルターが内蔵されているレンズを使用するときは、カメラの警告指示に従って、NDフィルターを入／切してください。

❍ ▢（全自動）モードでは、マニュアルフォーカスは選択できません。フォーカスモードスイッチを「M」にしても、オートフォーカスになります。
❍ Avモードで、被写界深度を考慮すると、より効果的に撮影できます。背景を大きくぼかして被写体を引き立たせたいときには絞り値を小さく設定します。
被写体とその前後、または近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときには、絞り値を大きく（F8～F9.5など）設定します。
❍ フレームレートを30Fまたは24Fに設定していると、60iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。

次のページへ

撮影編

フォーカス…つづき

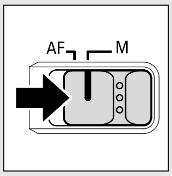
❍ 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
❍ オートではピントの合いにくい被写体
　・ 輝いたり、強い光が反射している
　・ 白い壁など、明暗の差がない
　・ 動きが速い
　・ 水滴や汚れのついたガラス越し
　・ 夜景

マニュアルフォーカス

操作のしかた

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 オートフォーカス機能のあるレンズでは、レンズのフォーカスモードスイッチをMにする



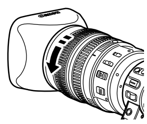


● MF 表示が出る。

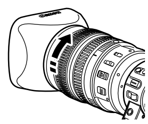
2 ズームを操作してテレ端にする

3 フォーカスリングを回してピントを合わせる

無限遠方向にピントを合わせる
下に回す



近距離方向にピントを合わせる
上に回す



4 ズームを操作して被写体を撮りたい大きさにする

● テレ端でピントを合わせておくと、そのままズーム全域でピントの合った撮影ができます。
● マニュアルフォーカス時に電源を入れた状態で放置するとピントがぼける場合があります。これはレンズおよびカメラ内部の温度上昇によりピント面がわずかですが移動するためです。
撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。または、フランジバックの調整をしてください（🕮 26）。

❍ HDV対応レンズを使用しているときは、マニュアルフォーカス時には被写体とのフォーカス距離情報を表示します（フォーカスプリセット時も表示します）。AFからマニュアルフォーカスに切り換えたときと、フォーカスリングを操作したあと約3秒間表示します。表示単位はメートルとフィートから選択できます。
❍ エクステンダーXL1.6×装着時は、フォーカス距離情報は表示しません。
❍ 距離情報は、目安としてお使いください。
∞－：超無限、∞：無限。距離表示の精度が低いズーム域では、グレー表示になります。

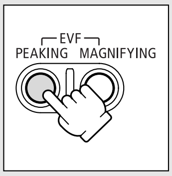
ピーキング/拡大表示

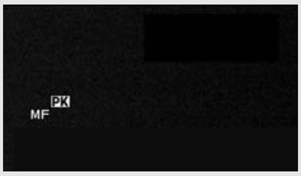
ピントを合わせやすくするためにピーキング（輪郭強調）表示と拡大表示ができます。この2つを組み合わせることでよりピントを合わせやすくなります。

ピーキング

撮影中、撮影一時停止中

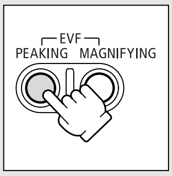
1 EVF PEAKINGボタンを押す





- 輪郭が強調されます。

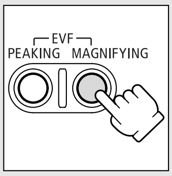
2 もう一度EVF PEAKINGボタンを押すと解除されます。



拡大表示

撮影一時停止中

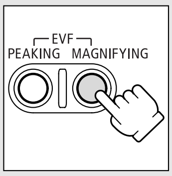
1 EVF MAGNIFYINGボタンを押す





- 画面の中心部が約2倍に拡大されます。

2 もう一度EVF MAGNIFYINGボタンを押すと解除されます。



❍ ピーキング表示/拡大表示は、テープやカードに記録する映像に影響しません。（拡大表示は、HD/SD SDI 端子、HDV/DV端子にはそのまま出力されます）
❍ 拡大表示は、撮影を開始すると解除されます。

次のページへ

フォーカス…つづき

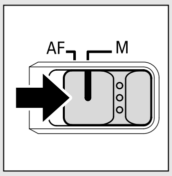
フォーカスプリセット（フォーカスプリセット機能を搭載したレンズ使用時）

プリセットしたフォーカス位置に、フォーカスを合わせます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで選択できます。

フォーカス位置をプリセットする

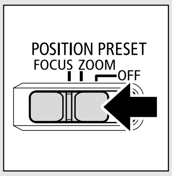
TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

1 フォーカスモードスイッチを「M」にする



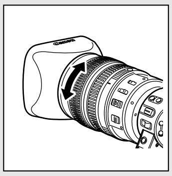
● MF表示が出る。

2 POSITION PRESETスイッチを「FOCUS」にする

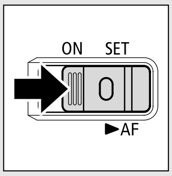


● 設定しているフォーカスP.スピード表示が出る。

3 フォーカスリングを操作して、フォーカスを合わせる



4 ON/SETスイッチを「SET」にする



● 「SET」にしたときのフォーカス位置がプリセットされ、黄色い文字に変わります。

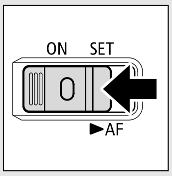
フォーカスプリセットのスピードを選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「フォーカスP.スピード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

プリセットしたフォーカス位置に戻る

1 ON/SETスイッチを「ON」にする

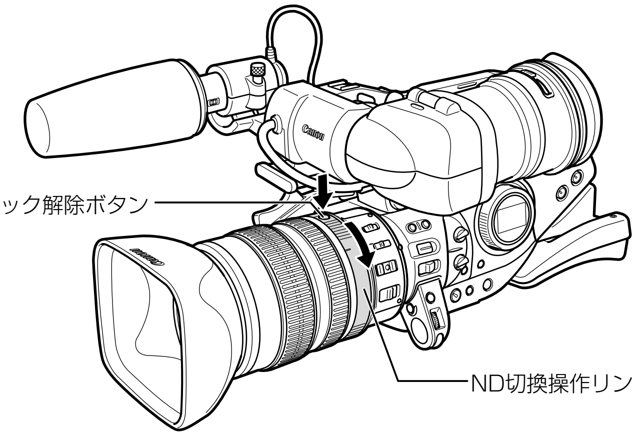


- フォーカスがプリセットした位置に合って固定されます。

レンズをはずすか、電源を切ると、プリセット値はリセットされ、プリセット設定はOFFになります。

NDフィルター（NDフィルター内蔵レンズ使用時）

晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときに、絞りが絞り込み小絞りによるボケ*が生じます。
このようなとき、NDフィルターを使用すると、このボケを防ぐことができます。
NDフィルターが内蔵されているレンズを使用するときは以下の警告表示に従って、NDフィルターを入／切してください。



HD 20X L ISレンズの場合は、ND切換ロック解除ボタンを押しながら、ND切換操作リングを回します。
撮影モードがマニュアル以外でゲインがA（オート）以外のときはNDフィルター警告表示が出ます。

表示	表示内容	操作
表示なし	内蔵NDフィルターが入っていない	―――
ND点灯	内蔵NDフィルターが入っている	―――
“ND ON” 点滅	内蔵NDフィルターが必要	レンズ内蔵のNDフィルターを使用する
ND “ON” 点滅	内蔵NDフィルターが入／切のレンズの場合：外付けのNDフィルターが必要 内蔵NDフィルターの濃度を選択できるレンズの場合：より濃いNDフィルターまたは外付けのNDフィルターが必要	より濃い内蔵フィルターを使うか、 レンズにNDフィルターを装着する※
ND “OFF” 点滅	内蔵NDフィルターは不要	レンズ内蔵のNDフィルターを使用しない
ND点滅（赤色）	内蔵NDフィルターの位置が適正でない	ND切換操作リングを回して、適切な位置にする

※ 外付けNDフィルターがない場合には Tvモードでシャッタースピードを速めに設定するか、Avモードで絞りを閉じてください。

*小絞りによるボケとは
屋外などの明るい場所で撮影すると、光の量を調整するために絞りが閉じてゆき絞り径が極端に小さくなったときに、ボケが生じることがあり、この現象を小絞り回折、または小絞りによるボケと呼びます（使用するレンズの種類によりボケが発生する絞り径は異なります）。

- NDフィルターを入れたり、シャッターを高速にして光の量を減らすと絞りが開き、ボケを防ぐことができます。

シーンによってはNDフィルターを入／切するとわずかに発色が変化する場合があります。このような場合はホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（🕮 82）。

フレームレートを選択する

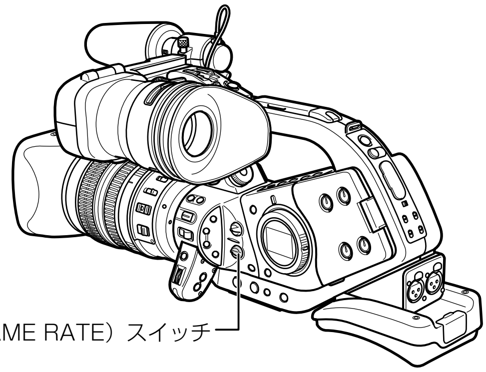
本機ではフレームレートを選択できます。

HD

60i、30F、24F（2:3）

SD

60i、30F、24F（2:3）、24F（2:3:3:2）



TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

60iモード

60フィールドインターレースで記録します。
通常のテレビ信号と同じです。

撮影編

30Fモード

30コマ/秒のプログレッシブモードで記録します。30コマ/秒の映像を60フィールドインターレース信号に変換し出力します。

30F（撮影）	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
⬇										
60i（記録／再生）	a a	b b	c c	d d	e e	f f	g g	h h	i i	j j

24Fモード

24Fではフィルムカメラと同じ24コマ/秒のプログレッシブモードで録画するため、映画のような映像表現になります。

HD

撮影/記録は24コマ/秒になり、再生時は「2：3プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
記録時に、HDV/DV端子をHDV出力に設定している場合、HDV/DV端子からは24Fで出力されます。HD/SD SDI 端子、コンポーネント端子からは24F 2:3プルダウン方式で出力されます。

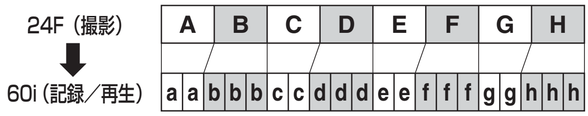
24F（撮影）	A	B	C	D	E	F	G	H
⬇								
24F（記録）	A	B	C	D	E	F	G	H
⬇								
60i（再生）	a a	b b b	c c	d d d	e e	f f f	g g	h h h

次のページへ

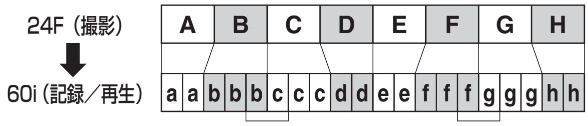
フレームレートを選択する…つづき

SD

24F（2:3）モード
24コマ/秒の映像信号を「2:3プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
24F編集する際、フレームの抽出で一部映像の伸張・圧縮が必要になります。
テレビでの再生に適しています。



24F（2:3:3:2）モード
24コマ/秒の映像信号を「2:3:3:2プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
3:3で接する部分の映像（右図bc、fg）を捨てるだけで、24Fの編集が可能なため、画質劣化のない編集が可能で、編集に適しています。



60i、30F、24Fを選ぶ

FRAME RATEスイッチで選ぶ
i：60iモード
F1：30Fモード
F2：24Fモード



● 選んだフレームレートが表示されます。

撮影中はFRAME RATEスイッチを操作しても、フレームレートは切り換りません。撮影一時停止になったときに切り換ります。

24F（2:3）モードと24F（2:3:3:2）モードを選ぶ SD



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「24Fプルダウン」➤ 設定内容を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・ 24F（2:3）を選んだときには、「24F」が白色で、24F（2:3:3:2）を選んだときには、「24F」がオレンジ色で表示されます。

2:3:3:2方式に対応していない編集システムの場合、24F 2:3で撮影してください。

タイムコードを設定する

TAPE CARD | EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M

フレーム設定を選択する

SDの24F以外ではドロップフレームとノンドロップフレームが選択できます。

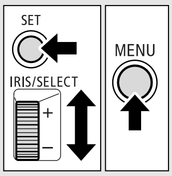


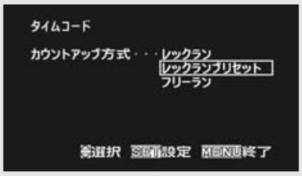
①MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「タイムコード」➤「フレーム設定」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③MENUボタンを押す
・ ノンドロップフレームを選んだときやSDで24Fを選んだときは、液晶表示パネルにNDFが表示されます。

カウントアップの方式を選択する

SDの24F以外では「レックラン」、「レックランプリセット」と「フリーラン」が選択でき、SDの24Fでは「レックラン」、「レックランプリセット」が選択できます。「レックラン」では、本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進します。「フリーラン」では、本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進します。「レックランプリセット」および「フリーラン」では、スタート値を任意に設定できます。

1 カウントアップ方式を選ぶ

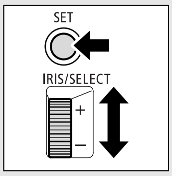




①MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「タイムコード」➤「カウントアップ方式」➤ 設定内容を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- 「レックラン」を選んだ場合はMENUボタンを押します。
- 「レックランプリセット」、「フリーラン」を選んだ場合はスタート値のセット／リセット選択画面が出ます。

2 「レックランプリセット」または「フリーラン」を選んだ場合：

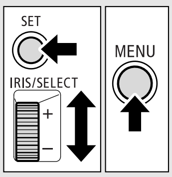
「セット」を選ぶ





- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- スタート値設定画面が出ます。

3 スタート値を設定する



- SELECTダイヤルを回して数字を選び、SETボタンを押して設定します。
- MENUボタンを押す。

撮影編

次のページへ

タイムコードを設定する…つづき

タイムコード表示



レックラン設定時：R
レックランプリセット設定時：P（白）（タイムコード青色表示）
フリーラン設定時：F（タイムコード青色表示）
タイムコード外部入力時：E（タイムコード青色表示）
タイムコードホールド時：H
再生時：なし

- ❍「フリーラン」を選んでいる場合は、設定の途中でMENUボタンを押したとき、または最後の桁を設定してSETボタンを押したときにタイムコードの歩進が開始します。
- ❍ タイムコードを「00：00：00：00」にリセットするときは、手順2でリセットを選んでください。
- ❍ タイムコードのフレームはSDの24Fでは5の倍数の設定になります。60i、30Fでタイムコードを設定していたときに、SDの24Fに変更すると自動的にスタート値が5の倍数になります。
- ❍ ドロップ、ノンドロップ（SDの24F含む）を混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- ❍ 重ね撮りする場合：記録開始付近にタイムコードの不連続があると、記録開始時のタイムコードが不連続になる場合があります。
- ❍ 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーパックなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。

本機のタイムコードを外部同期させる

本機のタイムコードを外部タイムコードジェネレーターに同期できます。また、TC IN端子に入力されるユーザービットをテープに記録することもできます（📖 57）。

GENLOCK

GENLOCK端子に入力される同期信号に対して、内部のV同期、H同期の位相を合わせます。

タイムコード入力

TC IN端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとしてテープに記録します。
TC IN端子にタイムコードと同時に入力されるユーザービットをテープに記録できます。

タイムコード出力

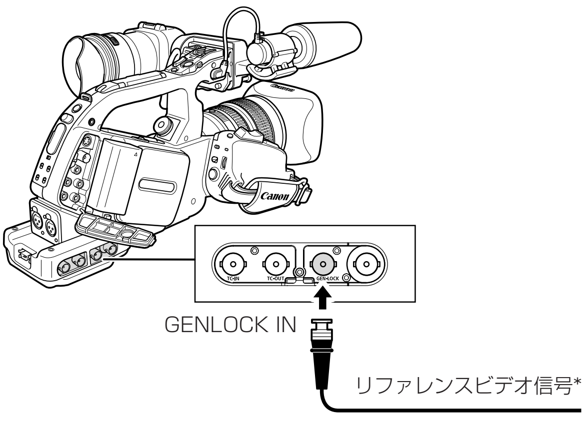
本機のタイムコードデータを、LTC規格の信号でTC OUT端子から出力します。
「信号設定」サブメニューの「タイムコード出力」で入/切できます。
・ タイムコード出力を「入」にすると、液晶表示パネルにTC OUTが点灯します。

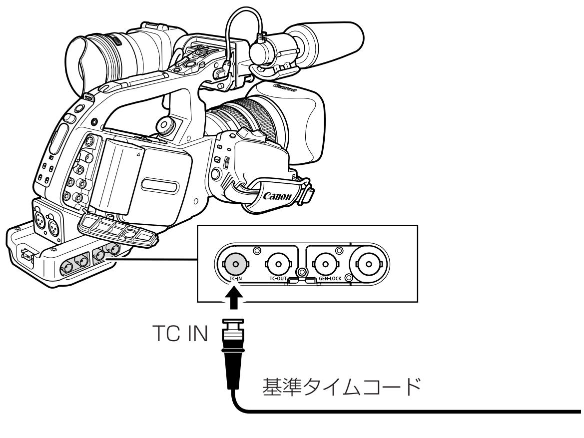
	カメラモード＊	VCRモード	カードカメラモード	カードVCRモード
GENLOCK	○	×	○	×
タイムコード/ユーザービット入力	○	×	×	×
タイムコード出力	○	○＊＊	×	×

＊SDでフレームレートを24Fに設定しているときは、タイムコード入力はできません（液晶表示パネルのTC IN表示が消えます）。
＊＊テープに記録されているタイムコードを出力します。

接続のしかた

外部の信号にロックさせる場合





* リファレンスビデオ信号としては、HD-Y信号の他、NTSCコンポジットビデオ信号も入力可能です。

次のページへ

本機のタイムコードを外部同期させる…つづき

外部同期を設定する

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			



① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「外部同期」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

- ❍ 外部同期を「GENLOCK＋TC」に設定しているときは、「タイムコード」の「フレーム設定」と「カウントアップ方式」の設定内容は無視され、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります。
（入力されるタイムコードがノンドロップフレームの場合は、液晶表示パネルにNDFが表示されます）
- ❍ GENLOCKとタイムコード入力の同期が安定すると（約10秒後）、TC IN端子からケーブルをはずしても、外部ロック状態は保持されます。電源を入切したり、VCR/PLAYモードにしたり、FRAME RATEスイッチを切り換えると外部ロック状態は解除されます。
- ❍ 外部同期を「GENLOCK＋TC」に設定していて、タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、「タイムコード」の「カウントアップ方式」の設定内容の内部タイムコードが記録されます。
- ❍ 外部同期を「GENLOCK＋TC」に設定していて、GENLOCK入力がない、または不正な入力状態になっているときは、入力されるタイムコードのテープへの記録が乱れることがあります。
- ❍ カメラモードで、SDの24Fの場合、タイムコードは入力できません。液晶表示パネルのTC IN表示も消えます。
- ❍ 本機の動作モード（HD/SD）とGENLOCK入力信号のモードが異なる場合は、GENLOCKできません。
- ❍ GENLOCKは位相差0を中心として、約±0.4Hの範囲で調整可能です（📖55）。
- ❍ モード選択スイッチをHDに、「SDI 出力映像」を「SD固定」にしているとGENLOCKできません。
- ❍ メニューでGENLOCKまたはGENLOCK＋TCを選ぶと、液晶表示パネルにGENLOCKが点滅します。GENLOCK信号が入力されても、位相同期が合うまでは、点滅し、位相同期が合うと点灯します。
- ❍ メニューでGENLOCK＋TCを選ぶと、液晶表示パネルにTC INが表示されます。
- ❍ TC IN表示中に外部タイムコードが入力されると液晶パネルにEXT LOCKが表示されます。

ユーザービットを設定する

時刻、日付や16進数8桁までのユーザービットを設定してテープに記録します。
ユーザービットは0～9までの数字と、A～Fまでのアルファベットが設定可能です。
ユーザービットは自由に設定できますので、テープIDなどテープの管理に便利です。
また、タイムコードと同時にユーザービットを外部機器から入力している場合は、外部入力ユーザービットも記録できます。

ユーザービットを設定する

TAPE　CARD　　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

1 項目を選ぶ



① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「UB選択」を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- ユーザービット選択画面が出ます。
- 「00 00 00 00」を選んだときは、「UB設定」の「セット/リセット」選択画面になります。
  「セット」を選ぶとUB設定画面になります。

2 ユーザービットを設定する



- SELECTダイヤルを回して数字、アルファベットを選び、SETボタンを押して設定します。続いて、右隣の桁の設定になります。最後の桁を設定して、SETボタンを押すとメニューに戻ります。

③ MENUボタンを押す

❍ ユーザービットを「00 00 00 00」にリセットするときは、手順2で「リセット」を選んでください。
❍ ユーザービットはカメラでの撮影、アナログ入力での録画で記録されます。HDV／DV入力での録画では自機設定のユーザービットは記録されません。

次のページへ

ユーザービットを設定する…つづき

ユーザービットを表示する

TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

記録、再生するユーザービットを表示します。



① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「UB表示」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「入」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

外部入力したユーザービットを記録する

TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M



① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「UB記録」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「外部入力」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

音声の記録

録音レベル調整は必ず市販のヘッドフォンでモニターをしながら行ってください。

本機ではHDV、DVともに2チャンネル記録と最大4チャンネルまでに同時記録ができるモードがあります。

TAPE CARD | EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M

HDV

音声記録の転送レートは2チャンネルでは384Kbps、4チャンネル同時記録では、384Kbpsで、2チャンネルあたり192kbpsになります（サンプリング周波数はともに48kHz)。

DV

・ 音声記録は16bit（サンプリング周波数48kHz）と12bit（サンプリング周波数32kHz）が選択でき、さらに12bitではアフレコなどのために2チャンネルを残したモードと4チャンネルまで同時記録できるモードが選択できます。
＊ 本機ではアフレコできません。

48kHz 2CH

32kHz 2CH

チャンネル1、2に記録され、隣のチャンネルは空きになります。

32kHz 4CH

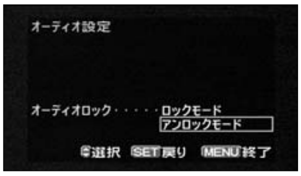
チャンネル1、2、3、4に同時に記録します。

オーディオモード	HDV	DV	
2CH	MPEG1 Audio Layer2（384kbps）	PCM 48kHz 16bit	PCM 32kHz 12bit
4CH	MPEG2 Audio Layer2（384kbps）	PCM 32kHz 12bit	

撮影編

オーディオロック SD

音声と映像のサンプリングクロックを同期させて（ロックモード）記録したり、音声と映像のサンプリングクロックを独立して（アンロックモード）記録できます。



① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「オーディオロック」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

次のページへ

音声の記録…つづき

オーディオモードの選択

HDV

2CH、4CH

DV

48kHz 2CH、32kHz 2CH、32kHz 4CH

HDV



① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「オーディオモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

DV



ウィンドカットを使う

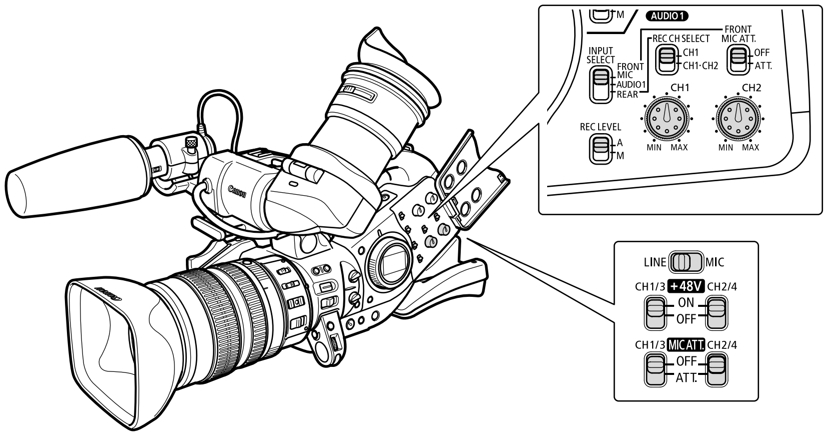
フロントマイクでは、風の音を低減して収録できます。
- 付属のマイクのみ使用可能です。



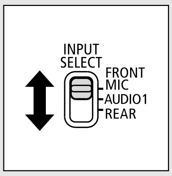
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「ウィンドカット」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

チャンネル1、2に録音する

入力をフロントマイク（FRONT MIC−付属マイク）、AUDIO1（RCA端子）、リア（REAR−XLR端子）から選択します。（オーディオブロック図 🕮 184）



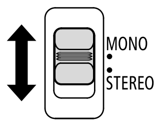
1 INPUT SELECTスイッチを切り換える



フロントマイクの場合

付属のマイクの音声端子/DC端子を本機に接続します。

- 必要に応じてFRONT MIC ATT.（20dB）スイッチをATT（入）/OFFできます。
- STEREO/MONOスイッチを切り換えることで、モノラル収録ができます。同じモノラル信号がチャンネル1、2に記録されます。



AUDIO1端子の場合

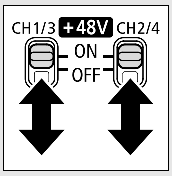
ミキサーなどからのラインレベルの信号をAUDIO1のRCA端子に接続します。

次のページへ

音声の記録…つづき

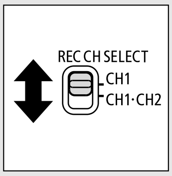
リア入力端子の場合

1 XLR端子にマイクを接続する



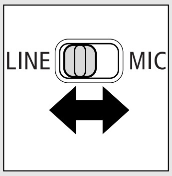
- ファンタム電源が必要なマイクを使う場合は+48VスイッチをONにします。ONにするとオレンジ色が見えます。
  ファンタム電源をONにするときは、マイクを接続してから行います。OFFにするときは、接続したまま行います。

2 REC CH SELECTスイッチで録音するチャンネルを選ぶ



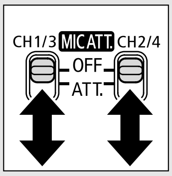
接続するリア入力端子	REC CH SELECTスイッチ	録音するチャンネル
CH1/3	CH1	チャンネル1
	CH1・CH2	チャンネル1
		チャンネル2
CH2/4	CH1	チャンネル2
	CH1・CH2	―――

3 入力信号に応じてLINE/MICスイッチを「LINE」/「MIC」にする



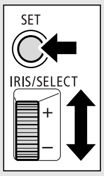
- LINE/MICスイッチはチャンネル1、2同時に切り換えます。

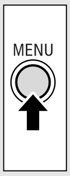
4 必要に応じてMIC ATT.（20dB）スイッチを「ATT.（入）」/「OFF」にする



- LINE/MICスイッチがMICのときに機能します。

5 必要に応じてリアマイクゲインアップを「12dB」にする







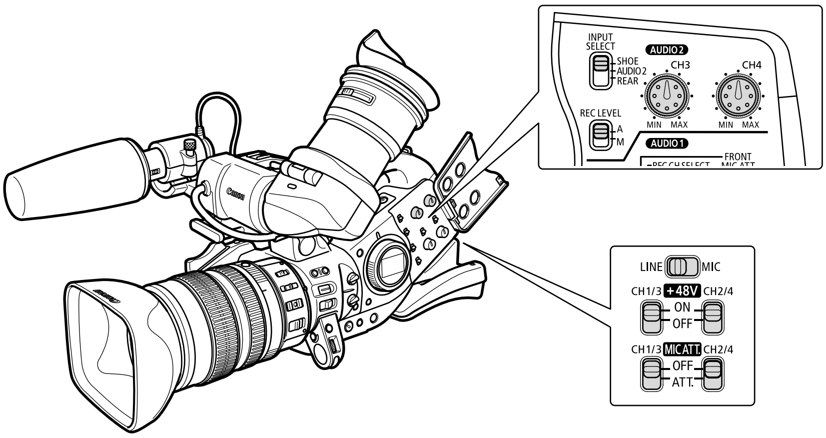
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「リアマイクゲインアップ」➤設定内容を順に選ぶ
　・SELECTダイヤルを回して「12dB」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
- LINE/MICスイッチがMICのときに機能します。

+48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、+48Vスイッチを必ずOFFにしてください。ONにしたままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

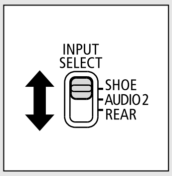
チャンネル3、4に録音する

入力をアドバンストアクセサリーシュー（SHOE）（別売のマイクアダプターMA-300）、AUDIO2（RCA端子）、リア（REAR）（XLR端子）から選択します。（オーディオブロック図 🕮 184）

・ オーディオモードで、4CH HDV 、32kHz 4CH SD を選んでおきます。



1 INPUT SELECTスイッチを切り換える



アドバンストアクセサリーシューの場合

アドバンストアクセサリーシューに別売のマイクアダプターMA-300を取り付け*、MA-300のXLR端子にマイクを接続します。

MA-300を使用すると4チャンネルすべてにバランスマイクを使用できます。

＊取り付けかた、使いかたについては、マイクアダプターMA-300の使用説明書をご覧ください。

・MA-300はファンタム電源を供給できません。

・MA-300使用時はマイクレベルの信号のみ入力できます。

・マイクアダプターMA-100、MA-200は使用できません。

AUDIO2端子の場合

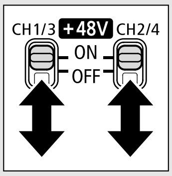
ミキサーなどからのラインレベルの信号をAUDIO2のRCA端子に接続します。

次のページへ

音声の記録…つづき

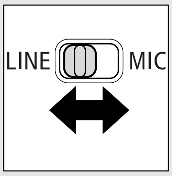
リア入力端子の場合

1 XLR端子にマイクを接続する



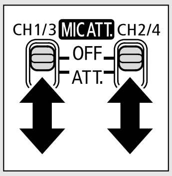
- ファンタム電源が必要なマイクを使う場合は+48VスイッチをONにします。ONにするとオレンジ色が見えます。
  ファンタム電源をONにするときは、マイクを接続してから行います。OFFにするときは、接続したまま行います。

2 入力信号に応じてLINE/MICスイッチを「LINE」/「MIC」にする



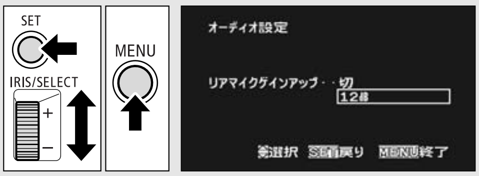
- LINE/MICスイッチはチャンネル3、4同時に切り換えます。

3 必要に応じてMIC ATT.（20dB）スイッチを「ATT.（入）」/「OFF」にする。



- LINE/MICスイッチがMICのときに機能します。

4 必要に応じてリアマイクゲインアップを「12dB」にする



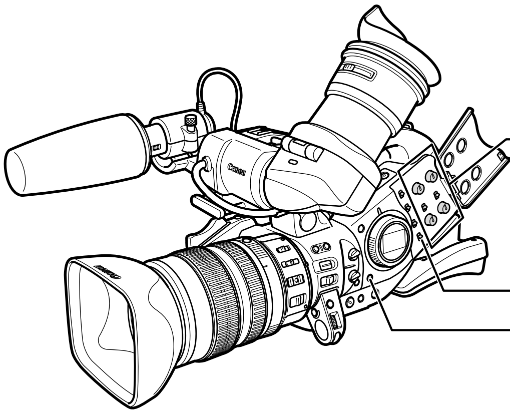
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「リアマイクゲインアップ」➤設定内容を順に選ぶ
- ・SELECTダイヤルを回して「12dB」を選び、SETボタンを押して設定します。

③ MENUボタンを押す
- LINE/MICスイッチがMICのときに機能します。

+48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、+48Vスイッチを必ずOFFにしてください。ONにしたままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

録音レベルの調整

- フロントマイク、リア入力の場合、入力レベルが高すぎて音声が歪むときはMIC ATTをATT（20dB）にしてください。



ファインダーにレベルメーターを表示する

レベルメーター表示を入/切できます。

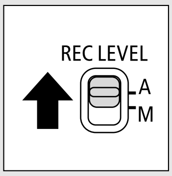


① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「レベルメーター」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・ レベルメーター表示は、カスタムキーでも入/切できます（📖 97）。

撮影編

レベル調整をオートで行う

1 **REC LEVELスイッチをAにする**

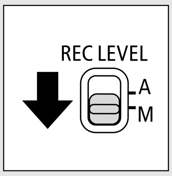


次のページへ

音声の記録…つづき

レベル調整をマニュアルで行う

1 **REC LEVELスイッチをMにする**

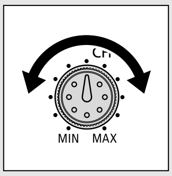


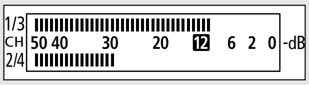
2 **4チャンネル録音しているときはAUDIO MONITORボタンを押して、ヘッドホン/レベルメーターでモニターする音声チャンネルを選択する**



- CH1/2、CH3/4、CH1+3/2+4が切り換わります
  レベル調整をするときは、CH1+3/2+4を選ばないでください。

3 **LEVELつまみを回して、オーディオレベルメーターの12より右（ファインダーでは●より右）が時々点灯するように調整する**





❍ 音声レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。レベルメーターが適切に表示していても、入力レベルが過大な場合、音声が歪むことがあります。

❍ 音声を映像に同期させてモニターするときは、「ラインアウト」を選択してください。
音声をリアルタイムでモニターするときは「ノーマル」を選択してください。この場合は、音声と映像に少しずれが生じます。
「ラインアウト」、「ノーマル」いずれの場合も、テープには映像と音声は同期して記録されます。



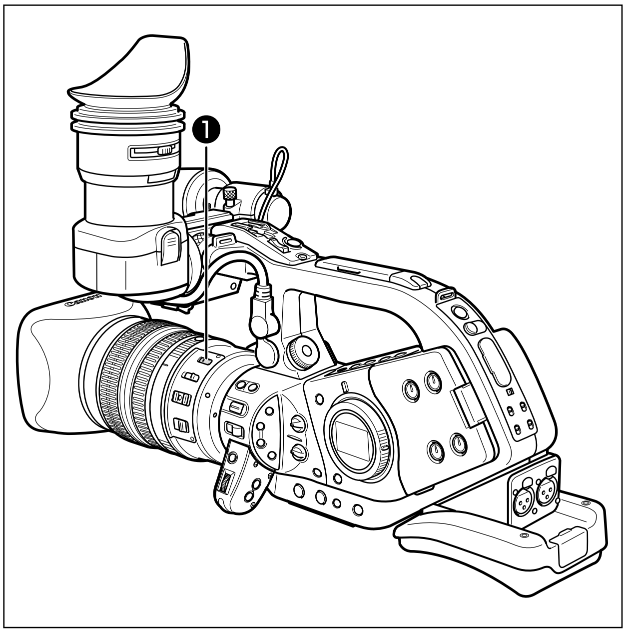
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「音声モニター」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

手ぶれ補正機能
（手ぶれ補正機能付きレンズ使用時）

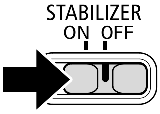
手持ちや肩に載せて撮影するときに手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。
通常の撮影では、手ぶれ補正は解除する必要はありませんが、必要に応じて解除できます。

手ぶれ補正の解除のしかた

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M	(スポットライト)	(ナイト)	□



❶ レンズのSTABILIZER ON/OFFボタンをOFFにする



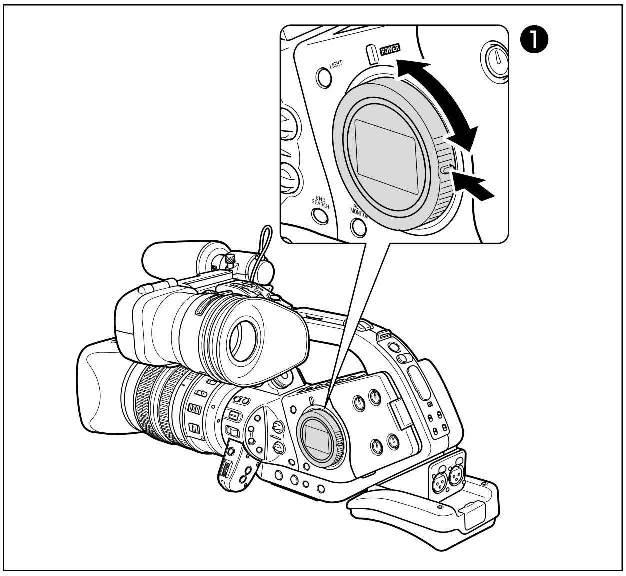
・ □（全自動）モードでは、手ぶれ補正は解除できません。

❍ 三脚などを使用して撮影をするときは手ぶれ補正を切ることをおすすめします。
❍ 手ぶれが大きすぎると、補正されないことがあります。
❍ 別売のエクステンダーを取り付けると、手ぶれ補正がききにくくなります。
❍ カードカメラモードでは、PHOTOボタンを浅く押すと、手ぶれ補正が機能します。

撮影モードを選ぶ

被写体の条件に合わせて最適なモードが選べる7種類の撮影モードを搭載しています。

操作のしかた



❶ **ボタンを押しながらメインダイヤルを回す**

- 撮影モードを選択する。
- 選んだモード表示が出る。

撮影中はメインダイヤルを切り換えないでください。撮影モードを変えると映像の明るさが一時的に大きく変化する場合があります。

撮影モードの選択

□（全自動）モード、スポットライトモード、ナイトモードは、撮影場面に合った撮影ができるようにすべてが自動設定されています。A（オート）モード、Tvモード、Avモード、マニュアルモードでは撮影の状況に合わせて設定できます。

- 撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

<table>
<tr><th>撮影モード</th><th>□（全自動）
モード</th><th>A（オート）
モード</th><th>Tvモード</th><th>Avモード</th><th>マニュアル
モード</th><th>スポットライト
モード</th><th>ナイト
モード</th></tr>
<tr><td>EXP. LOCKボタン</td><td>×</td><td colspan="3">○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>IRISダイヤル</td><td>×</td><td>×＊1</td><td>×＊1</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SHUTTERボタン</td><td>×</td><td>×＊1</td><td>○</td><td>×＊1</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>AE SHIFT
ダイヤル</td><td>×
（0に固定）</td><td colspan="3">○</td><td>×</td><td>×</td><td>×
（0に固定）</td></tr>
<tr><td>GAINダイヤル</td><td>×
（オートに固定）</td><td colspan="4">○</td><td>×
（0dBに固定）</td><td>×
（オートに固定）</td></tr>
<tr><td>WHITE BALANCE
ダイヤル</td><td>×
（オートに固定）</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>カスタムプリセット
の調整</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>CUSTOM PRESET
SELECTボタン</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>CUSTOM PRESET
ON/OFFボタン</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>スキン設定</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>クリアスキャン
の実行</td><td>×</td><td>×</td><td>○＊2</td><td>×</td><td>○＊2</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>クリアスキャン
の周波数選択</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
</table>

＊1：露出ロックをすると使用できます。
＊2：クリアスキャン実行中に周波数が選択できます。

次のページへ

撮影モードを選ぶ…つづき

● 組み合わせるレンズによって、撮影モードで使用できる機能が異なります。

HD 20X L IS/20X L IS/16X IS Ⅱ レンズと3Xワイドレンズの場合

	□（全自動）モード	□（全自動）モード以外
マニュアルフォーカスリング	○	
ズームリング	○	
手ぶれ補正（入/切）＊1	×（ONに固定）	○
ND切換ロック解除	○	
フォーカスモード切り換え	×（オートフォーカスに固定）	○
▶AF（プッシュAFボタン）	×	○

＊1：3Xワイドレンズ以外の場合

□（全自動）モード

ズーム、スタート/ストップボタンを押すだけで全自動撮影できます。詳細設定はできません。



A（オート）モード

□（全自動）に加え、メニューなどで詳細設定できます。



Tv（シャッター優先：Time Value）モード

シャッタースピードをマニュアルで設定できます。スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をブレのない映像で撮影できます。
Tvモードでは絞りは自動で調節されます。



Av（絞り優先：Aperture Value）モード



絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変化させ、背景や周囲をボカし被写体を引き立てることができます。
Avモードではシャッタースピードは自動で調節されます。
- ズームの望遠側で撮影すると、背景のボケの効果がより大きくなります。

M　マニュアルモード



絞り、シャッタースピードをマニュアルで設定できます。

スポットライトモード



スポットライトなど範囲の狭い照明が当たっている被写体や花火などを鮮明に撮影できます。

ナイトモード



夜景や暗くても照明が使えない場所で、被写体を明るくカラーで撮影できます。周囲の明るさに応じてシャッタースピードが1/4～1/500秒（60i、30F）、1/3～1/500秒（24F）で自動調整されます。

- ❍ 動きのある被写体では、残像が残ります。
- ❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ❍ 画面に白い点などが現れることがあります。
- ❍ オートフォーカスでピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

Tvモード

シャッタースピードをマニュアルで設定し、低照度からスポーツや乗り物など動きの速い被写体まで撮影できます。選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

動画

60iまたは30F	1/4秒*、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）
24F	1/3秒*、1/6秒、1/12秒、1/24秒、1/48秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）

静止画

1/4秒*、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒

* HD 20× L IS レンズの場合

- 1/100秒以上の高速シャッターを使うことで、晴天下などの明るい場所で絞りが自動的に絞られることによる小絞りを防ぐことができます。

蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源照明下での撮影について

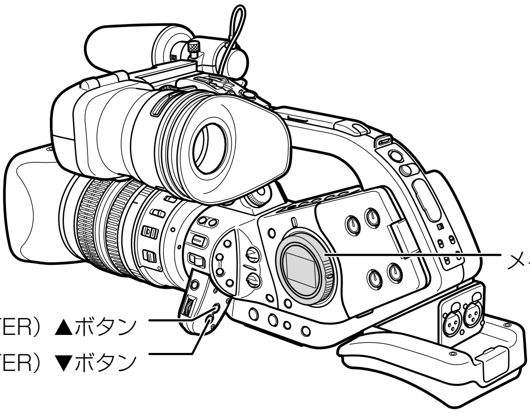
設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出る場合があります。フリッカーが気になる場合は、1/100秒を選んで撮影してください。

スローシャッターによる撮影

1/30秒以下のスローシャッターでは、明るさが不足する場所で被写体を明るく撮影できます。また、特殊効果としても使用できます。たとえば、動いている被写体をパンするときに背景を流したり、残像効果をズームに加えたりできます。

- スローシャッターを低照度下で使用すると明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- オートフォーカスのままではピントが合いにくいことがあります。

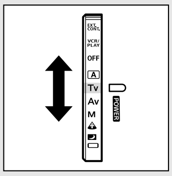
操作のしかた



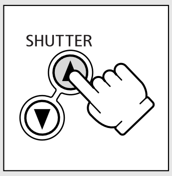
TAPE | CARD

EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 Tvモードを選ぶ

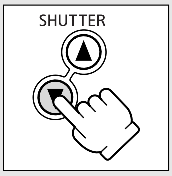


2 ▲を押す



- シャッタースピードが速くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

▼を押す

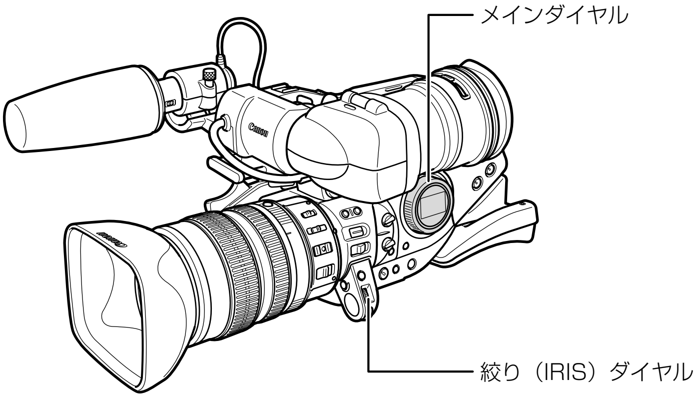


- シャッタースピードが遅くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

❍ SHUTTERボタンで調節したシャッタースピード以外（絞り値など）はオートで調節されます。
❍ 設定したシャッタースピードは露出ロックを操作して露出を変更すると設定された値はバックアップされません。
❍ ゲインがAUTO（オート）のとき、選択したシャッタースピード表示が点滅することがあります。これは、選んだシャッタースピードが適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるようにSHUTTERボタンで設定を変えてください。
また、内蔵NDフィルターを使用している場合は、「切」にしてから再設定してください。

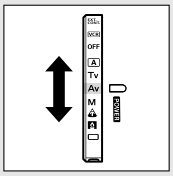
Avモード

絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変えて、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせることができます。8段階の絞り（F1.6、F2.0、F2.8、F4.0、F5.6、F8.0、F9.5、CLOSE：HD 20X L ISレンズの場合）がありますので、場面に応じて選んでください。

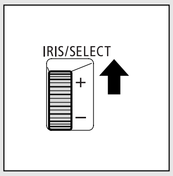


TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

1 Avモードを選ぶ

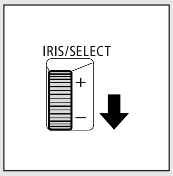


2 IRISダイヤルを上に回す



● 絞りが開き、被写界深度が浅くなる。
● 選んだ絞り値表示が出る。

IRISダイヤルを下に回す



● 絞りが閉じ、被写界深度が深くなる。
● 選んだ絞り値表示が出る。

● IRISダイヤルの操作方向は、メニューで変更できます。
① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「アイリスダイヤル」➤ 設定内容を順に選ぶ
 ・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

❍ IRISボタンで調節した絞り値以外（シャッタースピードなど）はオートで調節されます。
❍ 設定した絞り値は露出ロックを操作して露出を変更すると設定した値はバックアップされません。
❍ ゲインがAUTO（オート）になっているときに、選択した絞り値表示が点滅することがあります。これは選んだ絞り値が適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるように IRISダイヤルで絞り値を変えてください。
❍ 絞り値をF8.0などに設定することにより被写界深度を深く、開放F1.6にすることにより被写界深度を浅くできますので、背景などのピントの合う範囲を変化させることができます。
・レンズの内蔵NDフィルターが ON になっているときに、絞りこんでいくと画面が暗くなることがあります。このようなときは、レンズの内蔵NDフィルターを「切」にして、再設定してください。
・晴れた日の屋外などで撮影中（ □（全自動）モード、 A（オート）モード）に“ND ON”／ND“OFF”の警告が頻繁に出るような場合には、Avモードで絞りの設定をF5.6〜F8.0などに変えて撮影することも有効です（シャッターは標準より速くなります）。

撮影編

マニュアルモード

絞りとシャッタースピードを自由に設定できます。
被写界深度を維持しながら明るさを変えたり、場面の転換に明るさを変えたりできます。

シャッタースピード

カメラモード

60iまたは30F	1/4秒*、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒、1/600秒、1/720秒、1/840秒、1/1000秒、1/1200秒、1/1400秒、1/1700秒、1/2000秒、1/2300秒、1/2600秒、1/3000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）
24F	1/3秒*、1/6秒、1/12秒、1/24秒、1/48秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒、1/600秒、1/720秒、1/840秒、1/1000秒、1/1200秒、1/1400秒、1/1700秒、1/2000秒、1/2300秒、1/2600秒、1/3000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）

カードカメラモード

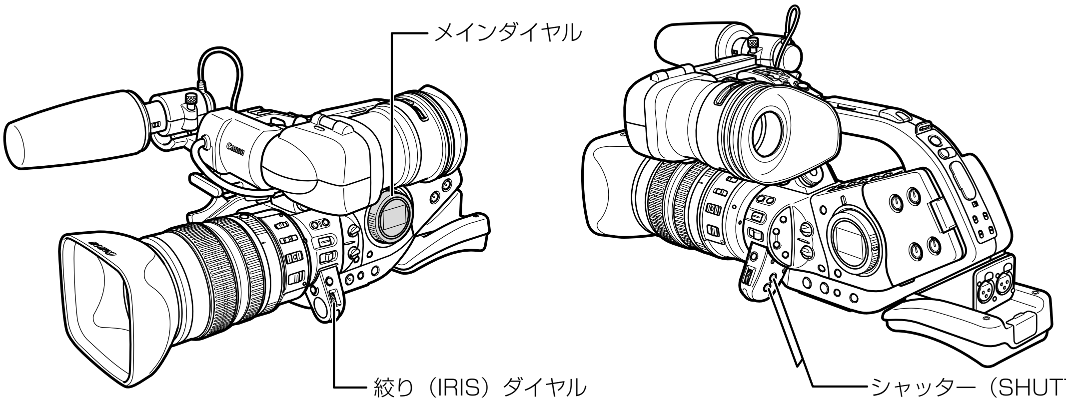
1/4秒*、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒

* HD 20× L IS レンズの場合

絞り

（HD 20X L IS レンズの場合）	F1.6、F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、CLOSE

操作のしかた



TAPE | CARD

EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M | | |

1 M（マニュアル）モードを選ぶ



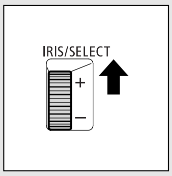
- ファインダーに露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標：▼
標準の露出レベルを表示します。
② 露出レベルの指標：▮
現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

- 露出メーターは目安としてお使いください。

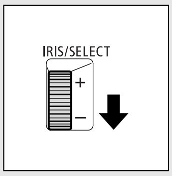
絞りを調節する

2 **絞りを調節する**
IRISダイヤルを上に回す



- 絞りが開き、被写界深度が浅くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

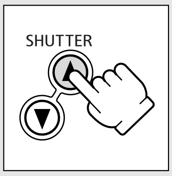
IRISダイヤルを下に回す



- 絞りが閉じ、被写界深度が深くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。
- 絞りの操作方法は、メニューで変更できます（📖74）。

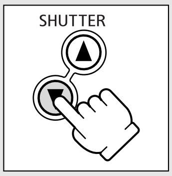
シャッタースピードを調節する

2 **▲ を押す**



- シャッタースピードが速くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

▼ を押す

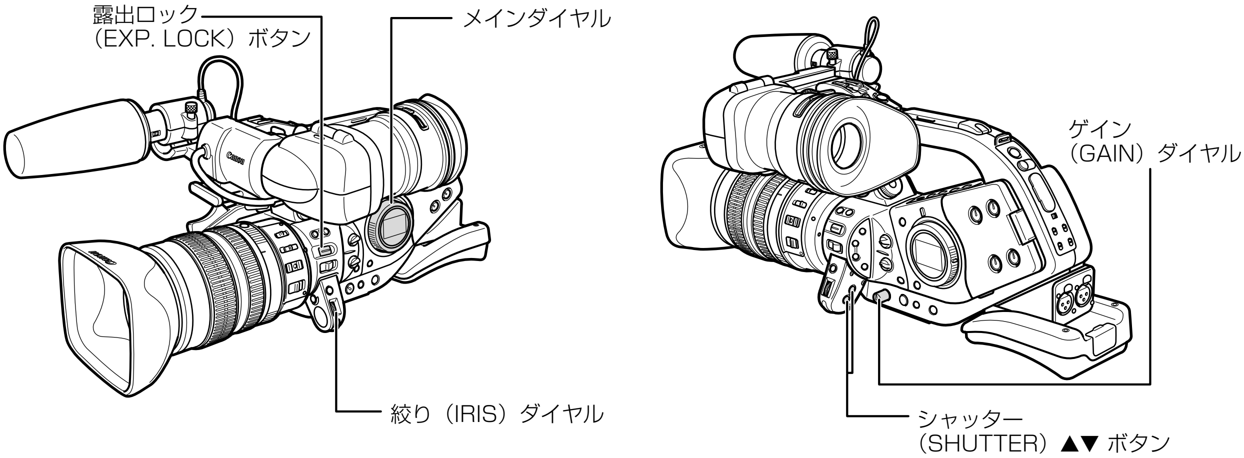


- シャッタースピードが遅くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

撮影編

露出を変える

EXP. LOCKボタンを押して露出をロックすると、画面はそのときの明るさで固定されます。
また、露出ロックしたあと任意にシャッタースピード、絞り値やゲインを変更できます。

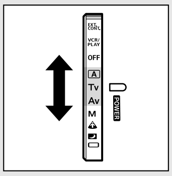


露出をロックする

TAPE	CARD

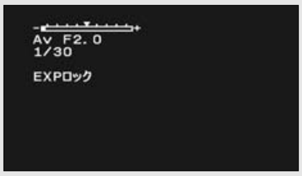
EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

1 メインダイヤルを A （オート）、Tv、Avのいずれかにする



2 EXP. LOCKボタンを押す





- 露出がその明るさのままロック（固定）される。
- ファインダーに露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標： ▼
標準の露出レベルを表示します。
② 露出レベルの指標： ▮
現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

- 露出メーターは目安としてお使いください。

露出ロックをしたあと絞り値を変える

- 露出ロックで絞り値を変える場合は、21段階（HD 20X L ISレンズの場合）で調整できます。
- 絞りは1/4段で調整できますがビューファインダーの表示は下記のようになります（HD 20X L ISレンズの場合）。

F1.6 ⟷ F2.0 ⟷ F2.8 ⟷ F4.0
↕
F5.6
↕
CLOSE ⟷ F9.5 ⟷ F8.0

露出ロックをしたあとシャッタースピードを変える

- 露出ロックでシャッタースピードを変える場合は、13段階（HD 20X L ISレンズの場合）で調整できます。

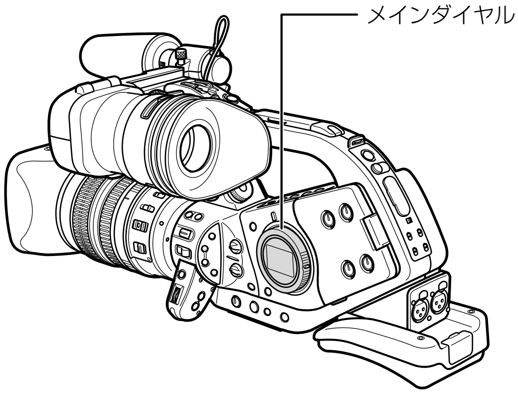
露出ロックをしたあとゲインを変える

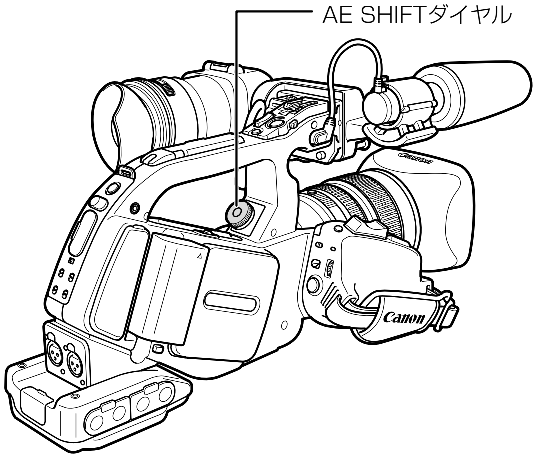
- 露出ロックでゲインを変える場合も6段階で調節できます。

AEレベル補正

AEレベルを13段階（＋2.0、＋1.5、＋1.0、＋0.75、＋0.5、＋0.25、±0、－0.25、－0.5、－0.75、－1.0、－1.5、－2.0）で調節でき、明るめや暗めに撮影するときに使用します。

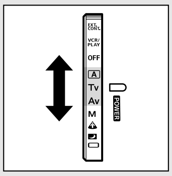
操作のしかた



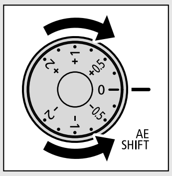


TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

1 **メインダイヤルを A（オート）、Tv、Av のいずれかにする**



2 **AE SHIFTダイヤルを回す**

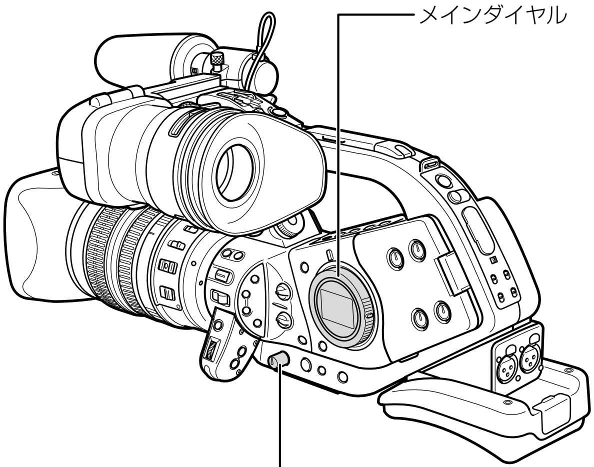


- 明るめに撮影するときは、＋方向に回す。
- 暗めに撮影するときは、－方向に回す。

ゲイン調整

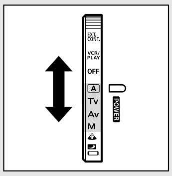
－3dB	室内、低照度やコントラストの低いシーンでノイズの少ない撮影ができます。
A(Auto)	ゲインは自動調整になります。
0dB	夜景などの撮影のときに、ノイズが少なく、色のりのよい撮影ができます。
＋3dB／＋6dB／＋12dB／＋18dB	暗いとき（絞り解放時）、室内や低照度のシーンで明るく撮影できます。

● GAINダイヤルは誤操作をふせぐため、通常は操作できないようになっています。押し込むとダイヤルが出て操作できるようになります。調整が終わったら再度押し込んでください。

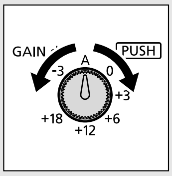


TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

1 メインダイヤルを A （オート）、Tv、Av、Mにする



2 GAINダイヤルを回して調整する



ゲイン値を上げすぎると
画面が多少ざらつくことがあります。

撮影編

ホワイトバランス

本機では、ホワイトバランスはオートのほかに、☼（5600Kの太陽光）、💡（3200Kのランプ）、色温度設定があり、さらにホワイトバランスセットでは2つまで登録できます。

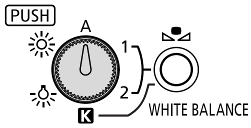
- 蛍光灯は、オートまたはセットで撮影してください。
- WHITE BALANCEダイヤルは誤操作をふせぐため、通常は操作できないようになっています。押し込むとダイヤルが出て操作できるようになります。調整が終わったら再度押し込んでください。

TAPE | CARD

EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

オートの設定をする

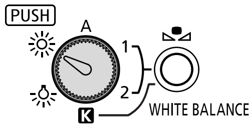
WHITE BALANCEダイヤルをAにする。



屋外の設定をする

WHITE BALANCEダイヤルを ☼ にする。

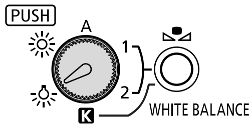
- 夜景や花火などを撮るとき
- 朝日や夕焼けなどを撮るとき



屋内の設定をする

WHITE BALANCEダイヤルを 💡 にする。

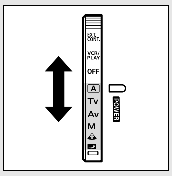
- パーティ会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- スタジオなどでビデオライトの照明で撮るとき
- ナトリウムランプの照明で撮るとき



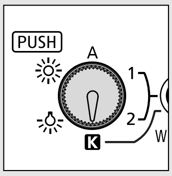
色温度設定

色温度の調整範囲は2800K～12000Kまでで、100K単位で設定でできます。

1 メインダイヤルを ▭（全自動）以外のカメラモードにする



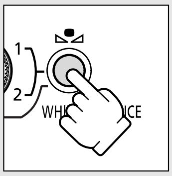
2 WHITE BALANCEダイヤルをKに合わせる





- 現在設定されている色温度が出る。

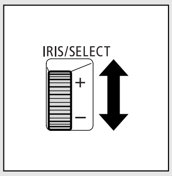
3 WHITE BALANCE （セット）ボタンを押す



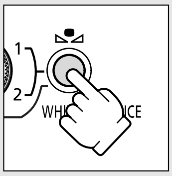


- 色温度表示が点滅する

4 SELECTダイヤルを回して色温度を選ぶ



5 WHITE BALANCE （セット）ボタンを押す





- 色温度表示が点灯に変わる

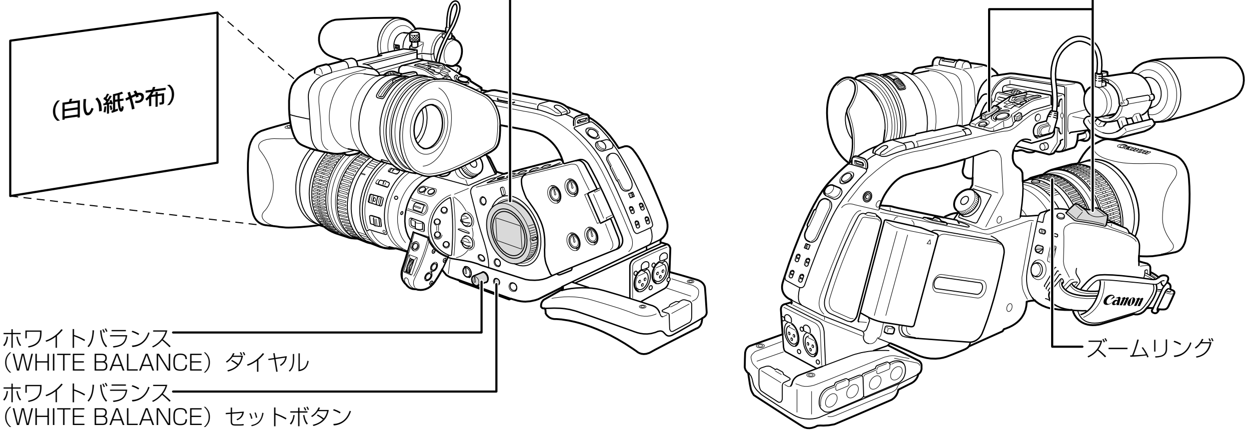
撮影編

次のページへ

ホワイトバランス…つづき

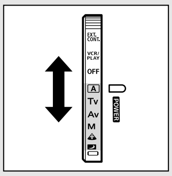
ホワイトバランスのセット

ここではホワイトバランスを1でセットする場合の画面表示で説明しています。

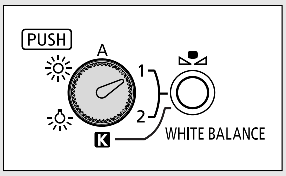


TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

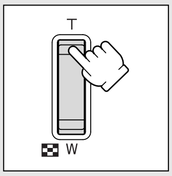
1 メインダイヤルを ▢（全自動）以外のカメラモードにする



2 WHITE BALANCEダイヤルを設定する番号に合わせる

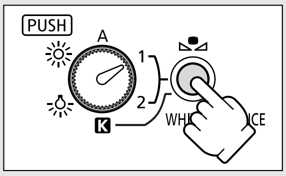


3 ズームなどを使って白い紙などをファインダーいっぱいに写す



- セットの作業が終わるまで、写し続けてください。

4 WHITE BALANCE （セット）ボタンを押す



● 1が速く点滅し、セットが完了すると点灯する。

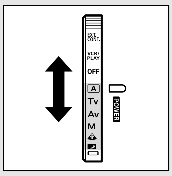


❍ ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（速い点滅から遅い点滅に変わります）ことがありますが、この場合でも、オートよりも適切なホワイトバランスになっていますので、そのまま撮影できます。
❍ ホワイトバランスセットで登録したデータは、内蔵2次電池が充電されていれば、電源の入／切に関係なく保持されます。
❍ カスタムプリセットのRGBゲイン、カラーマトリクス、RGBマトリクスの設定がホワイトバランス設定に優先します。
❍ 次のような場合は自動では色合いを調節できないことがあります。ファインダーで色が不自然に見えるときは、ホワイトバランスのセットなどをしてください。
・ 照明条件が急に変わるとき
・ クローズアップ撮影をするとき
・ 単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・ 水銀灯と一部の蛍光灯で撮影するとき

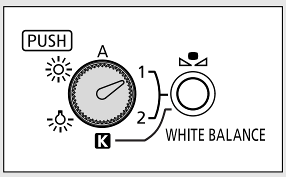
登録したホワイトバランスセットで撮影する

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 メインダイヤルを ▭（全自動）以外のカメラモードにする



2 WHITE BALANCEダイヤルを登録した番号に合わせる



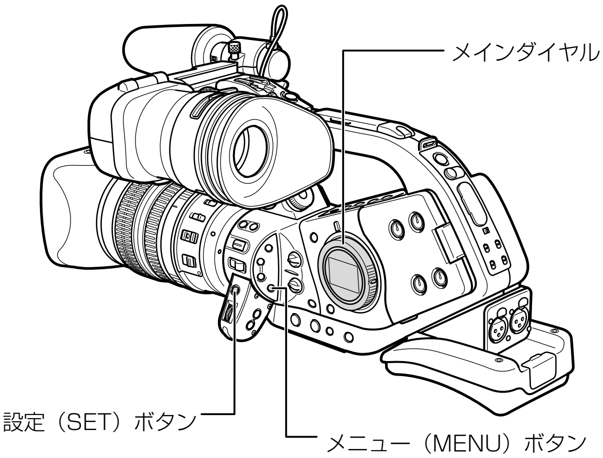
● 登録したホワイトバランスになる。

ホワイトバランスセットをするときは
❍ 照明の十分な場所で行ってください。また光源が変わったときはセットし直してください。
❍ レンズ内蔵のNDフィルターを入／切したときも、セットし直してください。

ゼブラパターン

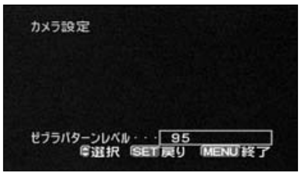
本機ではゼブラパターン表示の輝度レベルを7段階の%（70、75、80、85、90、95、100）から選択できます（EVF PEAKING使用中は表示されません。）。

● ゼブラパターンはファインダーのみに表示されます。



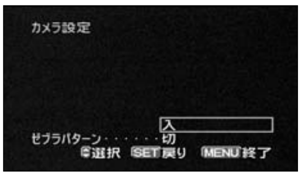
TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

ゼブラパターンレベルを選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ゼブラパターンレベル」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

ゼブラパターンを入／切する

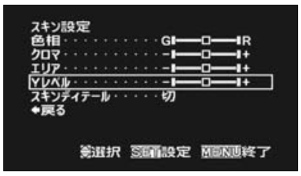


① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ゼブラパターン」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

スキンディテール

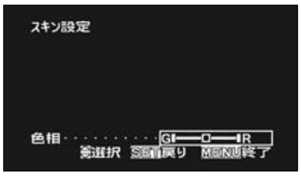
スキンディテールを使うと、色相、クロマ、エリア、Yレベルを調整して、肌色部分を検出し、柔らかく表現できます。
検出した肌色部分は検出パターンと通常画面が交互に表示されます。検出パターンは、ファインダーではゼブラパターンで表示され、接続したテレビ、パソコンでは白く表示されます。
ハイにすると、肌色部分がもっとも柔らかく表現されます。

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M



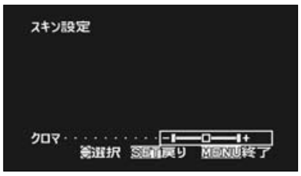
① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「スキン設定」➤ 設定項目を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して調整する項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ 必要な調整を行う
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
④「スキンディテール」で「ハイ」、「ミドル」または「ロー」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
　・「切」以外にすると画面に「 」が出ます。
⑤ MENUボタンを押す

色相



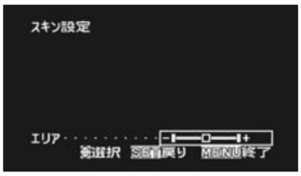
検出する肌色部分の色相を調整します。R側にすると赤みの強い肌色を検出し、G側にすると緑の強い肌色を検出します。

クロマ



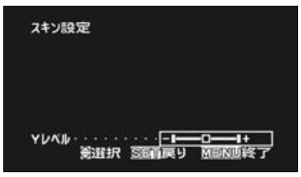
検出する肌色部分の彩度を調整します。＋側にすると鮮やかな色を検出し、－側にすると薄い色を検出します。

エリア



検出する肌色の色彩の幅を調整します。＋側にすると広い範囲の色彩を検出し、－側にすると狭い範囲の色彩を検出します。

Yレベル



検出する肌色の明るさを調整します。＋側にすると明るい肌色を検出し、－側にすると暗い肌色を検出します。

撮影編

カスタムプリセット

本機では、ガンマ＊、ニー、ブラック、マスターペデスタル＊、セットアップレベル＊、シャープネス、水平ディテール周波数、水平/垂直ディテールバランス、コアリング、NR1＊、NR2＊、カラーマトリクス＊、カラーゲイン、色相、Rゲイン、Gゲイン、Bゲイン、R-Gマトリクス、R-Bマトリクス、G-Rマトリクス、G-Bマトリクス、B-Rマトリクス、B-Gマトリクスの項目が設定できます（テープ撮影時は23項目、カード撮影時は17項目）。
設定した内容は、本機では1～6のカスタムプリセットに、カードでは1～20のカスタムプリセットに記憶できます。本機から設定をカードにコピーすることもできます。また、テープ撮影時に静止画と同時にカスタムプリセット設定をカードの記録することもでき、その設定を本機にコピーすることもできます。
＊テープ撮影時のみ

設定のしかた

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

❶ プリセットの名前を選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カスタムプリセット」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ カスタムプリセットサブメニューで を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
　・ カスタムプリセット設定メニューが出ます。
④ SELECTダイヤルを回して「SELECT CP」を選び、SETボタンを押す



⑤ SELECTダイヤルを回して設定するプリセットの名前を選び、SETボタンを押して設定する
　・ カスタムプリセットサブメニューに戻ります。

❷ カスタムプリセットを設定する



① SELECTダイヤルを回して「TUNE」を選び、SETボタンを押す
　・ カスタムプリセット設定項目選択画面が出ます。



② SELECTダイヤルを回して設定する項目を選び、SETボタンを押して設定する
　・ 設定する画面が出ますので、画面で効果を確認しながら、SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。



③ カスタムプリセットの設定が終わったら、SELECTダイヤルを回して「⬅ RTN」を選び、SETボタンを押す
　・ カスタムプリセット設定メニューに戻ります。

❸ カスタムプリセットの名前を変更する



① SELECTダイヤルを回して「RENAME」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムプリセットの先頭の文字が点滅します。



② SELECTダイヤルを回してアルファベット、数字、記号を選び、SETボタンを押す
・ 続いて右隣の桁の設定になります。最後の桁を設定して、SETボタンを押すと、カスタムプリセット設定メニューに戻ります。

❹ カスタムプリセット設定をプロテクトする



① SELECTダイヤルを回して「PROTECT」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムプリセット名の右にアイコンが出ます。
・ プロテクトを解除するときは、プロテクト設定しているカスタムプリセットの名前を選び、「PROTECT」を選び、SETボタンを押します。🔑が消えます。



❺ カスタムプリセット設定を初期値に戻す（リセット）



① SELECTダイヤルを回して「RESET」を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます。
② SELECTダイヤルを回して「はい」を選び、SETボタンを押す



撮影編

次のページへ

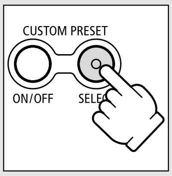
❻ カスタムプリセットサブメニューに戻る



① SELECTダイヤルを回して「↶」を選び、SETボタンを押す

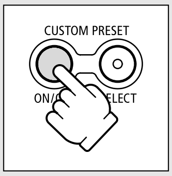
カスタムプリセットを使って撮影する

1 CUSTOM PRESET SELECTボタンを押す



- プリセット番号を選びます（カスタムキーを「CPマイナスキー」に設定すると便利です 97）。
- カスタムプリセットを使用しないときはCP OFFを選びます（約4秒後に表示は消えます）

2 CUSTOM PRESET ON/OFFボタンを押す



- 設定したプリセット画面になります。

カスタムプリセット設定をカードにコピーする

カスタムプリセット設定は20までカードに保存できます。21以上の設定を保存/コピーしようとすると上書きされます（上書きされるカスタムプリセット設定は、選択できます）。

TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

❶ コピーするプリセットを選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カスタムプリセット」➤「カメラ➔カード」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
・ カスタムプリセットカメラ➔カードコピー設定メニューが出ます。



③ カスタムプリセットカメラ➔カードコピー設定メニューで、SELECTダイヤルを回して「SELECT CP」を選び、SETボタンを押す



④ SELECTダイヤルを回してコピーするプリセットの名前を選び、SETボタンを押して設定する

❷ カード内のカスタムプリセットの名前を選ぶ



① カスタムプリセット→コピー設定メニューで、SELECTダイヤルを回して「SAVE POSITION」を選び、SETボタンを押す
② SELECTダイヤルを回して保存するカスタムプリセットの名前を選び、SETボタンを押して設定する
・ カードにカスタムプリセット設定がない場合は、新規カスタムプリセット（NEW_FILE）になります。

❸ カスタムプリセット設定をカードにコピーする



① カスタムプリセット→コピー設定メニューで、SELECTダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます
② SELECTダイヤルを回して「はい」を選び、SETボタンを押す

カスタムプリセット設定をカードから本機にコピーする

TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

❶ コピーするプリセットを選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カスタムプリセット」➤「→」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
・ カスタムプリセット→コピー設定メニューが出ます。



③ カスタムプリセット→コピー設定メニューで、SELECTダイヤルを回して「IMPORT」を選び、SETボタンを押す



④ SELECTダイヤルを回してコピーするプリセットを選び、SETボタンを押して設定する

撮影編

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

❷ 本機のカスタムプリセットを選ぶ



① カスタムプリセット コピー設定メニューでSELECTダイヤルを回して「SELECT POSITION」を選び、SETボタンを押す
② SELECTダイヤルを回して保存するカスタムプリセットを選び、SETボタンを押して設定する

❸ カスタムプリセット設定を本機にコピーする





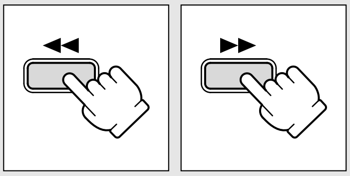
① カスタムプリセット コピー設定メニューでSELECTダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、SETボタンを押す
② SELECTダイヤルを回して「はい」を選び、SETボタンを押す

静止画と同時に記録したカスタムプリセットをコピーする

TAPE	**CARD**

EXT. CONT.	**VCR/PLAY**	A	Tv	Av	M			

1 コピーするプリセット設定を保存した静止画を画面に出す



● CARD＋、CARD－ボタンで静止画を選びます。

❶ →を選ぶ





① MENU記録ボタンを押す
②「静止画記録CP」➤「」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
・ カスタムプリセット コピー設定メニューが出ます。

❷ カスタムプリセットの保存先を選ぶ



① SELECTダイヤルを回して「SELECT POSITION」を選び、SETボタンを押す
② SELECTダイヤルを回して保存するカスタムプリセット番号を選び、SETボタンを押して設定する
・ 静止画の場合、固定になります

❸ カードのカスタムプリセット設定を本機にコピーする





① SELECTダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます
② SELECTダイヤルを回して「はい」を選び、SETボタンを押す

使用しているカスタムプリセット設定を静止画と一緒にカードに保存する

カメラモードで使用しているカスタムプリセット設定とその場面の静止画をカードに保存できます。場面に合わせてカスタムプリセット設定を再現する時に便利です。
静止画記録を「入+CP」にして、静止画と一緒にカスタムプリセットを保存するときは、通常のカスタムプリセットと異なり、カードの容量いっぱいまで静止画/カスタムプリセットを保存できます。

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M | | |



① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「静止画記録」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「入+CP」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

PHOTOボタンを押す

使用しているカスタムプリセット設定と静止画がカードに記録されます。

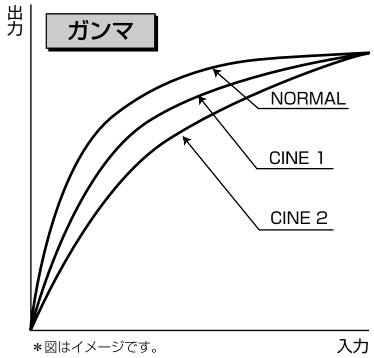
撮影編

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

ガンマ（カメラモードのみ）（GAM）

ガンマカーブを「NORMAL」、「CINE1」、「CINE2」から選択します。

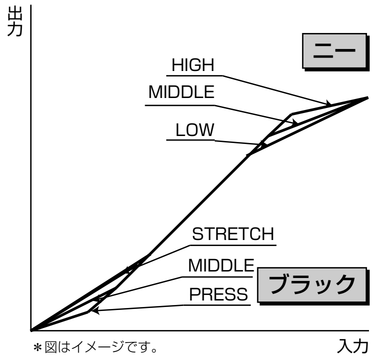


ニー（KNE）

ニーポイントを「AUTO」、「HIGH」、「MIDDLE」、「LOW」から選択します。

ブラック（BLK）

ブラックレベルを「STRETCH」、「MIDDLE」、「PRESS」から選択します。



マスターペデスタル（カメラモードのみ）（PED）

マスターペデスタルを−9〜+9の範囲で調整します。

セットアップレベル（カメラモードのみ）（SET）

セットアップレベルを−9〜+9の範囲で調整します。

- マスターペデスタルの設定に応じて、セットアップレベルが0を下回らないように可変範囲が変化します。このため、マスターペデスタルを−側に設定している場合には、セットアップレベルを調整しても変化しない範囲があらわれる場合があります。

シャープネス（SHP）

シャープネスを−9〜+9の範囲で調整します。

水平ディテール周波数（H DTL FREQ）（HDF）

水平ディテール周波数を「HIGH」、「MIDDLE」、「LOW」から選択します。

水平/垂直ディテールバランス（DTL HV BAL）（DHV）

水平/垂直のディテールバランスを−9〜+9の範囲で調整します。−9では水平だけ、+9では垂直だけになります。

コアリング（COR）

コアリングを−9〜+9の範囲で調整します。

NR1（カメラモードのみ）（NR1）

ノイズリダクションレベルの可変範囲を「OFF」、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。
- 「HIGH」に設定すると、動いている被写体では残像が出ることがあります。
- ゲインの設定によって、画面のざらつきが少ない場合は効果がわかりにくい場合があります。

NR2（カメラモードのみ）（NR2）

全体にスキンディテールをかけたようなソフトフォーカスの映像になります。「OFF」、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。
- NR1と異なり、残像は出ません。

カラーマトリクス（カメラモードのみ）（CMX）

カラーマトリクスを「NORMAL」、「CINE1」、「CINE2」から選択します。

カラーゲイン（CGN）

カラーゲインを－9～＋9の範囲で調整します。

色相（CPH）

色相を－9～＋9の範囲で調整します。

Rゲイン（RGN）

Rゲインを－9～＋9の範囲で調整します。

Gゲイン（GGN）

Gゲインを－9～＋9の範囲で調整します。

Bゲイン（BGN）

Bゲインを－9～＋9の範囲で調整します。

R-Gマトリクス（RGM）

R-Gマトリクスを－9～＋9の範囲で調整します。

R-Bマトリクス（RBM）

R-Bマトリクスを－9～＋9の範囲で調整します。

G-Rマトリクス（GRM）

G-Rマトリクスを－9～＋9の範囲で調整します。

G-Bマトリクス（GBM）

G-Bマトリクスを－9～＋9の範囲で調整します。

B-Rマトリクス（BRM）

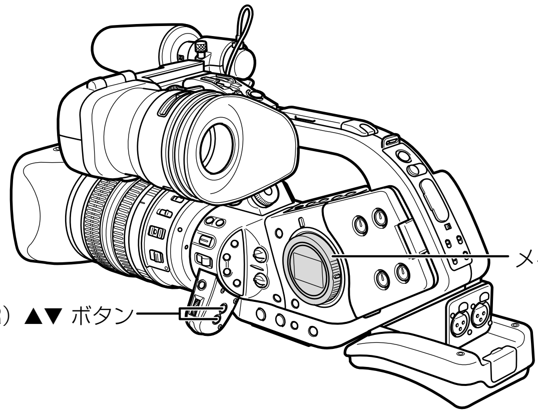
B-Rマトリクスを－9～＋9の範囲で調整します。

B-Gマトリクス（BGM）

B-Gマトリクスを－9～＋9の範囲で調整します。

クリアスキャン

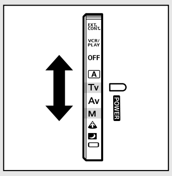
クリアスキャン機能では、パソコンの画面などを撮影するときに出る黒い帯を出ないようにして撮影できます。
● 設定できる周波数は60.1Hz～203.9Hzです。



操作のしかた

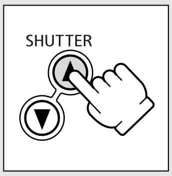
TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 **メインダイヤルをTvまたはMにする**



2 **SHUTTER▲ボタンを押して「CS」を表示させる**

・・・ 1/8000秒 ↔ 1/15000秒 ↔ CS（クリアスキャン）



3 **周波数を選ぶ**



① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「クリアスキャン」➤ 設定項目を順に選ぶ
・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ 画面を見ながら、黒い帯が出ないように周波数を選ぶ
④ MENUボタンを押す

カスタムキー

本機ではさまざまな機能の中から使用頻度の高い2つをカスタムキー（専用ボタン）にカメラモード、VCR/PLAYモード、カードカメラモード、カードVCR/PLAYモード独立して設定できます。
ご購入時は、下記のように設定されています。

	カメラモード	VCR/PLAYモード	カードカメラモード	カードVCR/PLAYモード
CUSTOM KEYS 1	タイムコード	オンスクリーン	ゼブラパターン	オンスクリーン
CUSTOM KEYS 2	インデックス記録	データコード	オンスクリーン	データコード

カスタムキーの設定は、カメラモード／カードカメラモードでは「表示設定」サブメニューの「ガイド」で「カスタムキー」を選ぶと、VCRモード／カードVCRモードでは「表示設定」サブメニューで「カスタムキー」で「入」を選ぶと画面に表示できます。

以下の機能がカスタムキーに設定可能です。
□の機能はカスタムキーを使った場合のみ操作可能です。

カメラモード
- タイムコード
- インデックス記録
- ゼブラパターン
- [VCRストップ]
- オンスクリーン
- [TC HOLD]
- レベルメーター
- EVFシロクロモード
- [CPマイナスキー＊]
- FB
- [EVF反転モード]

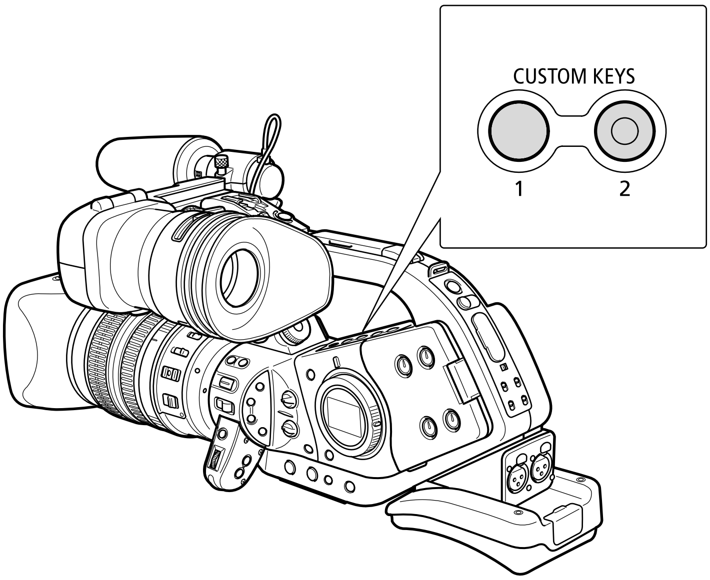
＊カスタムキー2のみ

VCR/PLAYモード
（カスタムキー1とカスタムキー2で設定できる項目は共通です）
- タイムコード
- オンスクリーン
- データコード
- レベルメーター
- [TC HOLD]
- EVFシロクロモード

カードカメラモード
- ゼブラパターン
- オンスクリーン
- EVFシロクロモード
- [CPマイナスキー＊]
- FB
- [EVF反転モード]

＊カスタムキー2のみ

カードVCR/PLAYモード
（カスタムキー1とカスタムキー2で設定できる項目は共通です）
- オンスクリーン
- データコード
- EVFシロクロモード



撮影編

次のページへ

カスタムキー…つづき

設定のしかた

TAPE | CARD

EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M



① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「カスタムキー 1」/「カスタムキー 2」➤ 設定項目を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・ カスタムキーを使わないときは「(未設定)」を選びます。

操作のしかた

ここでは、カスタムキーに設定した機能で使用するボタンを「　」に入れて<「インデックス」ボタン>のように表記しています。

タイムコード

カメラモード　VCR/PLAYモード

「タイムコード」ボタンを押すと、タイムコードの設定メニュー画面になります。



インデックス記録

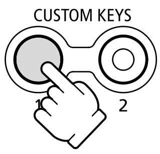
カメラモード

撮影場面の任意の位置にインデックス信号を記録できます。再生時に頭出しできますので、編集などに便利です。

- インデックス信号をあとから記録することはできません。また、消去できません。

撮影一時停止中

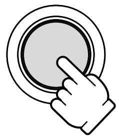




❶「インデックス」ボタンを押す

- インデックス表示が出る。



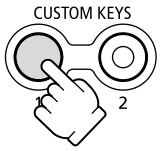


❷ スタート／ストップボタンを押す

- 撮影が始まり、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

撮影中





❶「インデックス」ボタンを押す

- インデックス表示が出て、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

ゼブラパターン

カメラモード　カードカメラ

ゼブラパターン表示の入／切を行います。
「ゼブラパターン」ボタンを押すたびに切り換わります。

VCRストップ

撮影一時停止中にVCR部分を停止できます。「システム設定」➤「パワーセーブ」を「切」に設定していると、テープ、ヘッドを気にすることなく、撮影準備を行えます。
もう一度「VCRストップ」ボタンを押すと撮影一時停止に戻ります。
VCRストップ状態でスタート／ストップボタンを押しても、撮影は始まります。

- カスタムキーだけで操作できます。

オンスクリーン

ファインダーの情報を本機と接続したテレビにも表示できます。
「オンスクリーン」ボタンを押すたびに切り換わります。

TC HOLD（タイムコードホールド）

「TC HOLD」ボタンを押すと、本機に表示されるタイムコード値を保持できます。保持中でもタイムコードは歩進します。再度「TC HOLD」ボタンを押すと、歩進していたタイムコードが表示されます。

- タイムコード保持中は画面に「H」が表示されます。また、液晶表示パネルにHOLDが表示されます。
- TC出力端子、SDI端子、LANC端子、HDV/DV端子に出力されるタイムコードはホールドされません。D端子、コンポジット/S-映像端子の映像信号に重畳されるタイムコードはホールドされます。
- 電源の入/切、メインダイヤルのカメラモード/VCRの切り換え、テープ/カードの切り換えを行うことで、タイムコードのホールドは解除されます。
- カスタムキーだけで操作できます。

レベルメーター

レベルメーター表示の「入／切」を行います。
「レベルメーター」ボタンを押すたびに切り換ります。

EVFシロクロモード

ファインダーの白黒表示の入/切を行います（「入」にしても、表示文字などはカラーで表示されます）。
「EVFシロクロモード」ボタンを押すたびに切り換ります。

フランジバック調整

「FB」ボタンを押すと、フランジバック調整のメニュー画面になります。



CPマイナスキー

CUSTOM PRESET SELECTボタンでは、押すたびにカスタムプリセット番号をプラス方向に選びますが、「CPマイナスキー」ボタンでは、押すたびにマイナス方向に選びます。

- カスタムキーだけで操作できます。

EVF反転モード

「EVF反転モード」ボタンを押すと、画面に表示される映像を上下、左右反転します。撮影される映像、各端子から出力される映像は変わりません。

- XLレンズ（レンズの警告が出ないレンズ）装着時、メニュー表示中は、「EVF反転モード」ボタンは機能しません。
- カスタムキーだけで操作できます。

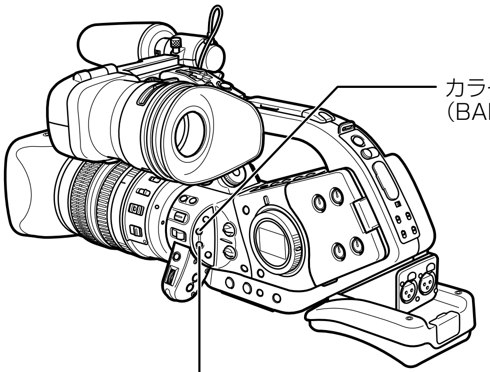
データコード

データコード表示の入／切を行います。
「データコード」ボタンを押すたびに切り換わります。

カラーバー／テストトーンを記録する

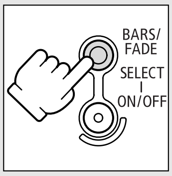
カラーバーを記録する

本機では、SMPTEカラーバーを出力、録画できます。



TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M

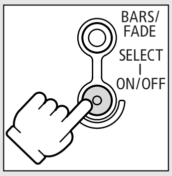
1 **BARS/FADE SELECTボタンを押す**

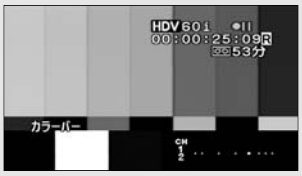




- 押すたびに順番にカラーバー、白フェード、黒フェード、表示なしが表示されます。
- 「カラーバー」を選択します。表示が点滅します。

2 **BARS/FADE ON/OFFボタンを押す**





- 画面にカラーバーが表示され、「カラーバー」表示が点灯します。

テストトーンを記録する

カラーバーと一緒にテストトーン（1kHz、−12dBまたは−20dB）を記録できます。
本機を再生するときに、接続した機器で入力レベルを調整できる場合は、事前に調整できます。
機器に合わせて、レベルを選びます。

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M



① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「テストトーン」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・ 選択したレベルのテストトーンが出力されます。
　・ テストトーンで「切」を選ぶと、マイク、ラインなどの入力になります。

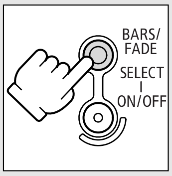
フェーダーを使う（白フェーダー/黒フェーダー）

白、黒の2種類のフェーダーが選択できます。

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M

撮影中、撮影一時停止中

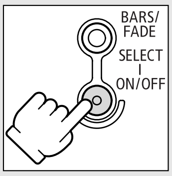
1 BARS/FADE SELECTボタンを押す





- 押すたびに順番にカラーバー、白フェード、黒フェード、表示なしが表示されます。
- 「白フェード」または「黒フェード」を選択します。

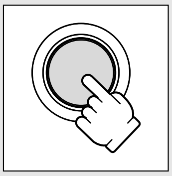
2 BARS/FADE ON/OFFボタンを押す





- 選んだ表示が点灯します。

3 スタート／ストップボタンを押す



撮影一時停止中

フェードインします。

撮影中

フェードアウトします。

- 表示が点滅に戻ります。再度フェードを使うときは、BARS/FADE ON/OFFボタンを押して、表示を点灯させます。

撮影編

デジタルビデオ（DV）コントロール機能

本機のHDV／DV端子とDV端子を持つほかのビデオ機器などを接続することで、本機のスタート／ストップボタンで接続した機器の録画、一時停止を操作できます。
また、Windows XP SP2パソコンをお使いの場合、別売のソフトウェア「CONSOLE」を使うことで、パソコンのハードディスクに本機からの映像/音声出力を記録できます。詳しくは「CONSOLE」のご案内をご覧ください。

TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

パソコンのIEEE1394端子は、4ピンと6ピンがあります。
端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-150F（4ピン-4ピン）または、CV-250F（4ピン-6ピン）などを使います。



① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「DVコントロール」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「入」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

① 本機が録画一時停止中
スタート／ストップボタンを押す
本機：録画
接続した機器：録画

② 本機が録画中
スタート／ストップボタンを押す
本機：録画一時停止
接続した機器：録画一時停止

③ カセットが入っていないなど本機が録画できない場合
スタート／ストップボタンを押す
接続した機器：本機のスタート／ストップボタンを押すたびに、録画と録画一時停止を繰り返す

④ 接続した機器が録画中に本機にカセットを入れた場合
スタート／ストップボタンを押す
本機：録画一時停止
接続した機器：録画
➡
本機：録画
接続した機器：録画を継続
本機と接続した機器が録画中にスタート／ストップボタンを押すとともに録画一停止になる（②と同じ）

- 本機と接続した機器が録画中に、本機のスタート／ストップボタン以外で本機の録画が終了した（テープが終わりになるなど）場合は、接続した機器はそのまま録画を続けます。
- 本機の録画が終了したときに、接続した機種によっては、一瞬音声が途切れることがあります。

接続した機器が録画中	DV ●
接続した機器が録画一時停止または停止中	DV ■
接続した機器が録画、録画一時停止、停止以外の場合	DV - - -
DVコントロール機能が「入」でHDV/DV端子にDVコントロール可能な機器が接続されていない場合	DV
ハードディスクに記録中（XXX分は記録可能時間）	DV ●XXX分

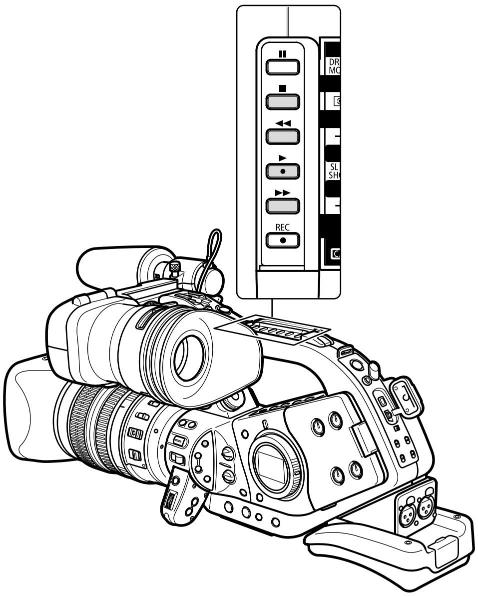


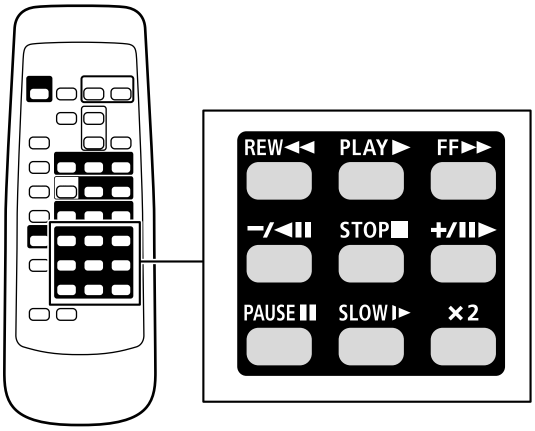
DVコントロール機能では
- DVコントロールの設定は電源を切っても記憶しています（内蔵型リチウム2次電池で記憶）。接続した機器のテープを上書きしてしまうことがありますので、DVコントロールを使用したあとは、設定を確認してください。
- XLH 1を2台接続してDVコントロールするときは、「接続した機器」にあたるXLH 1はかならずDVコントロールを「切」にしてください。
- DVコントロールする場合、接続可能なビデオ機器は本機を含め3台までです。
- 接続する機器によっては正常に動作しないことがあります。

テープの再生

再生画面がおかしいときは

ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。





TAPE	CARD

EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

再生するテープに合わせて再生規格を選択します。



① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「再生規格」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

特殊再生

- 早送り再生、巻き戻し再生、静止画再生以外はリモコンのみの操作になります。

HDV

早送り再生 ▶▶	再生/早送り中にFF▶▶ボタンを押しつづけると、約8倍早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生/巻戻し中にREW◀◀ボタンを押しつづけると、約8倍巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中にPAUSE IIボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの−/◀IIボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り II▶	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶ボタンを押すと、押すたびに1コマずつ送られます。押しつづけると連続コマ送りになります。
スロー再生 I▶	再生中にリモコンのSLOW I▶を押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。PLAY▶ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

再生編

次のページへ

テープの再生…つづき

DV

早送り再生 ▶▶	再生／早送り中に▶▶(早送り)ボタンを押し続けると、約9.5倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生／巻戻し中に◀◀(巻戻し)ボタンを押し続けると、約9.5倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中にII(一時停止)ボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの－/◀IIボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り ◀II　II▶	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶または－/◀IIボタンを押すと、押すたびに１コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生 ◀I　I▶	再生／逆方向再生中にリモコンのスローI▶ボタンを押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
2倍速再生 ◀×2　2×▶	再生／逆方向再生中にリモコンの×2ボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

- ❍ 特殊再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。
- ❍ 再生機能によっては、画面が多少乱れることがあります。
- ❍ 再生一時停止が約3分以上続くと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度再生ボタンを押します。
- ❍ HDV規格のテープでは、早送り再生/巻戻し再生、逆方向再生では画面が乱れます。
- ❍ HDV記録、DV記録が切り換るところでは、画面が乱れます。

モニターTVとの接続

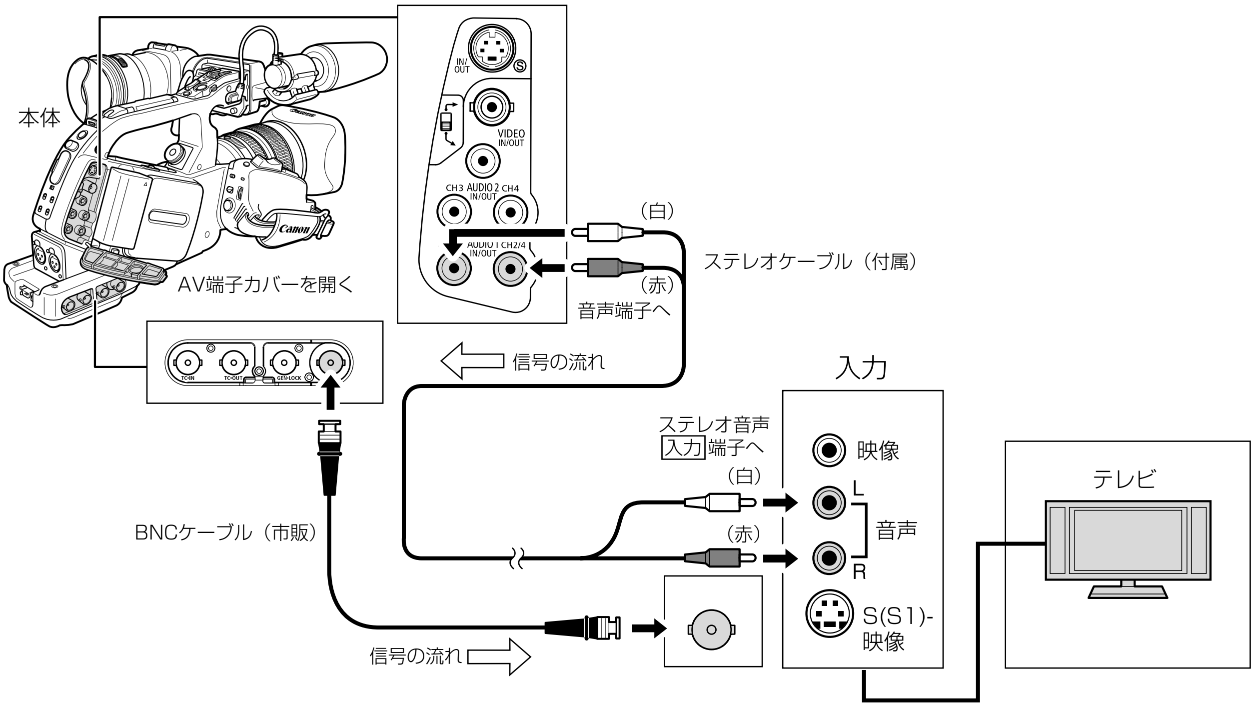
記録規格と各端子の出力は以下になります：

	HD/SD SDI 端子	コンポーネント端子	HDV/DV端子	(S-) VIDEO端子
HD規格	1920×1080	D3（1440×1080）	MPEG TS	
SD規格4：3	640×480	D1 (SD) ノーマル	DV (SD)	
SD規格16：9	640×480	D1 (SD)	DV (SD)	

ハイビジョンモニターTVとの接続

1 HD/SD SDI 端子で接続する

● HD/SD SDI 端子からの出力信号にオーディオ信号は重畳されていません。



● HD/SD SDI出力を「入」にする



① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「SDI出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「入」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

再生編

次のページへ

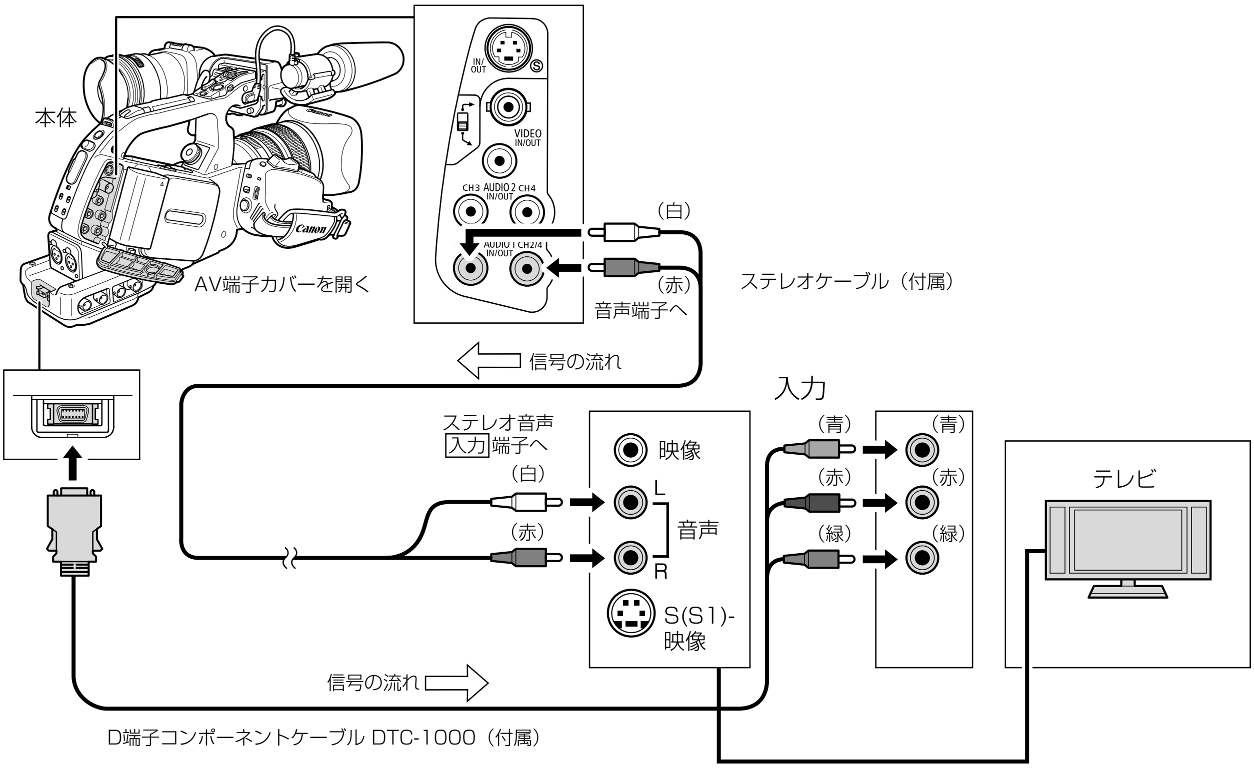
モニターTVとの接続…つづき

● HD/SD SDI出力を選択する（HDまたはSD）



① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「SDI出力映像」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

2 コンポーネント端子で接続する

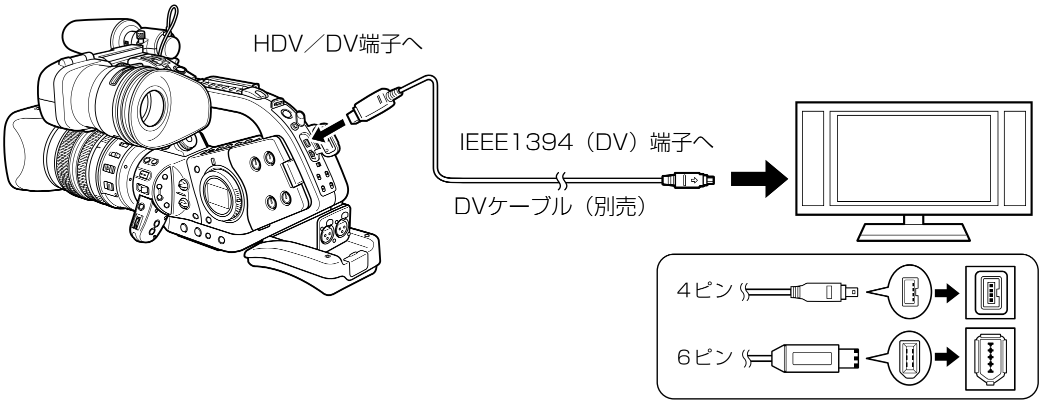


● 接続するモニターTVに合わせて、コンポーネント出力を切り換える



① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「コンポーネント出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

3 HDV/DV端子で接続する



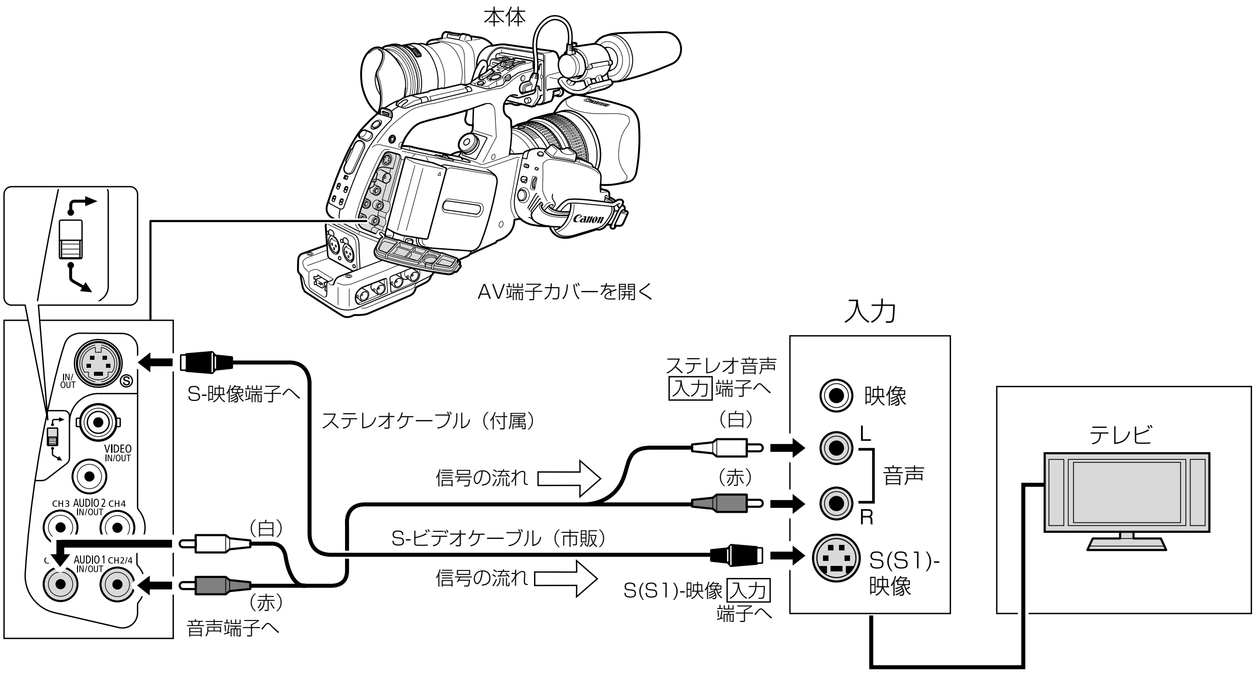
- モニターTVにDVケーブルで接続する場合は、テレビに本機を認識させるため、テレビ側の設定が必要な場合があります。
- 必要に応じてDV変換機能を入/切して、HDV規格で撮影したテープをDV規格に変換するかどうかを選択します。



① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「DV変換」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

4 S-VIDEO端子/VIDEO端子で接続する

- VIDEO端子を使用する場合は、市販のRCAまたはBNCケーブルを使用してください。



VIDEO IN/OUTのRCA端子を使うときは、選択スイッチをRCA側にしてください。

VIDEO IN/OUTのBNC端子を使うときは、選択スイッチをBNC側にしてください。

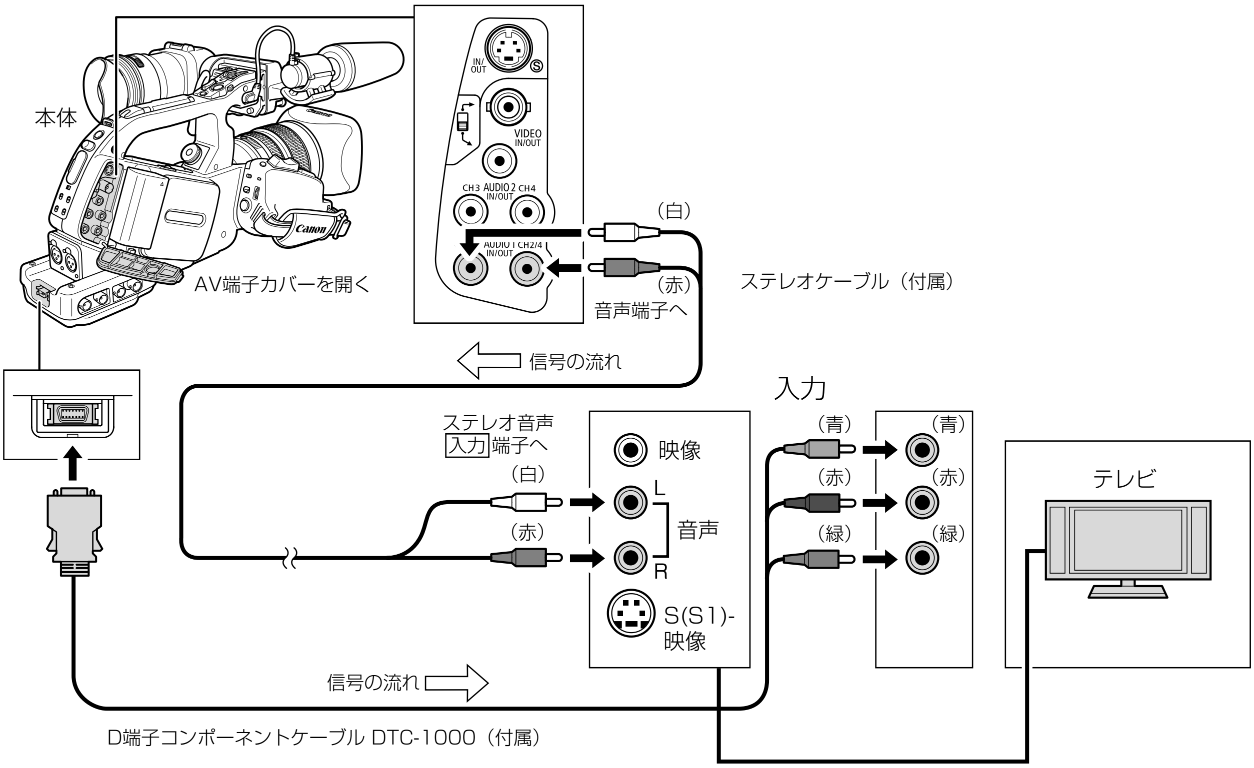
次のページへ

モニターTVとの接続…つづき

ワイド/4：3モニターTV（ハイビジョン非対応モニター）との接続

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

1 コンポーネント端子で接続する

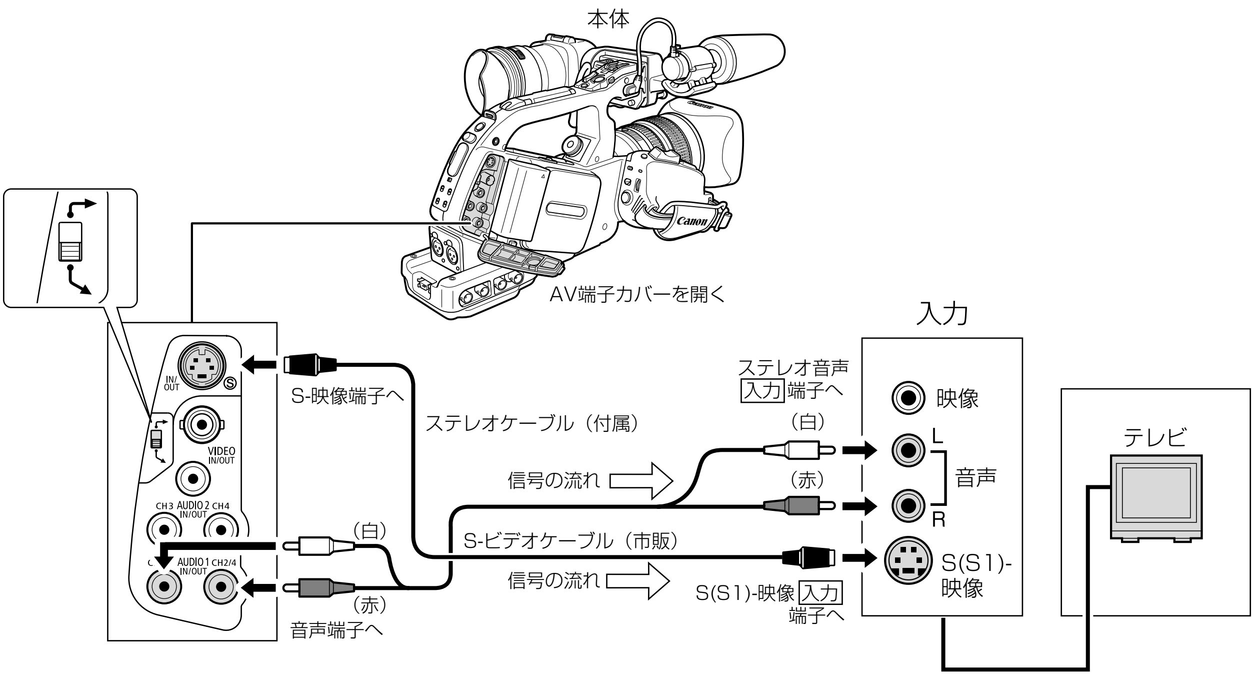


● 接続するモニターTVに合わせて、コンポーネント出力を切り換えます。



① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「コンポーネント出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

2 S-VIDEO端子/VIDEO端子で接続する



VIDEO IN/OUTのRCA端子を使うときは、選択スイッチをRCA側にしてください。

VIDEO IN/OUTのBNC端子を使うときは、選択スイッチをBNC側にしてください。

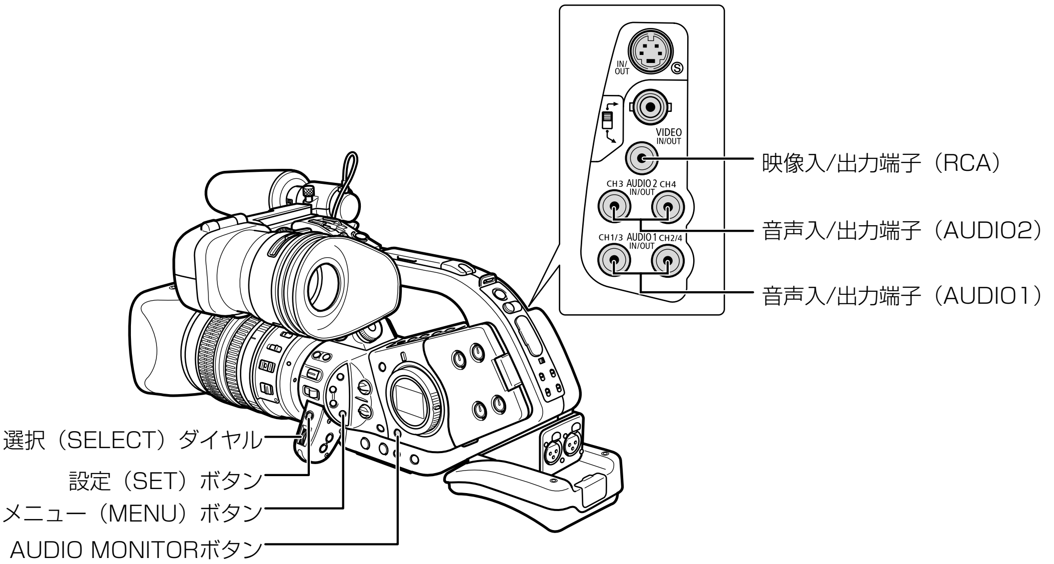
再生編



- ❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。
- ❍ **S1-映像入力端子付きのテレビの場合**
  本機のワイドテレビ用「16：9」機能（🕮 108）で撮影した映像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。
- ❍ **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
  本機のワイドテレビ用「16：9」機能（🕮 108）で撮影した映像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

音声出力を選択する

記録チャンネル	出力されるRCA端子	AUDIO MONITORスイッチ操作（各端子に出力するチャンネルの切り換え）	メニュー「オーディオ設定」➤「音声選択」(CH1、2端子とヘッドホンに出力される音声の選択)	AUDIO MONITORスイッチでチャンネル1+3／チャンネル2+4選択時、メニュー「オーディオ設定」➤「ミックス選択」(CH1、2端子とヘッドホン、レベルメーターに出力される音声の選択)
2チャンネル	CH1、CH2端子	–	CH1/2、CH1/1、CH2/2切り換え可能	–
4チャンネル	CH1、CH2端子	チャンネル1/2、チャンネル3/4、チャンネル1+3/チャンネル2+4切り換え可能	CH1/2、CH1/1、CH2/2切り換え可能	1：1、バリアブル（バリアブル選択時はリモコンでバランスを選択）
	CH3、CH4端子	チャンネル3、チャンネル4またはミュート（チャンネル1/2、チャンネル1+3/CH2+4選択時）	–	–



各RCA端子に出力されるチャンネルを選ぶ

TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

AUDIO MONITORボタンを押すたびに切り換ります。

→ チャンネル1/2 → チャンネル3/4 → チャンネル1+3/2+4 ─┐

音声選択を選ぶ

TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

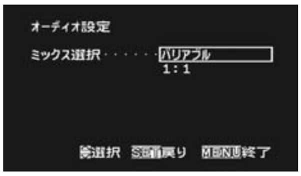


① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「音声選択」➤ 設定内容を順に選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

③ MENUボタンを押す

ミックス選択を選ぶ

TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M



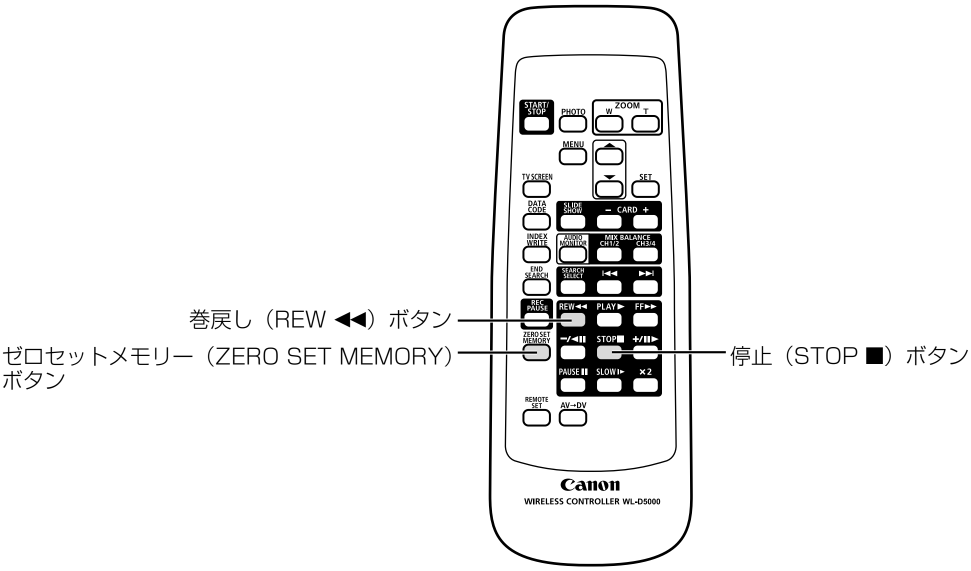
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「ミックス選択」➤ 設定内容を順に選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

③ MENUボタンを押す
- チャンネル1/2とチャンネル3/4のバランスは、リモコンのMIX BALANCE CH1/2、CH3/4ボタンで行います。

再生編

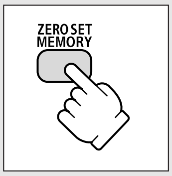
ゼロセットメモリー

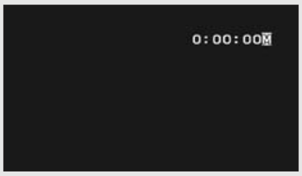
ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。
リモコンで操作します。



TAPE | CARD　　EXT. CONT. | **VCR/PLAY** | A | Tv | Av | M

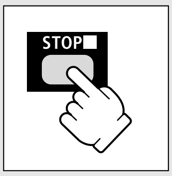
1 再生中/撮影中
ZERO SET MEMORYボタンを押す



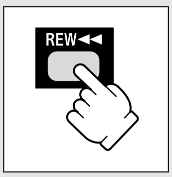


- ZERO SET MEMORYボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」になり、「M」の表示が出ます。
- ZERO SET MEMORYボタンをもう一度押すと、設定が解除されます。

2 再生が終わったら、STOP ■ ボタンを押す



3 REW ◀◀ ボタンを押す

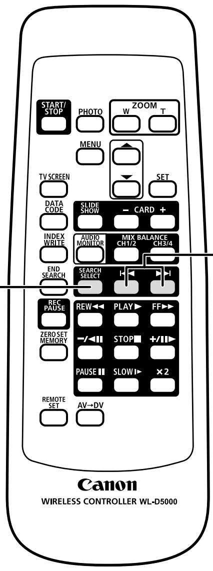


- カウンター表示に「－」がついているときは、早送りボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止します。カウンター表示がタイムコードに戻り、「M」が消えます。

❍ タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、ゼロセットメモリーが正しく動作しないことがあります。

インデックスサーチ

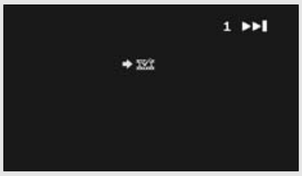
インデックス信号を記録（📖 98）した場面をサーチします。リモコンで操作します。



TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

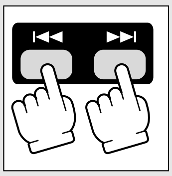
1 SEARCH SELECTボタンを押す





- 「インデックスサーチ」を選びます。
- 「➡ INDEX 」の表示が出ます。

2 ⏮／⏭ボタンを押す

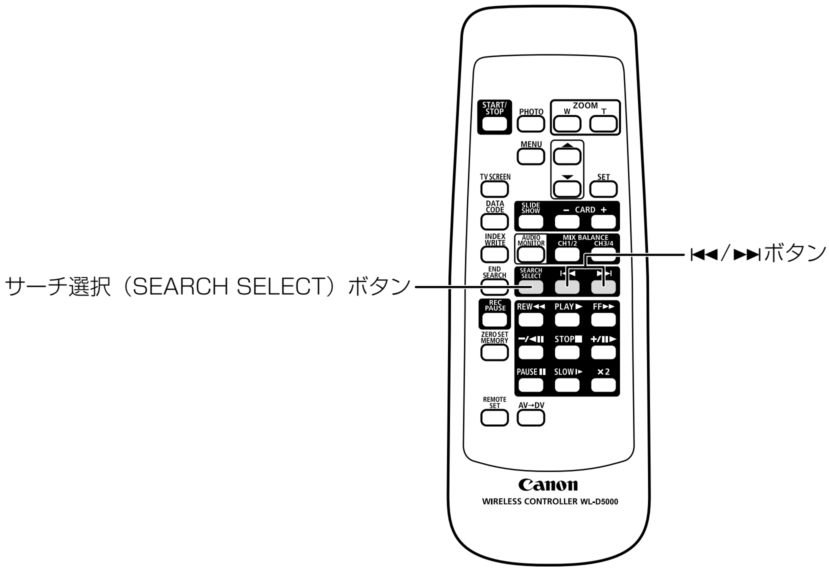


- 押した数だけ前／後ろのインデックス（最多10まで）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、停止■ボタンを押します。

❍ 再生を始める位置が多少ずれることがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、インデックスサーチが正しく動作しないことがあります。

日付サーチ

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（ 115）を使って撮影時の日付の変わり目をサーチします。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。リモコンで操作します。



操作のしかた

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

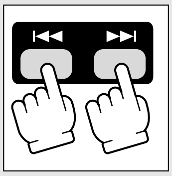
1 SEARCH SELECTボタンを押す





- 「日付サーチ」を選びます。
- 「 」の表示が出ます。

2 ⏮/⏭ボタンを押す

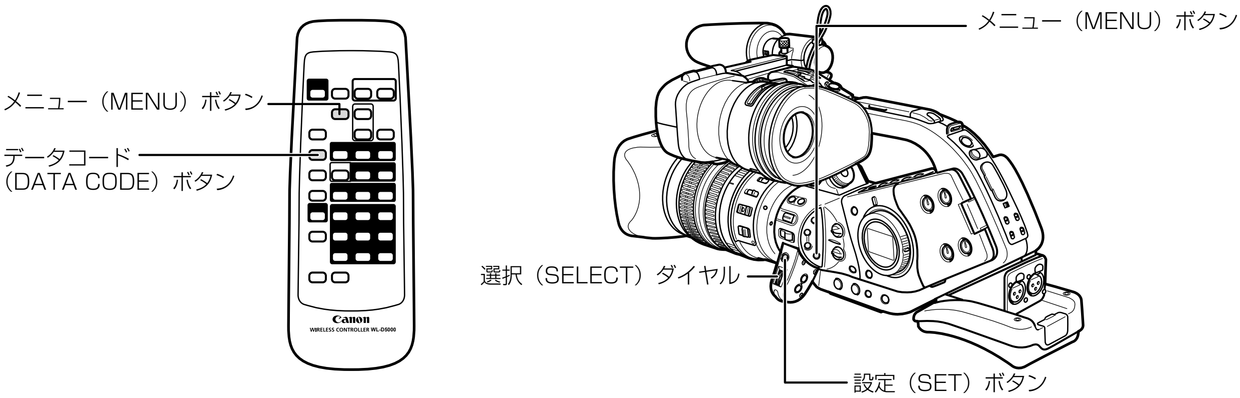


- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目（最多10まで）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、停止■ボタンを押します。

❍ 日付サーチを行うときは、1日／1エリア当たり1分以上の記録部分が必要です。
❍ データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、日付サーチが正しく動作しないことがあります。

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

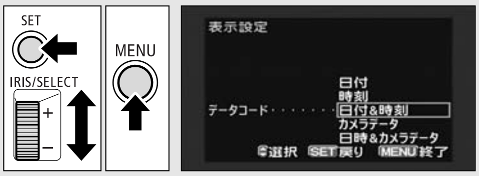
本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピード、絞り値（F値）とゲイン）が自動的に記録されます。
撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。



データコードの表示内容を選ぶ

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

1 表示内容を選ぶ



① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「データコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
●「表示設定」サブメニューに戻ります。
③ MENUボタンを押す

データコードを表示する

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

2 データコードを表示する



● テープを再生し、DATA CODEボタンを押します。

データコードは、一度電源を切ると、表示されなくなります。

再生編

リモコンコードを設定する

キヤノン製のほかのビデオカメラもお使いになっているときは、2台のリモコンコードを別にしてお使いください。ご購入時には、リモコンコードは「1」に設定されています。誤動作を防ぐためにはリモコンコードを「2」に変更してください。「切」を選ぶと、リモコンの信号を受け付けません。
本機のリモコンコードの設定（受信コード）を変更したら、必ずリモコンも設定（送信コード）を変更してください。

TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

本機の受信コードを変更する



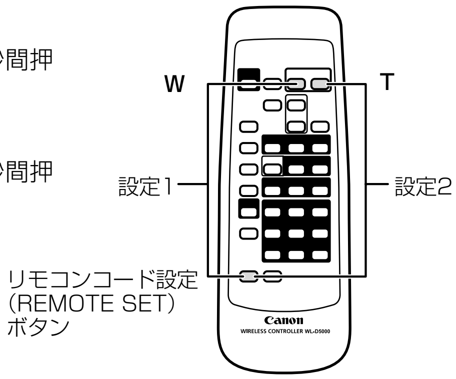
① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「リモコンコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・ 選んだ設定内容の表示が出ます。「1」と「2」は、約2秒後に消えます。

リモコンの送信コードを変更する

本機とリモコンで設定されているリモコンコードが異なる場合には、リモコンは使用できません。リモコンコード設定（REMOTE SET）ボタン以外のボタンを押すと、画面に本機で設定されているリモコンコードが4秒間、点滅して表示され、確認できます。

設定1にする
リモコンのREMOTE SETボタンを押しながら、Wボタンを約2秒間押します。

設定2にする
リモコンのREMOTE SETボタンを押しながら、T ボタンを約2秒間押します。



❍ リモコンコードの設定を確認しても、リモコンで操作できない場合には、リモコンの電池を交換してください。
❍ 電池を交換すると、リモコンコードは「1」に戻ります。必要に応じて、再度設定し直してください。

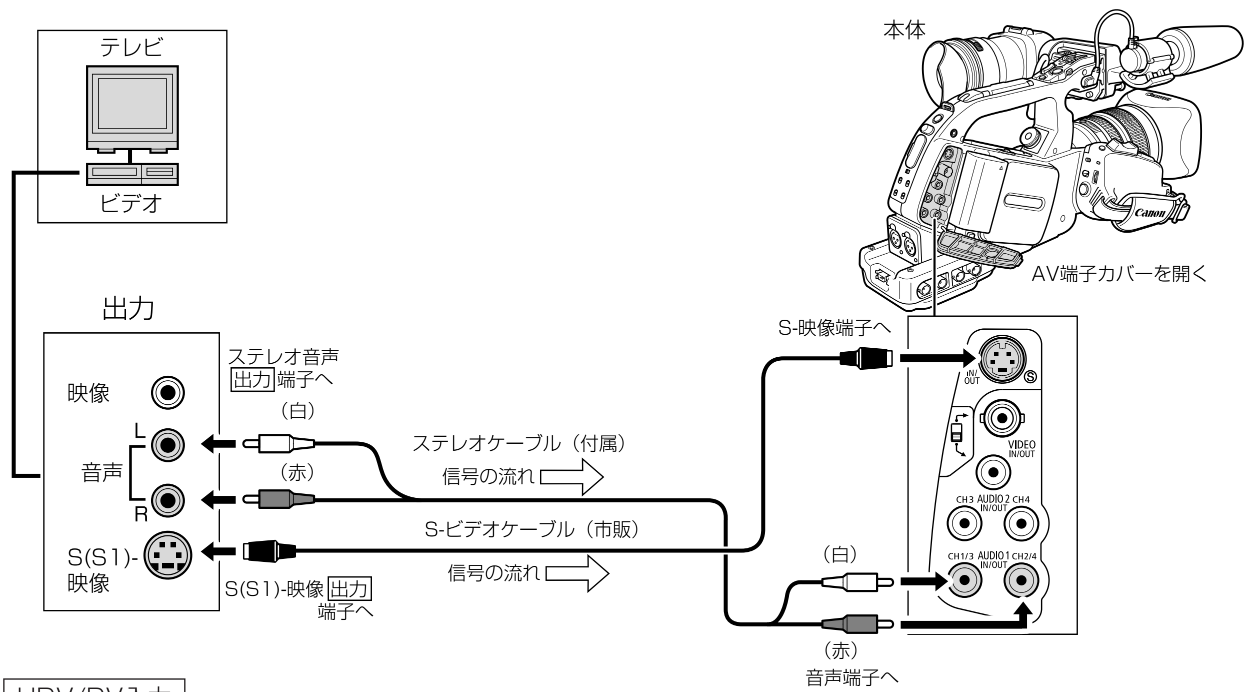
入力信号を記録する（アナログ入力、HDV/DV入力）

本機はアナログ入力（SD規格）、HDV/DV端子入力（SDまたはHD規格）を記録できます。

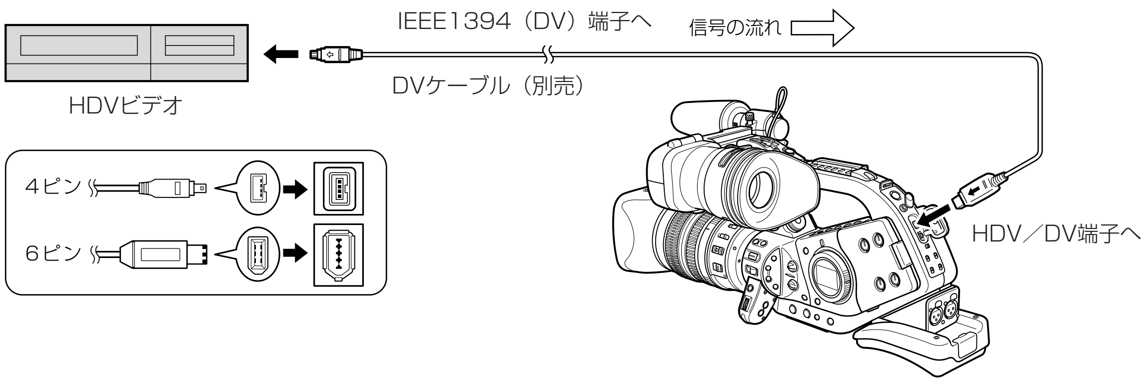
TAPE	CARD

EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

アナログ入力



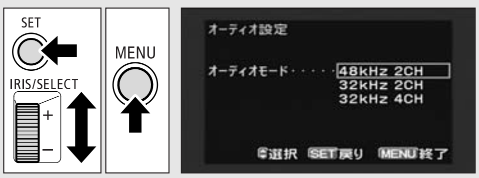
HDV/DV入力



アナログ入力

- カメラモードと同様に録音するチャンネルが選択できます。

1 オーディオモードを選ぶ

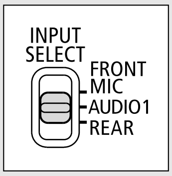


① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「オーディオモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

次のページへ

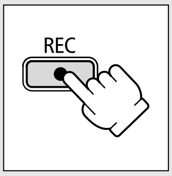
入力信号を記録する（アナログ入力、HDV/DV入力）…つづき

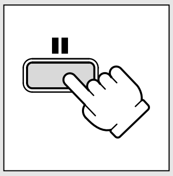
2 録音する入力を選ぶ



2チャンネル記録：AUDIO1のINPUT SELECTスイッチで選択します。
ライン入力の場合はAUDIO1またはREARにします。REARを選んだときはLINE/MIC切り換えスイッチをLINEにします。

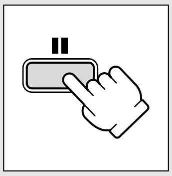
3 ●ボタンとⅡボタン（リモコンではREC PAUSEボタン）を押す





- 録画一時停止になります。
- 録画一時停止中/録画中は、画面で映像を確認できます。
- ●ボタンだけを押すと、すぐに録画を開始します

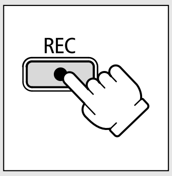
4 Ⅱボタン（リモコンではPAUSE Ⅱボタンを押す）

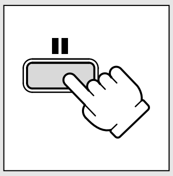


- 録画が始まる。

HDV/DV入力

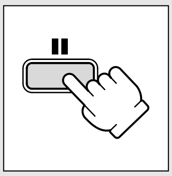
1 ●ボタンとⅡボタン（リモコンではREC PAUSEボタン）を押す





- 録画一時停止になります。
- 録画一時停止中/録画中は、画面で映像を確認できます。
- ●ボタンだけを押すと、すぐに録画を開始します。

2 Ⅱボタン（リモコンではPAUSE Ⅱボタンを押す）



- 録画が始まる。

メニューの「再生規格」がオート以外に設定されていると、録画できません（□ 149）。

アナログ入力ーデジタル変換

アナログ入力信号をSD規格のデジタル信号に変換して、HDV/DV端子から出力できます。

設定のしかた

TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			



① MENUボタンを押す
② 「信号設定」➤「AV➡DV」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・「入」を選ぶと、「AV➡DV」の表示が出ます。

❍ 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
例：著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等
❍ 通常は「AV➡DV」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のHDV/DV端子からデジタル信号を入力できません。
❍ IEEE1394端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

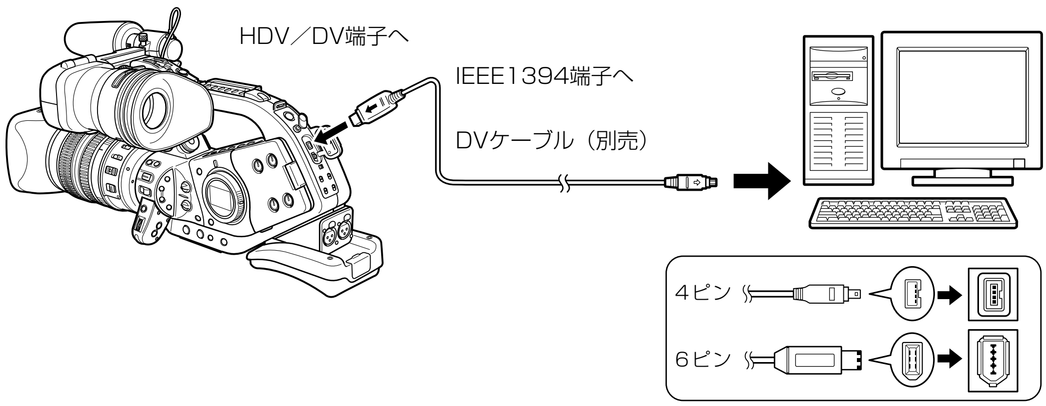
❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
❍ リモコンでも操作できます。リモコンのAV→DVボタンを押します。ボタンを押すたびに、「入」と「切」を切り換えられます。

パソコンとの接続（DVケーブル IEEE1394接続）

本機とパソコンを接続するときは、パソコンがIEEE1394（DV）端子を搭載していて、ビデオ信号を取り込める編集ソフトウェアがインストールされていることが必要です。パソコンの使用環境については、ソフトウェアの説明書をご覧ください。
また、Windows XP SP2パソコンをお使いの場合、別売のソフトウェア「CONSOLE」を使うことで、パソコンのハードディスクにHDV規格で本機からの映像/音声出力を記録できます。詳しくは「CONSOLE」のご案内をご覧ください。

操作のしかた

パソコンのIEEE1394（DV）端子は、4ピンと6ピンがあります。端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-150F（4ピン－4ピン）または、CV-250F（4ピン－6ピン）を使います。





❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
❍ 本機とパソコンを接続したときにパソコン上で操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
❍ HDV/DV端子のHDVランプの点灯/消灯が示す規格の信号を扱えるパソコンと接続してください。扱えない信号を入出力すると、パソコンが本機を正しく認識しなかったり、正しく動作しないことがあります。



❍ パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
❍ VCR/PLAYメニューの「再生規格」、「DV変換」は接続したパソコンの環境に合わせて設定してください。
❍ テープの画像をパソコンに取り込むとき

HDV規格で取り込む場合
・VCR/PLAYメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「切」にしてください。

DV規格で取り込む場合
・VCR/PLAYメニューの「再生規格」を「DV」にしてください。

HDV規格で記録したテープをDV規格で取り込む場合
・VCR/PLAYメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「入」にしてください。

❍ パソコンから本機にビデオ信号を取り込むとき

HDV規格で取り込む場合
・VCR-/PLAYメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「切」にしてください。

DV規格で取り込む場合
・VCR-/PLAYメニューの「再生規格」を「DV」にしてください。

記録時の画質／画像サイズを選ぶ

カードに記録する画質、画像サイズを選びます。

画質	スーパーファイン、ファイン、ノーマル
画像サイズ	LW 1920×1080ピクセル、SW 848×480ピクセル、L 1440×1080ピクセル、S 640×480ピクセル

本機では静止画をJPEG（Joint Photographic Experts Group）圧縮して、記録します。
画質や画像サイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のカードに記録できる静止画の枚数は異なります。記録できる枚数の目安は、次のとおりです。カスタムプリセット設定を保存したカードの場合は、下記の記録できる枚数よりも少なくなります。

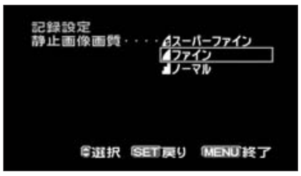
記録できる枚数

画像サイズ	画質	記録可能枚数			1枚あたりのデータ量
		16MBカード	128MBカード	512MBカード	
LW 1920×1080	スーパーファイン	約9枚	約90枚	約365枚	約1390kB
	ファイン	約14枚	約135枚	約550枚	約930kB
	ノーマル	約25枚	約265枚	約1080枚	約480kB
SW 848×480	スーパーファイン	約45枚	約455枚	約1845枚	約280kB
	ファイン	約70枚	約645枚	約2615枚	約200kB
	ノーマル	約140枚	約1295枚	約5230枚	約100kB
L 1440×1080	スーパーファイン	約10枚	約120枚	約485枚	約1050kB
	ファイン	約15枚	約180枚	約725枚	約710kB
	ノーマル	約35枚	約350枚	約1425枚	約360kB
S 640×480	スーパーファイン	約65枚	約595枚	約2410枚	約210kB
	ファイン	約95枚	約865枚	約3485枚	約150kB
	ノーマル	約170枚	約1555枚	約6280枚	約80kB

画質を選ぶ

TAPE | CARD

EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M



① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「静止画像画質」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

画像サイズを選ぶ

TAPE | CARD

EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M



① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「静止画像サイズ」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

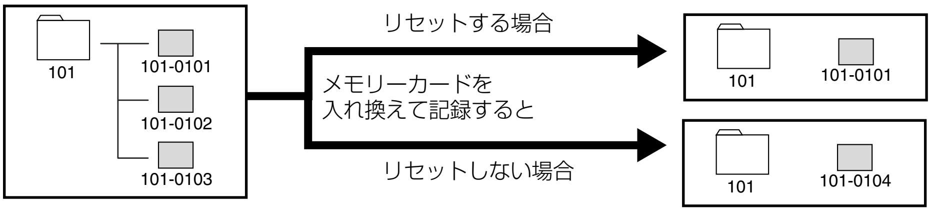
画像番号をリセットする

本機では、カードを換えたとき画像番号を連続して付けたり、番号をリセットしたりできます。

番号をオートリセットする	別のカードに入れ換えると、画像の番号が、101-0101から始まります。すでに画像が記録されているカードを入れたときは、その続きの画像番号になります。
番号をリセットしない （通し番号）	別のカードに入れ換えても、最後に記録した画像の続き番号が、次の画像に付けられます（カード内の画像番号のほうが大きい場合は、その続き番号が付けられます）。 画像番号を「通し番号」に設定して記録すると、記録した画像の画像番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するときなどに便利です。 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

カードに記録した画像は、自動的に画像番号が付けられ、ひとつのフォルダーに100枚ずつ保存されます（画像番号0101～9900）。

例えば、3枚記録したメモリーカード



※テープ時
のみ

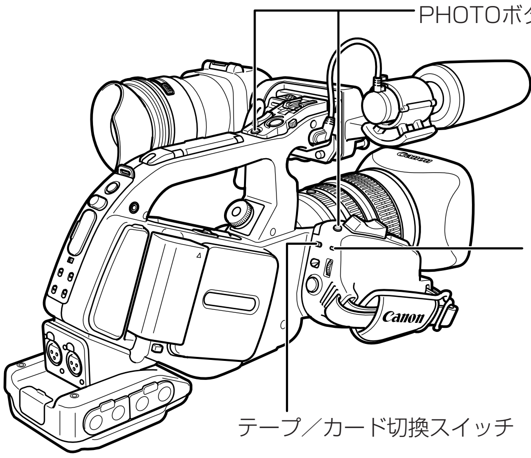




① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「画像番号」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

カードに静止画を記録する

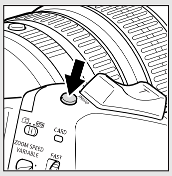
ビデオカメラで撮影している映像のほかに、テープに記録されている映像を静止画にしてカードに記録できます。
また、動画をテープに撮影中、同時に、カードにも静止画を記録できます。

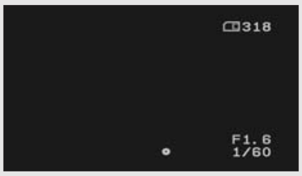


TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

1 メインダイヤルをカメラモードにし、テープ/カード切換スイッチを「 」にする

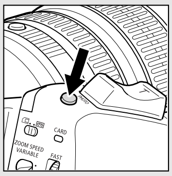
2 PHOTOボタンを浅く押し続ける





- ピント調整が終わるとが緑色の点灯に変わります。
- 露出がロックされます。
- PHOTOボタンを浅く押したまま、フォーカスリングでピントを調整できます。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

3 PHOTOボタンを深く押す



- マークが消えます。
- シャッターを切るように画面が一度途切れます。
- カードアクセスランプが点滅し、静止画の書き込み表示が出ます。

❍ SDメモリーカードには、誤消去防止のつまみがついています。SDメモリーカードに静止画を記録するときには、記録できる状態になっていることを確認してください。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カードアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
・カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
・電源を切らない。メインダイヤルやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
・バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

カード編

次のページへ

カードに静止画を記録する…つづき

❍ 2の操作で、より正確にピントを合わせるため、一時的にピントが合わなく見えることがあります。
❍ **「フォーカス優先」を「入」に設定しているとき**
●が緑色の点灯に変わる前にPHOTOボタンを深く押すと、ピントを合わせるのに約2秒*かかることがあります。
＊ナイトモード時には、4秒までかかることがあります。
自動ではピントが合いにくい被写体のときは、そのままピントをロックします。PHOTOボタンを浅く押したままフォーカスリングでピントを合わせることをおすすめします。
❍「フォーカス優先」を「切」に設定しているときは、2の操作では、●が緑色に点灯し、ピントと露出がそのままロックされます。
❍ パワーセーブ
カードカメラモードでは、本機をバッテリーパックで使用しているとき、撮影待機中には、省電のため、操作をしなくなってから約5分で電源が切れます。カードカメラメニューの「システム設定」➤「パワーセーブ」で、電源を切るか（「入」）、切らない（「切」）が選択できます。「入」を選んでいて電源が切れた場合は、STANDBYボタンを押すか、メインダイヤルを一度「OFF」にしてからカメラモードに戻し、電源を入れなおしてください。

フォーカス優先の設定を変える

PHOTOボタンを押したときにすぐに静止画記録をしたいときは、「フォーカス優先」を「切」に設定します。

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			



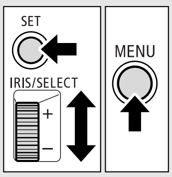
① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「フォーカス優先」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

使用しているカスタムプリセット設定を静止画と一緒にカードに保存する

「入＋CP」を選ぶと、カメラモードで使用しているカスタムプリセット設定とその場面の静止画をカードに保存できます。場面に合わせたカスタムプリセット設定を再現するときに便利です。

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

1 「静止画記録」の設定を選ぶ

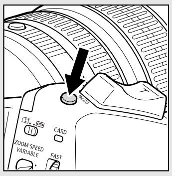




① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「静止画記録」➤「入」または「入＋CP」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

2 動画撮影中

PHOTOボタンを深く押す



- 画面は動画のまま、静止画がカードに記録されます。

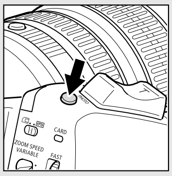
❍ フェード実行中はカードに記録できません。
❍「静止画記録」を「切」に設定していて、フォトボタンを押すと「 」が出ます。

テープの映像を静止画として記録する

TAPE | CARD　　EXT. CONT. | VCR/PLAY | A | Tv | Av | M

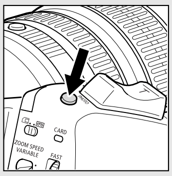
1 テープ再生中

PHOTOボタンを浅く押し続ける



- 画面に記録可能枚数などのカードの情報が表示され、再生一時停止になります。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

2 PHOTOボタンを深く押す

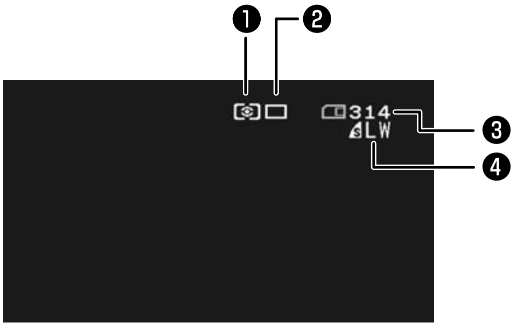


- カードアクセスランプが点滅します。
- 再生一時停止中にPHOTOボタンを深く押しても、静止画を記録できます。

次のページへ

カードに静止画を記録する…つづき

静止画記録中の画面表示について



①測光方式

選んだ測光方式を表示します。

② ドライブモード

選んだドライブモードを表示します。

③カード静止画の記録可能枚数表示

記録可能枚数6枚以上：	6 緑色表示
記録可能枚数1～5枚：	5 黄色表示*
記録可能枚数0枚：	0 赤色表示*

＊カード再生時はすべて緑色表示になります。

- 記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

「▶」書き込み表示

静止画をカードに書き込んでいるときに表示します。

④画像サイズ表示

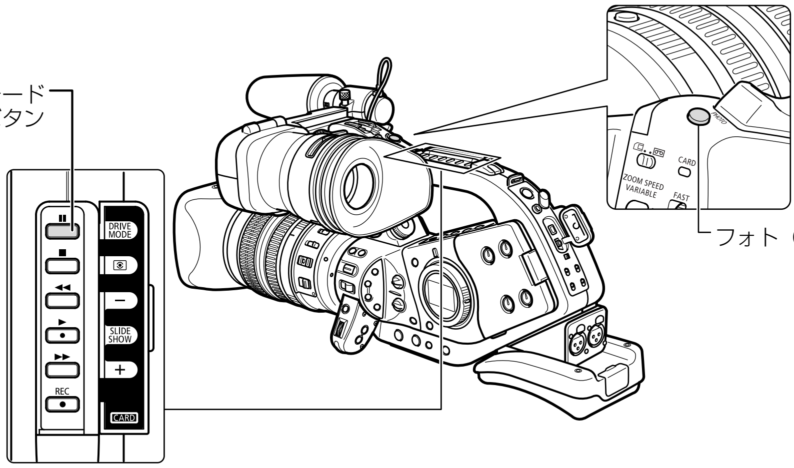
静止画の画像サイズを表示します。

画質表示

静止画の画質を表示します。

ドライブモードを選ぶ（連写／高速連写／AEB）

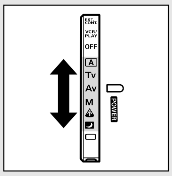
連写	PHOTOボタンを押し続けている間、連続撮影できます（記録枚数については、次ページをご参照ください）。
高速連写	
AEB	自動的に露出を約1／2段変えて、3枚の静止画を連続撮影します。
単写	PHOTOボタンを押すと、1枚の静止画を撮影します。



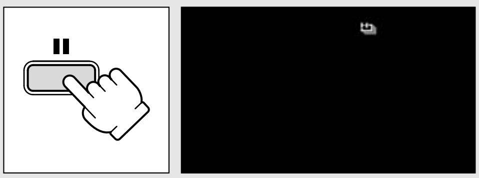
TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

設定のしかた

1 （全自動）以外のカメラモードにする



2 DRIVE MODEボタンを押す



- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。

カード編

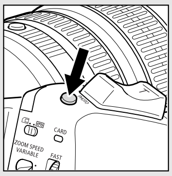
次のページへ

ドライブモードを選ぶ（連写／高速連写／AEB）…つづき

連写／高速連写で撮影する

TAPE CARD | EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M | | |

1 PHOTOボタンを深く押し続ける



- PHOTOボタンを押し続けている間、静止画が連続でカードに記録されます。

1回の連写で記録できる最大枚数

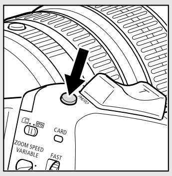
静止画像サイズ	1秒あたりの記録枚数		連続記録可能枚数
	連写	高速連写	
1920×1080	約3枚	約5枚	30枚
848×480	約3枚	約5枚	60枚
1440×1080	約3枚	約5枚	30枚
640×480	約3枚	約5枚	60枚

＊ 記録できる枚数や1秒あたりの記録枚数は、目安です。撮影条件や被写体によって変わります。また、上記の枚数が記録できる空き容量が必要です。

自動的に露出を変えて撮影する（AEB）

TAPE CARD | EXT. CONT. | VCR/ PLAY | A | Tv | Av | M | | |

1 PHOTOボタンを深く押す



- 露出を変えた3枚の静止画が、自動的にカードに記録されます。



AEBでは、3枚連続して記録されますので、カードに十分な空き容量があることを確認してください。

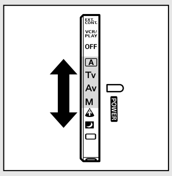
測光方式を選ぶ

画面内の明るさを測る方式を選んで撮影できます。

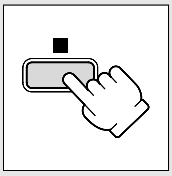
評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を分割して測光します。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光などをカメラが判断し、主な被写体を常に適正な露出にします。
中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
スポット測光	画面中央部のスポット測光枠（[ ]）内を測光します。

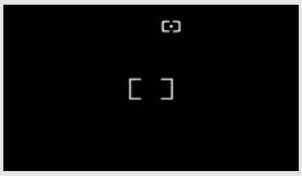
TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 （全自動）、（ナイト）、（スポットライト）以外のカメラモードにする



2 ■ ボタンを押す





- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ表示の設定が出ます。
- スポット測光を選んだ場合は、「[ ]」が出ます。

カード編

別売のストロボを使う

一眼レフカメラ　キヤノンEOS用のE-TTL（Ⅱ）自動調光システムに対応したスピードライト420EX/430EX/550EX/580EXにより、低照度下でより自然に静止画撮影できます。

● スピードライトの使用説明書もあわせてご覧ください。

スピードライトの取り付け

※ EOS用オフカメラシュー、コネクティングコードは使用できません。

● ストロボを取り付け/取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。

1 スピードライトの取り付け脚部をアクセサリーシューに奥まで差し込む

2 締め付けネジで固定する

● 締め付けねじを回すと、ロックピンが出て、固定されます。

取りはずすときは、締め付けねじを反対方向へ最後まで回し、ロックピンが解除されたのを確認して、本機からはずします。

操作のしかた

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 ビデオカメラのメインダイヤルを「M」を除くカメラモードにし、スピードライトの電源を入れる

● スピードライト充電中は白色の ⚡ が点滅する。
● 充電が完了すると、⚡ が緑色になり点灯する。
● 白色の ⚡ が長時間点滅し続けているときは、スピードライトの電池を交換してください。

2 PHOTOボタンを押して静止画撮影する

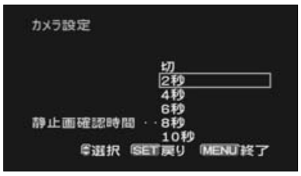
❍ 必ず充電が完了したのを確認してから撮影してください。充電中でも撮影はできますが、スピードライトは発光しません。
❍ スピードライトを使用しないときは、スピードライトの電源を切ってください。
❍ 露出ロック時はスピードライトは発光しません。
❍ Tvモード時で、ストロボ撮影時に設定可能なシャッタースピードは、以下の通りです。
　1/4秒～1/500秒
❍ スピードライト420EX/430EX/550EX/580EXのバウンス機能には対応していません。
❍ スピードライト420EX/430EX/550EX/580EXのワイヤレス多灯ストロボには対応していません。
❍ スピードライトトランスミッターST-E2と420EX/430EX/550EX/580EXのワイヤレス制御には対応していません。
❍ 暗い被写体では、本体のPHOTOボタンを浅く押しつづけるとスピードライトのフォーカス用の補助光が発光することがあります（AF撮影時）。
❍ AEB撮影時はスピードライトは発光しません。

カードに記録した静止画を確認する
（静止画確認時間）

カードに静止画を記録した直後に、選んだ時間（2、4、6、8、10秒）、静止画を確認できます。

設定のしかた

TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M			

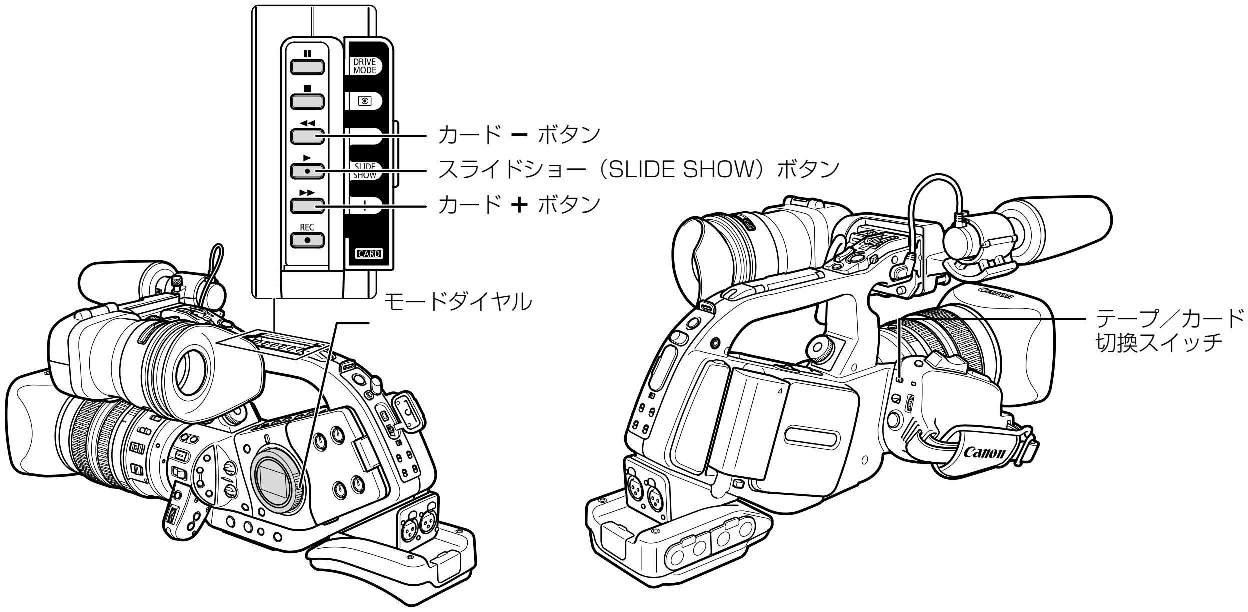


① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「静止画確認時間」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

❍ 静止画記録時に、PHOTOボタンを深く押し続けている間も、記録した静止画を確認できます。
❍ 静止画記録時に静止画を確認している間、または静止画記録直後にSETボタンを押すと、「画像設定」メニューが出ます。画像プロテクト（🕮 136）、画像消去（🕮 135）ができます。
❍ ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

カード編

カードに記録した静止画を再生する



静止画を再生する（カード静止画再生モード）

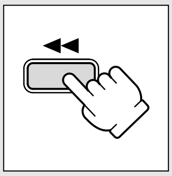
TAPE	CARD

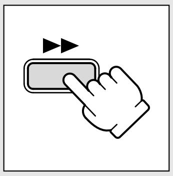
EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1　メインダイヤルを「VCR/PLAY」にし、テープ/カード切換スイッチを「 」にする

● カード静止画再生モードになります。
● 青い画面の後に、最後に記録した静止画が出ます。

2　CARD+ ／− ボタンを押す





❍ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだり、本機で記録した画像をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。
❍ 本機以外のビデオカメラなどで記録した画像は､正しく再生されないことがあります。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カードアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
　・カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
　・電源を切らない。メインダイヤルやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
　・バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

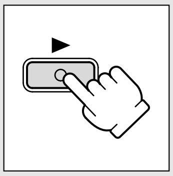
静止画を探す（スライドショー/インデックス画面/カードジャンプ機能）

本機では、画像を連続して順番に見たり（スライドショー）、6枚を一度に見たり（インデックス画面）できます。さらに、見たい画像をすばやく探し出せるカードジャンプ機能があります。

画像を順番に再生する（スライドショー）

TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 SLIDE SHOWボタンを押す



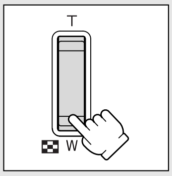
- 出ている画像から順番に再生します。
- ボタンをもう一度押すと、スライドショーを終了します。

インデックス画面で画像を選ぶ

TAPE	CARD		EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 静止画再生中

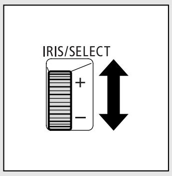
ズームレバーをW側に押す





- 6つの画像が出るインデックス画面になります。

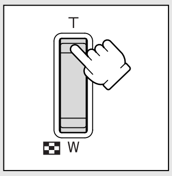
2 SELECTダイヤルを回す





- 「☞」を再生したい画像に合わせます。
- カード＋／－ボタンでインデックス画面を切り換えられます。

3 ズームレバーをT側に押す



- インデックス画面が終了し、選んだ1枚の画像が画面に出ます。

カード編

次のページへ

カードに記録した静止画を再生する …つづき

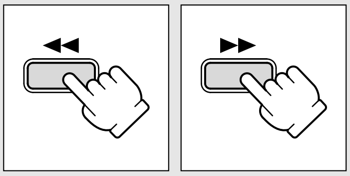
画像をすばやく探し出す（カードジャンプ機能）

1枚ずつ再生せずに、離れた画像まで一気にジャンプできます。
カード再生モード時の画面の右上に出る数字は、記録した画像の合計枚数（全枚数）と再生している画像が何枚目になるか（表示番号）を表しています（ （表示番号）/（全枚数））。

TAPE CARD

EXT. CONT. VCR/PLAY A Tv Av M

1 CARD+ ／− ボタンを押し続ける



- ボタンを押している間、表示番号のみが連続的に変わります。
- ボタンを離すと、表示番号の画像が画面に出ます。

画像を消去する（画像消去）

不要になった画像を1枚消去したり、すべての画像を一度に消去したりできます。
全消去を行うと、すべての静止画が消去されます。
「静止画記録」を「入＋CP」にして記録した静止画を消去する場合は、カスタムプリセットも消去されます。

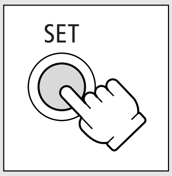
一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に画像を確認してください。

プロテクト設定している画像は消去できません。

①画像を見ながら1枚消去する

TAPE **CARD** | EXT. CONT. **VCR/PLAY** A Tv Av M

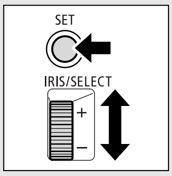
1 SETボタンを押す

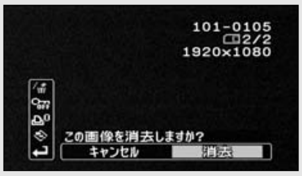




- 「画像設定」メニューが出ます。
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後にSETボタンを押すと、メニューが出ます。

2 「画像消去」を選ぶ



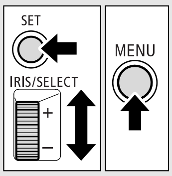


- SELECTダイヤルを回して「画像消去」を選び、SETボタンを押します。
- 「消去」を選んで、SETボタンを押すと、画像が消去されます。
- 消去した画像の1つ後の画像が出ます。

②画像を全消去する

TAPE **CARD** | EXT. CONT. **VCR/PLAY** A Tv Av M

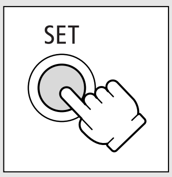
1 「画像消去」を選ぶ

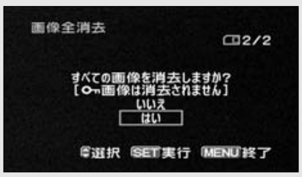




① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「画像全消去」➤ 設定内容を順に選ぶ
- ・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

2 「はい」を選び、消去する





- SETボタンを押すと、（プロテクトした）画像を除いたすべての画像が消去されます。
消去が終了すると、「カード実行」サブメニューに戻ります。

カード編

画像をプロテクトする（画像プロテクト）

プロテクト設定をしても、カードを初期化するとすべての画像は消去されます。

①画像を見ながらプロテクトする

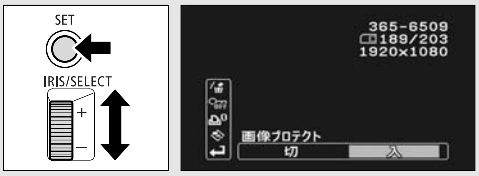
TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

1 SETボタンを押す



- 「画像設定」メニューが出ます。

2 画像をプロテクトする

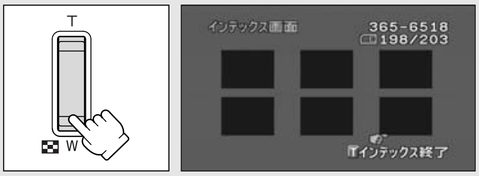


- SELECTダイヤルを回して「画像プロテクト」を選び、SETボタンを押します。SELECTダイヤルで「入」を選んでSETボタンを押します。「O┳」が出ます。「切」を選ぶと解除します。

②インデックス画面で画像をプロテクトする

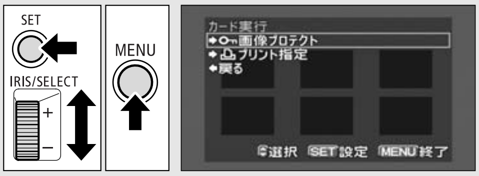
TAPE CARD　EXT. CONT.　VCR/PLAY　A　Tv　Av　M

1 ズームレバーをW側に押す



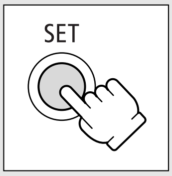
- インデックス画面になります。
- プロテクトする画像を選びます（「インデックス画面で画像を選ぶ」操作2（□ 133））。

2 「➡O┳画像プロテクト」を選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「➡O┳画像プロテクト」を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

3 画像をプロテクトする





- SETボタンを押すと「🔑」が出て、プロテクトされます。もう一度押すと、解除します。
- SELECTダイヤルを上／下に回すと、他の画像を選べます。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

カード編

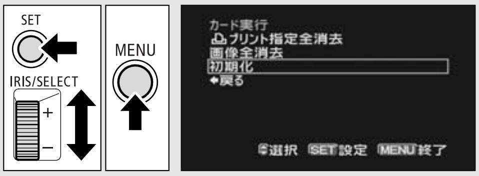
カードを初期化する

初期化は、新しいカードを使うときや、「カードエラーです」という表示が出たときに行います。また、カードに記録した画像などの情報すべてを消去するときにも行います。

- ❍ 初期化を行うと、プロテクト設定した画像やカスタムプリセットまで、すべての情報が消えます。
- ❍ 初期化して一度消去した画像やカスタムプリセットなどはもとに戻せません。初期化する前に確認してください。
- ❍ 付属のSDメモリーカード以外のカードを使用する際には、はじめに本機で初期化してください。

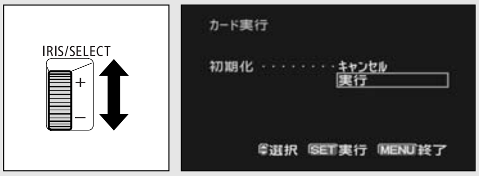
TAPE | **CARD**　　EXT. CONT. | **VCR/PLAY** | A | Tv | Av | M

1 「初期化」を選ぶ



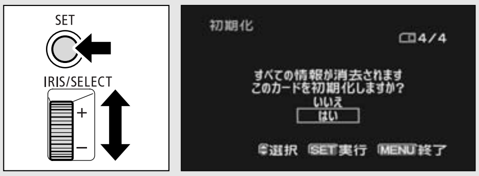
① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「初期化」を順に選ぶ
- ・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

2 「実行」を選ぶ



- ● SELECTダイヤルを回して、「実行」を選びます。

3 「はい」を選び、初期化する



- ● SELECTダイヤルを回して、「はい」を選び、SETボタンを押すと、カードは初期化され、すべての情報が消去されます。

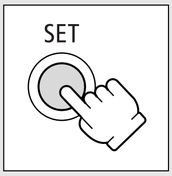
静止画をプリント指定する

カードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画とその枚数を指定できます。本機は印刷フォーマットのDPOF（ディーポフ）（Digital Print Order Format）に対応しています。プリント指定は、最大998枚の静止画まで設定できます。

①-1 静止画を見ながらプリント指定をする

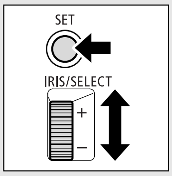
TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/ PLAY	A	Tv	Av	M				

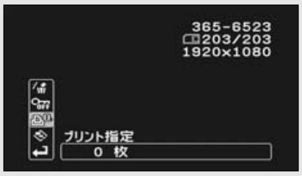
1 SETボタンを押す



● 画像設定メニューが出ます。

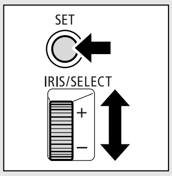
2 「プリント指定」を選ぶ





● SELECTダイヤルを回して、「プリント指定」を選び、 SETボタンを押します。

3 プリント指定をする





● SELECTダイヤルを回して、枚数を選びます。
● SETボタンを押すと、プリント指定されます。
●「↵」を選ぶと、メニューが消えます。

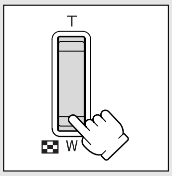
次のページへ

静止画をプリント指定🖨する…つづき

①-2 インデックス画面で🖨プリント指定をする

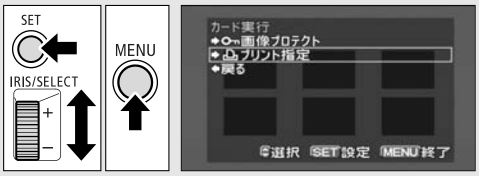
TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 ズームレバーをW側に押す



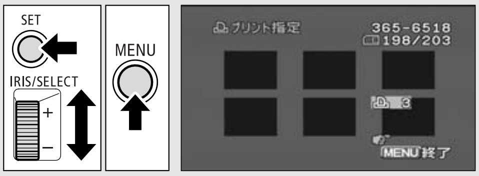
- インデックス画面になります。
- プリント指定する静止画を選びます（「インデックス画面で画像を選ぶ」操作2（📖133））。

2 「➡🖨 プリント指定」を選ぶ



① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「➡ 🖨プリント指定」を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

3 🖨 プリント指定をする



- SETボタンを押すと「🖨0～99」が付きます。SELECTダイヤルを回して、枚数を選びます。
- SETボタンを押すと、🖨プリント指定されて次の静止画を選べます。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

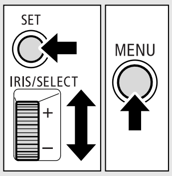
🖨 プリント指定を消去するとき

🖨プリント指定をしている静止画を選びます。①-1または2の操作で枚数「0」を選び、SETボタンを押すと「🖨」が消えます。

①-3 すべてのプリント指定を消去する

TAPE	CARD	EXT. CONT.	VCR/PLAY	A	Tv	Av	M			

1 「プリント指定全消去」を選ぶ

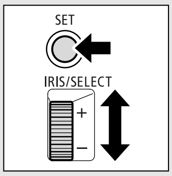




静止画1枚再生中

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「プリント指定全消去」を順に選ぶ
・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

2 「はい」を選び、プリント指定を消去する





● SETボタンを押すと、すべてのプリント指定が消去されます。

カード編

メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入／切しても保持している設定項目

メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入/切しても次の機能の設定は保持されます（内蔵リチウム電池が充電されていないと保持されません）。

● カメラモード/カードカメラモード

<table>
<tr><th></th><th>メインダイヤルで
電源を切る</th><th>STANDBYボタンを
入／切する</th><th>モード選択スイッチで
HDV/SDを切り換える</th></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="2">○</td><td>リセット</td></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="2">○</td><td>リセット</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した
シャッタースピード、絞り値</td><td colspan="2">○</td><td>リセット</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td colspan="2">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>露出ロックの入／切</td><td>切になる</td><td>○</td><td>リセット</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、
シャッタースピード</td><td>リセット</td><td>○</td><td>リセット</td></tr>
<tr><td>カラーバーの設定*</td><td>リセット</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カラーバーの入／切*</td><td>リセット</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フェーダーの設定*</td><td>リセット</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フェーダーの入/切*</td><td>リセット</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カメラ（テープ／カード）
メニューの設定項目</td><td colspan="2">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入／切</td><td colspan="2">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ファインダー表示入／切</td><td colspan="2">通常表示に戻る</td><td>○</td></tr>
<tr><td>液晶表示パネル照明の入／切</td><td colspan="3">切になる</td></tr>
<tr><td>ゼロセットメモリーのカウンター*</td><td colspan="3">○</td></tr>
</table>

＊カードカメラモードは除く

撮影モードやフレームレートを切り換えても次の機能の設定は保持されます（内蔵リチウム電池が充電されていないと保持されません）。

● カメラモード

<table>
<tr><th></th><th>□（全自動）モード以外の撮影モードに切り換える</th><th>□（全自動）モードに切り換える</th><th>フレームレートを切り換える*</th></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="2">○</td><td>リセット</td></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="2">○</td><td>リセット</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した絞り値、シャッタースピード</td><td colspan="2">○</td><td>リセット</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td colspan="2">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>露出ロックの入／切</td><td colspan="3">切になる</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、シャッタースピード</td><td colspan="3">リセット</td></tr>
<tr><td>カラーバーの設定*</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カラーバーの入／切*</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フェーダーの設定*</td><td>○</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フェーダーの入/切*</td><td>○</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カメラ（テープ／カード）メニューの設定項目</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入／切</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ファインダー表示入／切</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>液晶表示パネル照明の入／切</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ゼロセットメモリーのカウンター*</td><td colspan="3">○</td></tr>
</table>

＊カードカメラモードは除く

メニュー一覧

カメラメニュー　＊SDのみ

サブメニュー項目	設定内容	意味		
信号設定				
タイムコード	フレーム設定	**ドロップ**	ドロップ方式でタイムコードを記録する。	53
		ノンドロップ	ノンドロップ方式でタイムコードを記録する。	
	カウントアップ方式	**レックラン**	本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進する。	
		レックランプリセット	スタート値設定画面へ。	
		フリーラン	本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進する。スタート値設定画面へ。	
	スタート値設定	**セット**	タイムコードを設定する。スタート値設定画面へ。	
		リセット	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。	
外部同期	**切**	外部機器と同期しない。		55
	GENLOCK	GENLOCK端子に入力する同期信号に対してGENLOCKする。		
	GENLOCK＋TC	GENLOCK端子に入力する同期信号に対してGENLOCKし、TC IN端子に入力するLTC規格の信号をタイムコードとしてテープに記録する。		
GENLOCK調整	－1023～＋1023	GENLOCKを位相差0を中心として約±0.4H（－1023～＋1023）の範囲で調整する。		55
タイムコード出力	入	TC OUT端子のタイムコード出力を入/切する。		53
	切			
コンポーネント出力	480i	480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。		106
	1080i/480i	1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。		
SDI出力	入	HD/SD SDI端子の出力を入/切する。		105
	切			
SDI出力映像	**オート**	HD/SD SDI端子の出力を選択する。 オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。		105
	SD固定			
カメラ設定				
24Fプルダウン＊	**2：3**	2：3プルダウン方式で24Fを記録する。		52
	2：3：3：2	2：3：3：2プルダウン方式で24Fを記録する。		
ゼブラパターン	入	ゼブラパターン表示を入/切する。		86
	切			
ゼブラパターンレベル	70	ゼブラパターンの表示レベルを選択する。		86
	75			
	80			
	85			
	90			
	95			
	100			
スキン設定	色相	色相を調整する。		87
	クロマ	クロマを調整する。		
	エリア	エリアを調整する。		
	Yレベル	Yレベルを調整する。		
	スキンディテール	**切**	スキンディテール機能を使わない。	
		ハイ	肌色部分のディテール表現を選択する。ハイにするほど肌色部分が柔らかく表現される。	
		ミドル		
		ロー		

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容		意味	📖
フォーカスP.スピード	L		レンズのフォーカスプリセットのスピードをL（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。	49
	M			
	H			
クリアスキャン			パソコンの画面を撮影するときに選択する（選択範囲60.1～203.9Hz）。	96
FB	→AF調整		AFによるフランジバック調整。	26
	→MF調整		MFによるフランジバック調整。	
	調整値初期化		調整値の初期化。	
カスタムプリセット				
EDIT	SELECT CP	1 PRESET_A	設定するプリセットを選択する。	94、95
		2 PRESET_B		
		3 PRESET_C		
		4 PRESET_D		
		5 PRESET_E		
		6 PRESET_F		
	TUNE		選択したカスタムプリセットの設定を編集する。	
	RENAME		選択したカスタムプリセットの名前を変える。	
	PROTECT		選択したカスタムプリセットの設定をプロテクトする。	
	RESET		選択したカスタムプリセットの設定と名前を初期値に戻す。	
	RETURN		カスタムプリセットメイン画面に戻る。	
	GAM（ガンマ）	**NORMAL**	ガンマを設定する。	
		CINE1		
		CINE2		
	KNE（ニー）	AUTO	ニーを設定する。	
		HIGH		
		MIDDLE		
		LOW		
	BLK（ブラック）	STRETCH	ブラックを設定する。	
		MIDDLE		
		PRESS		
	PED（マスターペデスタル）	−9～+9	マスターペデスタルを調整する。	
	SET（セットアップレベル）	−9～+9	セットアップレベルを調整する。	
	SHP（シャープネス）	−9～+9	シャープネスを調整する。	
	HDF（H DTL FREQ)	HIGH	水平ディテール周波数を設定する。	
		MIDDLE		
		LOW		
	DHV(DTL H/V BAL)	−9～+9	ディテール周波数の水平と垂直を調整する。−9では水平だけ、+9では垂直だけになる。	
	COR（コアリング）	−9～+9	コアリングを調整する。	
	NR1	**OFF**	ノイズリダクション1を設定する。	
		HIGH		
		MIDDLE		
		LOW		
	NR2	**OFF**	全体にスキンディテールをかけたように設定する。	
		HIGH		
		MIDDLE		
		LOW		

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味		
EDIT	CMX（カラーマトリクス）	**NORMAL**	カラーマトリクスを設定する。	94、95
		CINE1		
		CINE2		
	CGN（カラーゲイン）	−9〜+9	カラーゲインを調整する。	
	CPH（色相）	−9〜+9	色相を調整する。	
	RGN（Rゲイン）	−9〜+9	Rゲインを調整する。	
	GGN（Gゲイン）	−9〜+9	Gゲインを調整する。	
	BGN（Bゲイン）	−9〜+9	Bゲインを調整する。	
	RGM（R-Gマトリクス）	−9〜+9	R-Gマトリクスを調整する。	
	RBM（R-Bマトリクス）	−9〜+9	R-Bマトリクスを調整する。	
	GRM（G-Rマトリクス）	−9〜+9	G-Rマトリクスを調整する。	
	GBM（G-Bマトリクス）	−9〜+9	G-Bマトリクスを調整する。	
	BRM（B-Rマトリクス）	−9〜+9	B-Rマトリクスを調整する。	
	BGM（B-Gマトリクス）	−9〜+9	B-Gマトリクスを調整する。	
	SELECT CP	コピーするカスタムプリセットを選択する。		88
	SAVE POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
	EXECUTE	実行する。		
	RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
	IMPORT	コピーするカスタムプリセットを選択する。		88
	SELECT POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
	EXECUTE	実行する。		
	RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
記録設定				
録画モード＊	**SP**	SP（標準）モードで録画する。		−
	LP	LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。 LPモードについて： ・LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。 ・本機でLPモードで録画したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。 ・テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。		
UB記録	**内部記録**	本機の内部設定のユーザービットを記録する。		57
	外部入力	TC IN端子、HDV/DV端子から入力されたユーザービットを記録する。		
UB選択	**00 00 00 00**	UB（ユーザービット）のセット/リセット選択画面 ➤ セットを選ぶと、ユーザービット設定画面へ。		57
	時刻	時刻をユーザービットにする。		
	日付	日付をユーザービットにする。		
静止画像画質	スーパーファイン	カードに記録する静止画の画質を設定する。		121
	ファイン			
	ノーマル			
静止画像サイズ	**L**	カードに記録する静止画のサイズを設定する。		121
	S			
静止画記録	**切**	テープと同時にカードに静止画を記録しない。		123
	入	テープと同時にカードに静止画を記録する。		
	入＋CP	テープと同時にカードに静止画とカスタムプリセット設定を記録する。		124
画像番号	オートリセット	カードを入れ替えると番号はリセットされる。		122
	通し番号	画像番号は、最後の番号の続きになる。		

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
オーディオ設定			
オーディオモード	**2CH**	音声を2チャンネルで記録する。	60
	4CH	音声を4チャンネルで記録する。	
	48kHz 2CH＊	音声を48kHz、16bit 2チャンネルで記録する。	
	32kHz 2CH＊	音声を32kHz、12bit 2チャンネルで記録する。 (3、4チャンネルは記録しない)。	
	32kHz 4CH＊	音声を32kHz、12bit 4チャンネルで同時に記録する。	
テストトーン	**切**	テストトーンを使わない。	100
	－12dB	－12dBのテストトーンを使用する。	
	－20dB	－20dBのテストトーンを使用する。	
音声モニター	**ノーマル**	撮影時の音声をそのまま出力する（画面とわずかなずれがでます。テープへの記録ではずれません）。	66
	ラインアウト	撮影時の音声を画面に同期させて出力する。	
ウィンドカット	入	付属のマイク用ウィンドカットを入/切する。	60
	切		
リアマイクゲインアップ	**切**	リアにあるXLRバランス入力端子の12ｄBゲインアップを入/切する。 ・LINE/MICスイッチがMICのときのみ設定可能。	62
	12dB		
オーディオロック＊	ロックモード	音声と映像のサンプリングクロックを同期して記録する。	59
	アンロックモード	音声と映像のサンプリングクロックを独立して記録する。	
表示設定			
EVF調整	EVFシロクロモード	入 / **切**：ファインダーの白黒モードを入/切する。	23
	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
水平/センターマーカー	**切**	水平/センターマーカーを表示しない。	–
	水平マーカー	水平マーカーを表示する。	
	センターマーカー	センターマーカーを表示する。	
アスペクトマーカー	**切**	アスペクトマーカー表示を選択する。	42
	4：3		
	13：9		
	14：9		
	1.66：1		
	1.75：1		
	1.85：1		
	2.35：1		
セーフティーゾーン	**切**	セーフティゾーン表示を80%、90%、切で選択する。	–
	80%		
	90%		
オンスクリーン	**入**	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	99
	切		
レベルメーター	**入**	ファインダーのオーディオレベル表示を入/切する。	65
	切		
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ENGLISH（英語）、簡体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の SET と MENU は切り換わらない。	32
被写体距離単位	**m（メートル）**	マニュアルフォーカス時の被写体との距離の表示単位を選択する。	46
	ft（フィート）		

その他

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
ズーム表示	**ズームバー**	ズーム表示をバーと数値で選択する。	43
	数値		
ガイド	**切**	ガイド情報を画面に表示しない。	–
	カスタムキー	カスタムキーの設定情報を画面に表示する。	
	日時表示	日時を画面に表示する。	
UB表示	入	ユーザービットの画面表示を入/切する。	57
	切		
システム設定			
カスタムキー1	**タイムコード**	カスタムキー1で使用する機能を選択する。 カスタムキー1を使用しないときは「未設定」を選択する。	97
	インデックス記録		
	ゼブラパターン		
	VCRストップ		
	オンスクリーン		
	TC HOLD		
	レベルメーター		
	EVFシロクロモード		
	FB		
	EVF反転モード		
	(未設定)		
カスタムキー2	タイムコード	カスタムキー2で使用する機能を選択する。 カスタムキー2を使用しないときは「未設定」を選択する。	97
	インデックス記録		
	ゼブラパターン		
	VCRストップ		
	オンスクリーン		
	TC HOLD		
	レベルメーター		
	EVFシロクロモード		
	CPマイナスキー		
	FB		
	EVF反転モード		
	(未設定)		
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	116
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	116
	切	リモコンの信号を受け付けない。	116
タリーランプ	**点灯**	タリーランプの点灯/点滅を選択する。「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯する。	–
	点滅		
	切		
パワーセーブ	**入**	バッテリーパック使用時に、約5分以上本機を操作しないと電源が切れる。	37
	切	電源が切れない。	–
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	34
	日付/時刻	日時を設定する。	35
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2005.1.1 AM12:00** M.D.Y : JAN. 1. 2005 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2005 12:00AM	35
LED点灯	**入**	電源ランプ、カードアクセスランプ、HDV/DV端子ランプ、タリーランプ、HDランプの点灯を入/切する。	–
	切		
表示文字記録	入	画面上の文字記録を入/切する。表示文字記録を「入」にすると、「オンスクリーン」は選択できません。また、「コンポーネント出力」は「1080i/480i」になり、「480i」は選択できません。	–
	切		
DVコントロール	入DV	DVコントロール機能を入/切する。	102
	切		
アイリスダイヤル	**UP OPEN**	IRISダイヤルの操作方向を選択する。	74
	DOWN OPEN		

VCR／PLAYメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味		📖
信号設定				
タイムコード	フレーム設定	**ドロップ**	ドロップ方式でタイムコードを記録する。	53
		ノンドロップ	ノンドロップ方式でタイムコードを記録する。	
	カウントアップ方式	**レックラン**	本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進する。	
		レックランプリセット	スタート値設定画面へ。	
		フリーラン	本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進する。スタート値設定画面へ。	
	スタート値設定	**セット**	タイムコードを設定する。スタート値設定画面へ。	
		リセット	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。	
再生規格	**オート**	テープ再生時は、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。		103
	HDV	テープ再生時は、HDV規格で記録された部分だけを再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、HDV規格の信号だけを、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。		
	DV	テープ再生時は、DV規格で記録された部分だけを再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、DV規格の信号だけを、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。		
タイムコード出力	入	TC OUT端子のタイムコード出力を入/切する。		53
	切			
コンポーネント出力	480i	480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。		106
	1080i/480i	1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。		
SDI出力	入	HD/SD SDI端子の出力を入/切する。		105
	切			
SDI出力映像	SD固定	HD/SD SDI端子の出力を選択する。オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。		105
	オート			
AV→DV	入	アナログ入力した映像/音声信号をデジタル変換し、HDV/DV端子から出力することを入/切する。		119
	切			
DV変換	入	HDV記録したテープを再生するときに、HDV/DV端子から出力する信号をDV規格に変換することを入/切する。		107
	切			

「DV変換」	再生信号	「再生規格選択」		
		オート	HDV	DV
入	HDV	DV	DV	出力せず
	DV	DV	出力せず	DV
切	HDV	HDV	HDV	出力せず
	DV	DV	出力せず	DV

・DV変換の出力映像は、元のフレームレートに関係なく、すべて60iになります。
・オーディオが4チャンネルで記録されているときは、チャンネル1、2のみ出力されます。

その他

次のページへ

メニュー一覧…つづき

VCR/PLAYメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
記録設定			
録画モード＊	**SP**	SP（標準）モードで録画する。	–
	LP	LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。 LPモードについて： ・LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。 ・本機でLPモードで録画したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。 ・テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。	
UB選択	**00 00 00 00**	UB（ユーザービット）のセット/リセット選択画面 ➤ セットを選ぶと、ユーザービット設定画面へ。	57
	時刻	時刻をユーザービットにする。	
	日付	日付をユーザービットにする。	
静止画像画質	**スーパーファイン**	カードに記録する静止画の画質を設定する。	121
	ファイン		
	ノーマル		
HD時静止画サイズ	**LW1920×1080**	HD記録時の16：9静止画をサイズを設定する。	121
	SW848×480		
画像番号	オートリセット	カードを入れ替えると番号はリセットされる。	122
	通し番号	画像番号は、最後の番号の続きになる。	
オーディオ設定			
音声選択	**CH1/3／CH2/4**	音声出力の組み合わせを選択する。	111
	CH1/3／CH1/3		
	CH2/4／CH2/4		
ミックス選択	**バリアブル**	CH1/2とCH3/4の音声バランスを選択する。	111
	1：1		
オーディオモード	**48kHz 2CH＊**	音声を48kHz、16bit　2チャンネルで記録する。	60
	32kHz 2CH＊	音声を32kHz、12bit　2チャンネルで記録する（3、4チャンネルは記録しない）。	
	32kHz 4CH＊	音声を32kHz、12bit　4チャンネルで同時に記録する。	
ウィンドカット	入	付属のマイク用ウィンドカットを入/切する。	60
	切		
リアマイクゲインアップ	**切**	リアにあるXLRバランス入力端子の12ｄBゲインアップを入/切する。	62
	12dB		
表示設定			
EVF調整	EVFシロクロモード：入 / **切**	ファインダーの白黒モードを入/切する。	23
	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
オンスクリーン	入	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	99
	切		

VCR/PLAYメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
レベルメーター	**入**	ファインダーのオーディオレベル表示を入/切する。	65
	切		
再生時文字表示	**入**	再生時に画面に文字表示を出す。	–
	切	再生時、画面からデータコード以外の文字表示は消す。 ・操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消える。 ・データコード以外の文字表示を消すと、一部の警告文を除き、接続しているモニターTV上の文字表示も消える。	–
カスタムキー	入	設定したカスタムキーの表示を入/切する。	–
	切		
データコード	日付	日付のみ表示する。	115
	時刻	時刻のみ表示する。	
	日付＆時刻	日付と時刻を表示する。	115
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ENGLISH（英語）、簡体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の SET と MENU は切り換わらない。	32
日付オート表示	入	再生を始めたとき、または再生中に日付/エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 ・「再生時文字表示」が「切」になっていても表示する。	–
	切	日付の自動表示をしない。	
UB表示	入	ユーザービットの画面表示を入/切する。	58
	切		
システム設定			
カスタムキー1	タイムコード	カスタムキー1で使用する機能を選択する。 カスタムキー1を使用しないときは「未設定」を選択する。	97
	オンスクリーン		
	データコード		
	レベルメーター		
	TC HOLD		
	EVFシロクロモード		
	（未設定）		
カスタムキー2	タイムコード	カスタムキー2で使用する機能を選択する。 カスタムキー2を使用しないときは「未設定」を選択する。	97
	オンスクリーン		
	データコード		
	レベルメーター		
	TC HOLD		
	EVFシロクロモード		
	（未設定）		
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	116
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
タリーランプ	**点灯**	タリーランプの点灯/点滅を選択する。「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯する。	116
	点滅		
	切		
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	34
	日付/時刻	日時を設定する。	35
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2005.1.1 AM12:00** M.D.Y : JAN. 1. 2005 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2005 12:00AM	
LED点灯	**入**	電源ランプ、カードアクセスランプ、HDV/DV端子ランプ、タリーランプ、HDランプの点灯を入/切する。	–
	切		

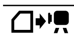
次のページへ

メニュー一覧…つづき

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味		📖
信号設定				
GENLOCK	入	GENLOCKを入/切する。		55
	切			
GENLOCK調整	−1023〜 +1023	GENLOCKを位相差0を中心として約±0.4H（−1023〜+1023）の範囲で調整する。		–
コンポーネント出力	480i	480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。		106
	1080i/480i	1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。		
SDI出力	入	HD/SD SDI端子の出力を入/切する。		105
	切			
SDI出力映像	**オート**	HD/SD SDI端子の出力を選択する。		106
	SD固定			
カメラ設定				
ゼブラパターン	入	ゼブラパターン表示を入/切する。		86
	切			
ゼブラパターンレベル	70	ゼブラパターンの表示レベルを選択する。		–
	75			
	80			
	85			
	90			
	95			
	100			
スキン設定	色相	色相を調整する。		87
	クロマ	クロマを調整する。		
	エリア	エリアを調整する。		
	Yレベル	Yレベルを調整する。		
	スキンディテール	**切**	スキンディテール機能を使わない。	
		ハイ	肌色部分のディテール表現を選択する。ハイにするほど肌色部分が柔らかく表現される。	
		ミドル		
		ロー		
フォーカスP.スピード	L	レンズのフォーカスプリセットのスピードをL（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。		49
	M			
	H			
FB	→AF調整	AFによるフランジバック調整。		26
	→MF調整	MFによるフランジバック調整。		
	調整値初期化	調整値の初期化。		
フォーカス優先	**入**	PHOTOボタンを押したときに、ピントが合ってから静止画記録になる。		48
	切	PHOTOボタンを押してすぐ静止画記録する。		
静止画確認時間	切	カードに静止画を記録した直後に、画像を確認する時間を設定する。 ・ドライブモードで単写以外を選んでいると設定できない。		131
	2秒			
	4秒			
	6秒			
	8秒			
	10秒			

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味		📖
カスタムプリセット				
EDIT	SELECT CP	1 PRESET_A	設定するプリセットを選択する。	94、95
		2 PRESET_B		
		3 PRESET_C		
		4 PRESET_D		
		5 PRESET_E		
		6 PRESET_F		
	TUNE	選択したカスタムプリセットを編集する。		
	RENAME	選択したカスタムプリセットの名前を変える。		
	PROTECT	選択したカスタムプリセットの設定をプロテクトする。		
	RESET	選択したカスタムプリセットの設定と名前を初期値に戻す。		
	RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
	KNE（ニー）	AUTO	ニーを設定する。	
		HIGH		
		MIDDLE		
		LOW		
	BLK（ブラック）	STRETCH	ブラックを設定する。	
		MIDDLE		
		PRESS		
	SHP（シャープネス）	−9～+9	シャープネスを調整する。	
	HDF（H　DTL　FREQ）	HIGH	水平ディテール周波数を設定する。	
		MIDDLE		
		LOW		
	DHV（DTL　HV　BAL）	−9～+9	ディテール周波数の水平と垂直を調整する。−9では水平だけ、+9では垂直だけになる。	
	COR（コアリング）	−9～+9	コアリングを調整する。	
	CGN（カラーゲイン）	−9～+9	カラーゲインを調整する。	
	CPH（色相）	−9～+9	色相を調整する。	
	RGN（Rゲイン）	−9～+9	Rゲインを調整する。	
	GGN（Gゲイン）	−9～+9	Gゲインを調整する。	
	BGN（Bゲイン）	−9～+9	Bゲインを調整する。	
	RGM（R-Gマトリクス）	−9～+9	R-Gマトリクスを調整する。	
	RBM（R-Bマトリクス）	−9～+9	R-Bマトリクスを調整する。	
	GRM（G-Rマトリクス）	−9～+9	G-Rマトリクスを調整する。	
	GBM（G-Bマトリクス）	−9～+9	G-Bマトリクスを調整する。	
	BRM（B-Rマトリクス）	−9～+9	B-Rマトリクスを調整する。	
	BGM（B-Gマトリクス）	−9～+9	B-Gマトリクスを調整する。	
	SELECT CP	コピーするカスタムプリセットを選択する。		88
	SAVE POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
	EXECUTE	実行		
	RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
	IMPORT	コピーするカスタムプリセットを選択する。		88
	SELECT POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
	EXECUTE	実行		
	RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
記録設定				
静止画像画質	**スーパーファイン**	カードに記録する静止画の画質を設定する。		121
	ファイン			
	ノーマル			
静止画像サイズ	**LW1920×1080**	カードに記録する静止画のサイズを設定する。		121
	SW848×480			
	L1440×1080			
	S640×480			

その他

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
画像番号	オートリセット	カードを入れ替えると番号はリセットされる。	122
	通し番号	画像番号は、最後の番号の続きになる。	
オーディオ設定			
ウィンドカット	入	付属のマイク用ウィンドカットを入/切する。	60
	切		
リアマイクゲインアップ	**切**	リアにあるXLRバランス入力端子の12ｄBゲインアップを入/切する。 ・LINE/MICスイッチがMICのときのみ設定可能。	62
	12dB		
表示設定			
EVF調整	EVFシロクロモード	入 / **切**：ファインダーの白黒モードを入/切する。	23
	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
水平/センターマーカー	**切**	水平/センターマーカーを表示しない。	–
	水平マーカー	水平マーカーを表示する。	
	センターマーカー	センターマーカーを表示する。	
被写体距離単位	**m（メートル）**	マニュアルフォーカス時の被写体との距離の表示単位を選択する。	46
	ft（フィート）		
ズーム表示	**ズームバー**	ズーム表示をバーと数値で選択する。	–
	数値		
オンスクリーン	**入**	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	99
	切		
ガイド	**切**	ガイド情報を画面に表示しない。	–
	カスタムキー	カスタムキーの設定情報を画面に表示する。	
	日時表示	日時を画面に表示する。	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ENGLISH（英語）、簡体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下のSETとMENUは切り換わらない。	32
システム設定			
カスタムキー1	**ゼブラパターン**	カスタムキー1で使用する機能を選択する。 カスタムキー1を使用しないときは「未設定」を選択する。	97
	オンスクリーン		
	EVFシロクロモード		
	FB		
	EVF反転モード		
	（未設定）		
カスタムキー2	ゼブラパターン	カスタムキー2で使用する機能を選択する。 カスタムキー2を使用しないときは「未設定」を選択する。	97
	オンスクリーン		
	EVFシロクロモード		
	CPマイナスキー		
	FB		
	EVF反転モード		
	（未設定）		
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	116
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
パワーセーブ	**入**	バッテリーパック使用時に、約5分以上本機を操作しないと電源が切れる。	37
	切	電源が切れない。	
日時設定 ⊙	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	35
	日付/時刻	日時を設定する。	
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2005.1.1 AM12:00** M.D.Y : JAN. 1. 2005 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2005 12:00AM	
LED点灯	**入**	電源ランプ、カードアクセスランプ、HDV/DV端子ランプの点灯を入/切する。	–
	切		
アイリスダイヤル	**UP OPEN**	IRISダイヤルの操作方向を選択する。	74
	DOWN OPEN		

その他

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カードVCR/PLAYメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
信号設定			
コンポーネント出力	480i	480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。	106
	1080i/480i	1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。	
SDI出力	入	HD/SD SDI端子の出力を入/切する。	105
	切		
SDI出力映像	SD固定	HD/SD SDI端子の出力を選択する。 オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。	105
	オート		
カード実行			
プリント指定全消去	**いいえ**	すべてのプリント指定を消去するかどうかを選択する。	141
	はい		
画像全消去	**いいえ**	プロテクトした以外のすべての静止画をすべて消去するかどうかを選択する。	135
	はい		
初期化	**キャンセル**	カードを初期化するかどうかを選択する。	138
	実行		

カード再生中にSETボタンを押したとき

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
画像消去	消去	再生中の静止画を消去するかどうかを選択する。	135
	キャンセル		
画像プロテクト	入	再生中の静止画をプロテクトするかどうかを選択する。	136
	切		
プリント指定		再生中の静止画にプリント指定する。	139
スライドショー	スタート	スライドショーを行うかどうかを選択する。	133
	キャンセル		
静止画カスタムプリセット			
	IMPORT	コピーするカスタムプリセットを確認する。	88
	SELECT POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。	
	EXECUTE	実行する。	
	RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。	
表示設定			
EVF調整	EVFシロクロモード	入 / **切**：ファインダーの白黒モードを入/切する。	23
	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
オンスクリーン	入	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	99
	切		
再生時文字表示	**入**	再生時に画面に文字表示を出す。	–
	切	再生時、画面からデータコード以外の文字表示は消す。 ・操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消える。 ・データコード以外の文字表示を消すと、一部の警告文を除き、接続しているモニターTV上の文字表示も消える。	
カスタムキー	入	設定したカスタムキーの表示を入/切する。	97
	切		

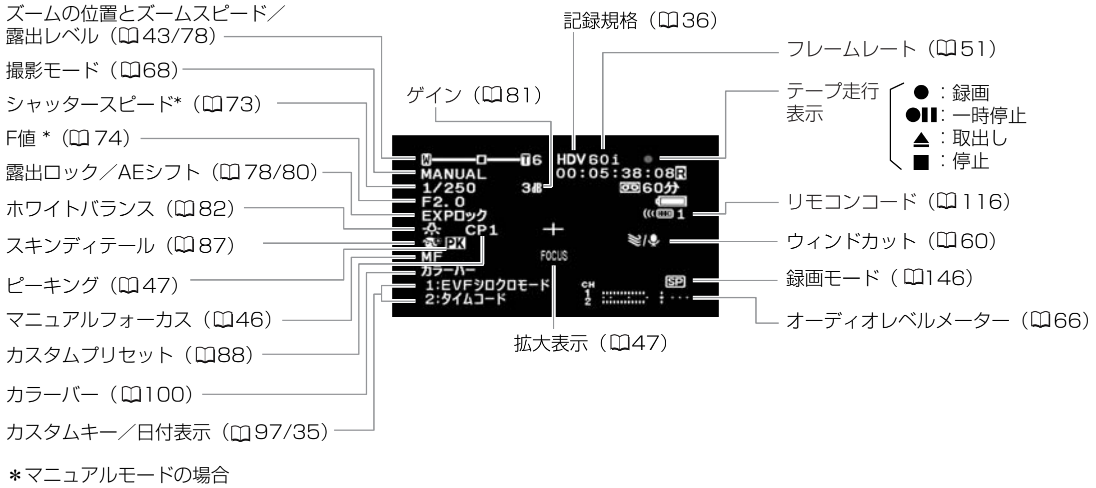
カードVCR/PLAYメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
データコード	日付	日付のみ表示する。	115
	時刻	時刻のみ表示する。	
	日付＆時刻	日付と時刻を表示する。	
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ENGLISH（英語）、簡体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下の SET と MENU は切り換わらない。	32
システム設定			
カスタムキー1	**オンスクリーン**	カスタムキー1で使用する機能を選択する。 カスタムキー1を使用しないときは「未設定」を選択する。	97
	データコード		
	EVFシロクロモード		
	（未設定）		
カスタムキー2	オンスクリーン	カスタムキー2で使用する機能を選択する。 カスタムキー2を使用しないときは「未設定」を選択する。	97
	データコード		
	EVFシロクロモード		
	（未設定）		
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	116
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	34
	日付/時刻	日時を設定する。	35
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2005.1.1 AM12:00** M.D.Y : JAN. 1. 2005 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2005 12:00AM	
LED点灯	入	電源ランプ、カードアクセスランプ、HDV/DV端子ランプの点灯を入/切する。	–
	切		
FIRMWARE	本機のファームウェアのバージョン表記。		–

その他

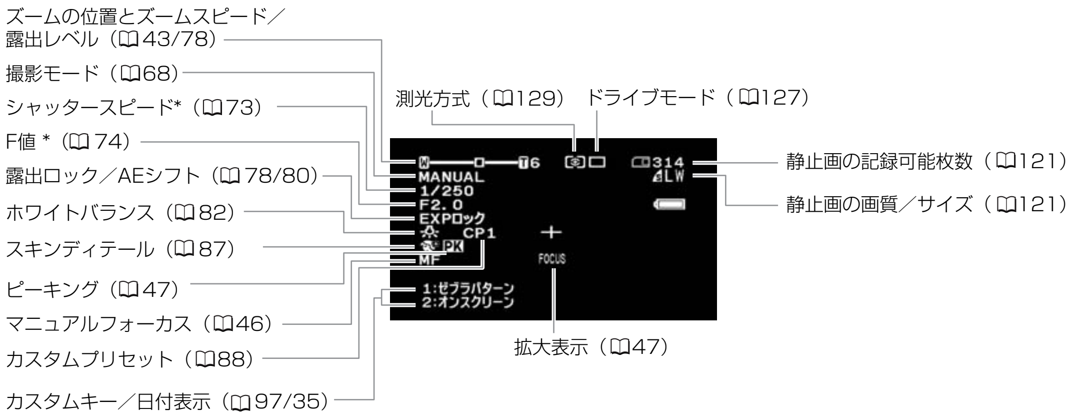
画面表示について

カメラモード （36ページもご覧ください）



＊マニュアルモードの場合

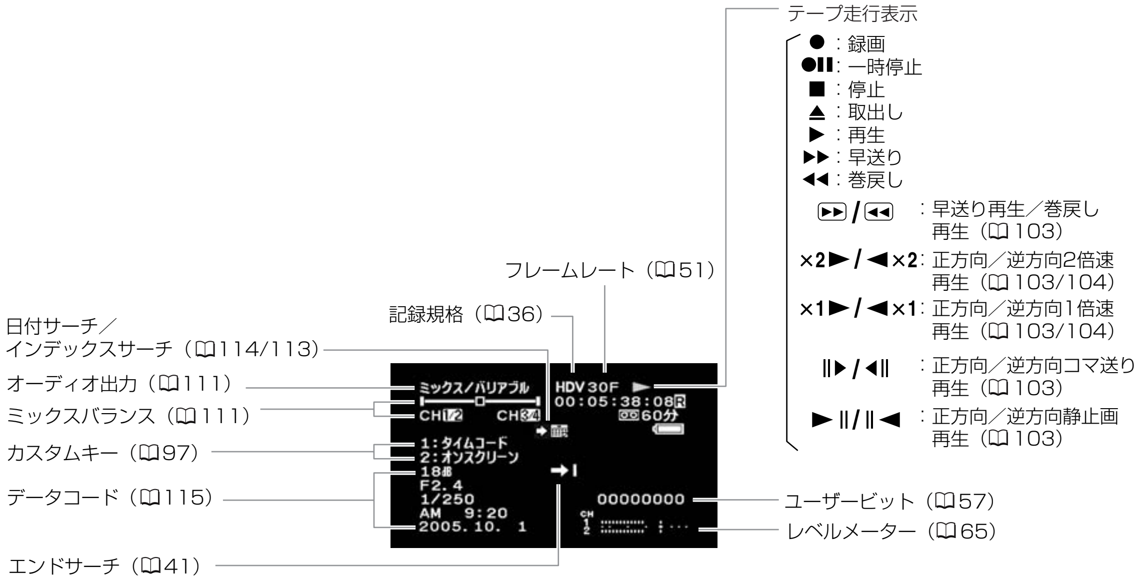
カードカメラモード （36ページもご覧ください）



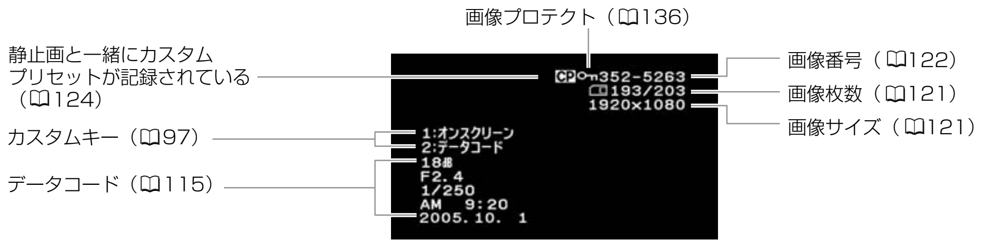
＊マニュアルモードの場合

再生するときの表示

VCR/PLAYモード

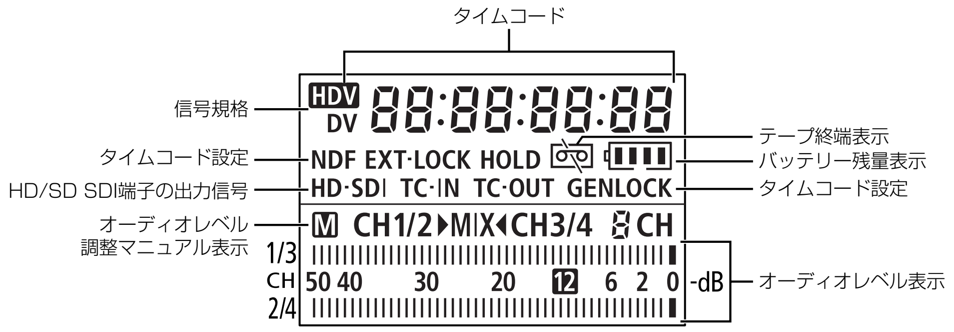


カードVCR/PLAYモード



その他

次のページへ



お知らせ表示（約4秒間表示されます）

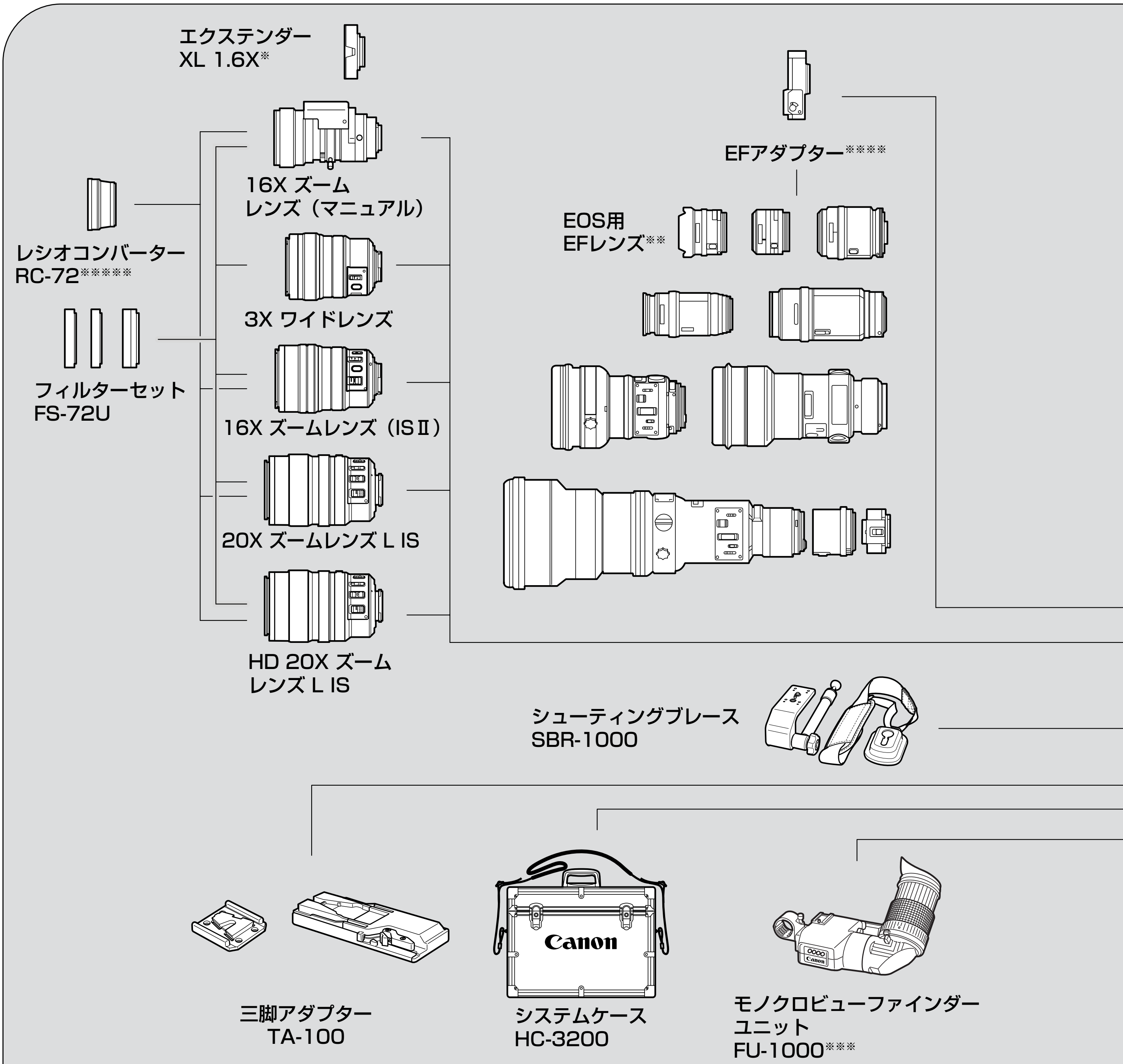
エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（□ 34)。
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（□ 16)。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止つまみをRECに切り換えてください（□ 30)。
カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（□ 30)。
HDV/DV入力を確認してください	ＤＶケーブルが HDV/ＤＶ端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。 ケーブルと端子、電源を確認してください（□ 120)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついています（□ 176)。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻戻す、または取り出してください（□ 30、103)。
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（□ 170)。
パワースタンバイします	STANDBYボタンを押している1秒間表示されます。（□ 37）
レンズの接続を確認してください	レンズが正しく取り付けられていないときに表示されます。 レンズはカチッと音がするまで回して取り付けてください。（□ 25）または、電源を切ってから、レンズを取り付け直し、もう一度電源を入れてください。
カードがありません	カードがビデオカメラ本体に入っていません。（□ 31）
画像がありません	カードに再生する画像がありません。（□ 123）
カードエラーです	カードにエラーがあり、記録、再生できません。一時的にカードエラーが起きる場合があります。「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて□が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れしてください。□が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。
カードがいっぱいです	カードに空き容量がありません。別のカードと入れ換えるか、画像を消去してください。
ファイル名が作成できません	フォルダー番号と画像番号が最大になりました。
この画像は再生できません	再生できない画像タイプ、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとしました。

カードの誤消去防止ツマミを確認してください	SDメモリーカードが記録（書き込み）ができない状態になっています。SDメモリーカードの誤消去防止のツマミを記録できる状態に切り換えてください。
カードカバーがあいています	メモリーカードカバーが開いています。カバーを閉じてください。
記録されている規格が異なります/再生できません	本機では再生できない規格で記録されたテープを再生しようとしたとき。
HDV対応のレンズではありません	ＨＤＶ対応ではないレンズを取り付けると表示されます。
静止画対応のレンズではありません	静止画対応ではないレンズを取り付けると表示されます。
この入力信号には対応していません	本機で対応していない信号（720Pなど）が入力されています。
再生規格固定中です/再生できません	再生規格を固定しているときに、設定してる規格以外で記録されたテープを再生しているとき。
再生規格固定中です/入力できません	再生規格を固定しているときに、設定してる規格以外の信号が入力されたとき。

著作権保護信号

コピー制限されています 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生できません。
コピー制限されています/記録できません	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録できません。また、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れている場合にも表示されることがあります（🕮 105、116)。 アナログ―デジタル変換時は、動作中、表示され続けます（🕮 119)。

キヤノンビデオシステム



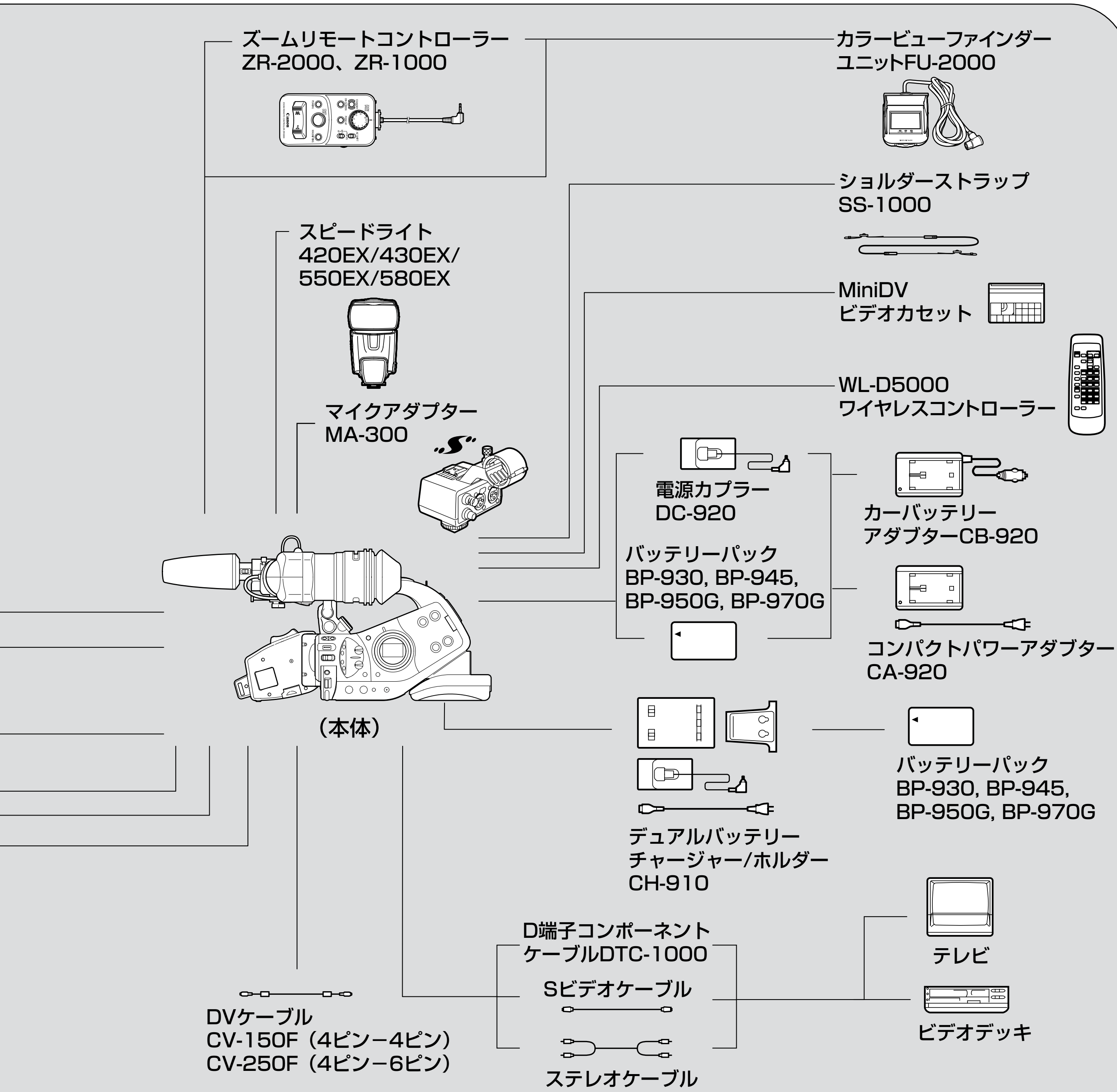
※HD 20X L ISズームレンズ、20X L ISズームレンズ、16Xズームレンズ（ISⅡ）、16Xズームレンズ（マニュアル）に使用可（SD記録時のみ使用可）。

※※EF-Sレンズは使用できません。

※※※XL H1とモノクロビューファインダーユニットFU-1000を組み合わせた場合、コンパクトパワーアダプターCA-920または別売のカーバッテリーアダプターCB-920を電源として使用できます。FU-1000に付属のバッテリーアダプターは使用しません。電源カプラーを直接XL H1に取り付け、コンパクトパワーアダプター/カーバッテリーアダプターと接続してください。また、FU-1000に付属のマイクプロテクターはXL H1では、使用しません。

※※※※EFレンズをXL H1に装着した場合、35mmフィルム換算時の焦点距離は以下のようになります（SD記録時のみ使用可）。
4：3時　約8.8倍
16：9時 約7.2倍

※※※※※SD 4：3記録時のみ使用可。



アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

取り扱い上のご注意

ビデオカメラについて

ファインダーやマイク、ケーブルをつかんで、本機を持ち上げない

高温、多湿の場所に放置しない

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。

強い磁気の発生する場所で使わない

テレビの上、プラズマテレビ、携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影や操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。

太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない

レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。

ホコリや砂の多い場所では使わない

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

水や泥、塩分に注意する

本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。

ハンドルを持って運ぶときは振り回したりしない

ぶつけたりすると故障の原因となります。

分解しない

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。

振動や衝撃を与えない

強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。

極端な温度差にさらさない

寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（📖 176）の指示に従ってください。

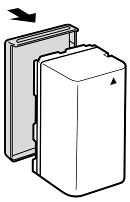
バッテリーパックについて

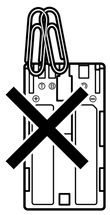
このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

必ず充電してから使う
バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。

端子はいつもきれいにしておく
バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート防止用端子用カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける（図A）
キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図B）、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。


（図A）


（図B）

充電は使用直前にする
充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。
充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。
長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。

こまめに電源を切って使う
- 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。こまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

使用しないときは、ビデオカメラから取りはずす
ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。

次のページへ

取り扱い上のご注意…つづき

充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

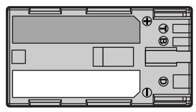
・湿度の低い室温で保管する。
・1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

ショート防止用端子カバーについて

ショート防止用端子カバーには、「▭」の穴があります。バッテリーパックに端子カバーを取り付けるときに「▭」の位置を変えることで、充電済みのバッテリーパックを見分けるのに便利です。

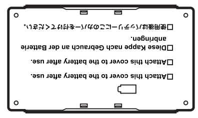
例：充電したバッテリーパックの場合は、端子カバーを青い部分が見えるように取り付ける

バッテリーパックの裏面



端子カバーの取り付け後

充電していない場合



充電した場合



・この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・リチウムイオン電池の回収・リサイクルについては、下記の「キヤノン／キヤノン販売」ホームページ上で確認できます。
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。
・「製品、リチウム電池をご購入いただいた販売店」
・「有限責任中間法人　JBRC」および「キヤノン／キヤノン販売」*

*有限責任中間法人　JBRC　ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
キヤノン／キヤノン販売　ホームページ
http://cweb.canon.jp/ecology/recycle5.html

Li-ion

ビデオカセットについて

カセットは使用後、必ず巻戻す

テープがたるんで傷み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。

カセットはケースに入れて、立てて保管する

カセットを本体に入れたまま放置しない

セロハンテープなどで、テープの穴をふさがない

カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。

テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは使用しない

故障の原因となります。

カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えない

内部のテープがたるみ故障の原因となります。

カセットを長期間保管するときは、時々巻き直す

傷のついたテープは使用しない

ヘッド汚れの原因となります。

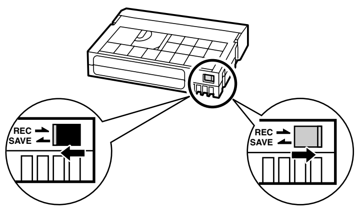
金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにする

本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には対応していません。

間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止つまみを左に切り換え、SAVEにしてください。誤消去防止つまみを右に戻せば、再び録画できます。

・カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後「」が赤く点滅します。



SAVE (録画できない)　REC (録画できる)

その他

次のページへ

取り扱い上のご注意…つづき

カードについて

カードの記録した静止画は、USBカードリーダー、PC/PCMCIAカードアダプターなどを使ってパソコンに取り込めます。

新規にカードを購入した際には、本機で初期化を行う

パソコンなど本機以外で初期化したカードは、正常に使えないことがあります。

カードに記録した画像などのデータは、パソコンで外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておく

カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

強い磁気の発生する場所で使わない

高温、多湿の場所に放置しない

分解しない

ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面が結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。

カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしない

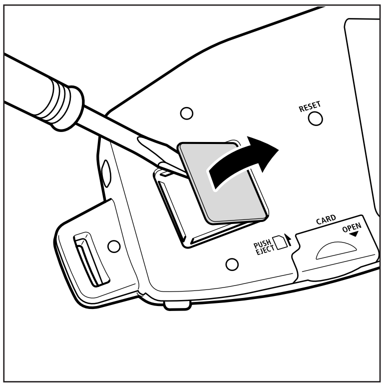
ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしない

内蔵リチウム2次電池について

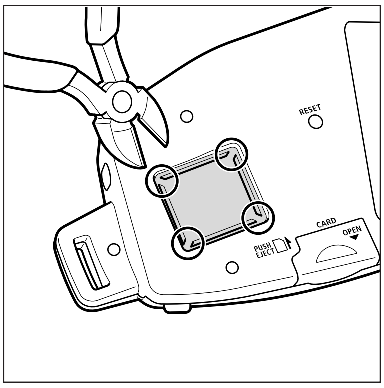
本機は、リチウム2次電池を内蔵していて、日付などの設定が保持されます。この内蔵のリチウム2次電池は、本機を使っている間に充電されますが、使用時間が短いと少しずつ放電され、本機を使わない期間が3ヶ月くらい過ぎると、完全に放電してしまいます。その場合は、リチウム2次電池を充電してください。充電するときは、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、24時間放置してください（メインダイヤルは「OFF」）

ビデオカメラ廃棄時の内蔵のリチウム電池の取りはずしかた

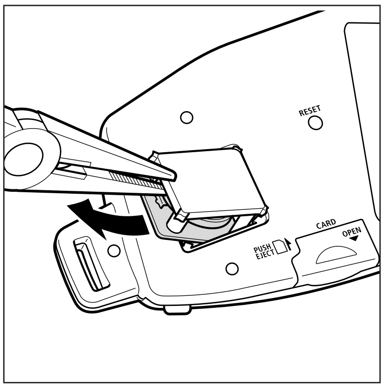
ビデオカメラを廃棄するときは、内蔵のリチウム電池を取りはずしてください。



❶ ラベルの張ってあるプレートをマイナスドライバーではがす



❷ カバーの4箇所をニッパーで切断して、カバーをはずす



❸ 中からリチウム電池が接続されたフレキシブル基板を取り出し、抜く

- ビデオカメラを廃棄するために内蔵のリチウム電池を取り出すとき以外は、カバーをはずさないでください。
- 内蔵のリチウム電池を取り出すときは、本機から電源を取りはずしてください。
- 取り出したリチウム電池の廃棄のしかたについては、（□ 166）をご参照ください。

ビデオヘッドをクリーニングする

画面に「クリーニングカセットを使ってください［ヘッドよごれ］」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、映像と音声が一瞬（約0.5秒）停止したり（HDV）、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。
ビデオヘッドをクリーニングしても直らない場合には故障が考えられます。キヤノンサービスセンターにご相談ください。

正常な画像



ビデオヘッドが汚れているときの画像（DV）



ヘッドクリーニングするときは

❍ 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
❍ ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセットをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

各部のチェック

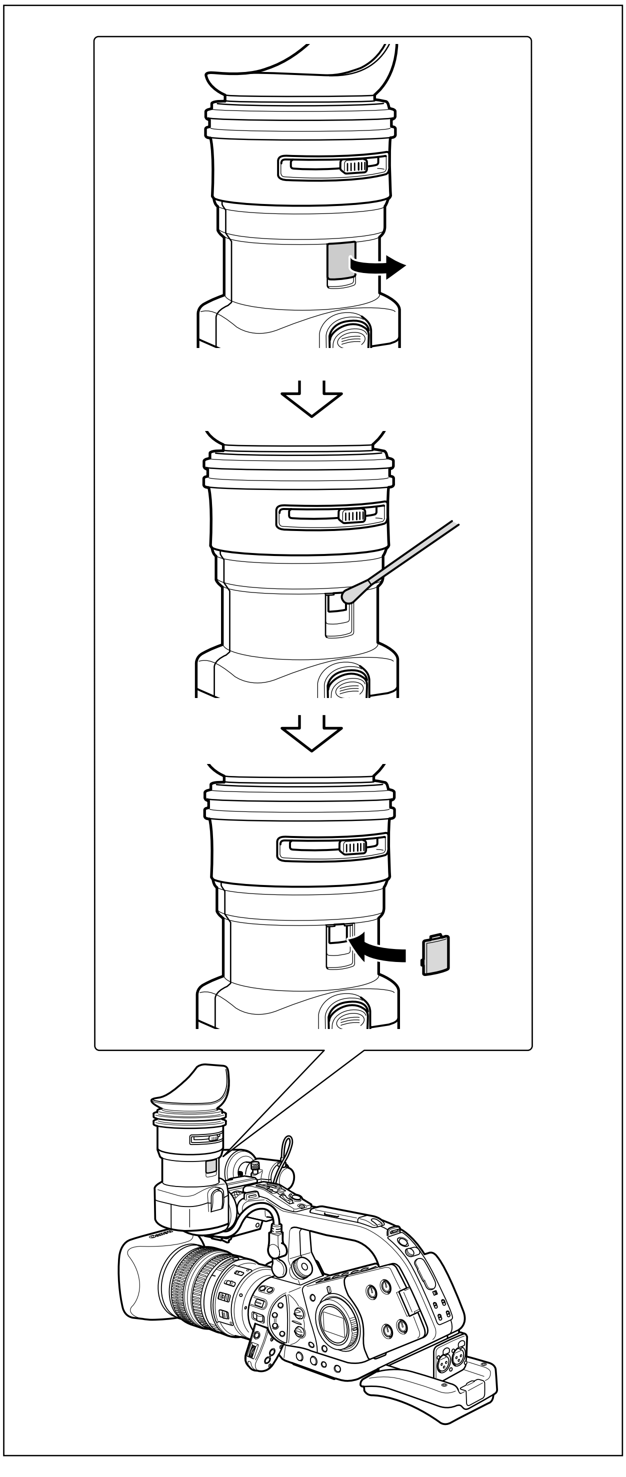
長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

液晶画面について

・汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
・温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

ファインダーのお手入れ

ファインダー内部のゴミを取り除く



❶ マイナスドライバーなどで保護カバーを取りはずす

❷ 綿棒を差し込み、ゴミを取り除く

❸ 保護カバーを取り付ける

ファインダーの接眼レンズは傷つきやすいので、ご注意ください。

トラブルシューティング

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、キヤノンサービスセンター、または販売店にご相談ください。

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	
電源	**電源が入らない。**	バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	16
電源	**途中で電源が切れる。**	撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	37
電源	**ファインダーがついたり消えたりをくり返す。**	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	16
撮影時・再生時	**操作ボタンを押しても動かない。**	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	30
撮影時・再生時	**電源ランプが点滅しファインダーに“”が点滅する。**	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	176
撮影時・再生時	**電源ランプが点滅しファインダーに“カセットを取り出してください”が点滅する。**	保護機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	30
撮影時・再生時	**リモコンが動作しない。**	本機とリモコンのリモコンコードが異なるかメニューでリモコンセンサーを止めている（画面に「」が出ている）。	メニューでリモコンコードを「1」または「2」にする。	116
撮影時・再生時		リモコンの電池が消耗した。	新しい電池と交換する。	29
撮影時	**メインダイヤルをOFF以外にしているのに電源ランプが点灯しない。**	メニューで「LED点灯」を「切」にしている。	メニューで「LED点灯」を「入」にする。	148
撮影時	**ファインダーに映像が映らない。**	メインダイヤルがカメラモードになっていない。	メインダイヤルをカメラモードにする。	36
撮影時	**「エリア／日時を設定してください」が表示される。**	世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、内蔵リチウム2次電池が放電している。	世界時計のエリアと日時を設定するか、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、メインダイヤルを「OFF」にしたまま24時間放置して、内蔵リチウム2次電池を充電する。	34 17

次のページへ

トラブルシューティング…つづき

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	
撮影時	**スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。**	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	30
		メインダイヤルがカメラモード以外になっている。	メインダイヤルをカメラモードにする。	36
		ハンドルのロックレバーがロックになっている。	左にスライドさせ、ロックを解除する。（ロックしているとオレンジ色が見えます）	36
	ピントが合わない。	ピントの自動調整が苦手な被写体である。	マニュアルでピントを合わせる。	46
		ファインダーの視度が合っていない。	視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。	22
		レンズが汚れている。	最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く。（ティッシュペーパーで拭くのはなるべく避けてください。）	171
	タリーランプが点灯／点滅しない。	メニューでタリーランプ「切」を選んだ。	メニューでタリーランプを「点灯」または「点滅」にする。	148
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に白い帯が出る。	CCDのスミア現象で故障ではありません。	Avモードで、F5.6～F8.0で撮影してください。	74
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整していない。	視度調整レバーで調整する。	22
	音声が記録されない	INPUT SELECTスイッチが正しい位置になっていない。	正しい位置にする。	61 118
		REC LEVELスイッチがM（マニュアル）になっていて、入力レベルをしぼっている。	レベルメーターで確認しながら適正なレベルにする。	66
	音声が極端に小さい	リア端子から入力しているマイクがファンタム電源で+48Vスイッチがoffになっている。	+48VスイッチをONにする。	62 64
		ATT.スイッチがATT.になっている。	ATT.スイッチをOFFにする。	62 64

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	📖
再生時	**再生ボタンを押しても再生しない。**	電源が入っていない、またはVCR/PLAY以外になっている。	メインダイヤルを「VCR/PLAY」にする。	36
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	30
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	170
		コピー制限されたテープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	109 161
	HDV再生時に、再生画が瞬間的に止まる。	ビデオヘッドが汚れている。	市販のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	170
カード	**カードが入らない。**	カードの向きが違っている。	カードの向きを確認して、正しい向きで入れる。	31
	カードに記録できない。	カードが入っていない。	カードを入れる。	31
		カードの空き容量がない。	不要な画像などを消去する。	135
		カードが初期化されていない。	本機でカードを初期化する。	138
		画像番号が最大になっていてファイル名が作成できない。	メニューで「画像番号」を「オートリセット」にし、新しいカードを入れる。	122
	カードが再生できない。	メインダイヤル、テープ/カード切換スイッチが正しくない。	メインダイヤルを「VCR/PLAY」、テープ/カード切換スイッチをカードアイコンにする。	123
	画像を消去できない。	画像がプロテクトされている。	画像のプロテクトを解除する。	137
	カードアイコンが赤く点滅する。	カードエラー。	電源を切り、カードを出し入れする。それでも点滅が続くときは、カードを初期化する。	138
その他	**手ぶれ補正機能付きレンズ使用時：レンズ内部に気泡ができる。**	ごくまれに飛行機や高い山などでは、レンズ内部に気泡が発生することがありますが、故障ではありません。気泡は、通常約1週間程度で消えますが、気圧や使用状況により変わります。		

次のページへ

トラブルシューティング…つづき

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズ、静電気などにより、ファインダーに通常出ない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源をいったん取り外し、先のとがったものでRESETボタンを押すと、すべての設定が解除されます。

液晶画面について

液晶画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。

低照度下での撮影について

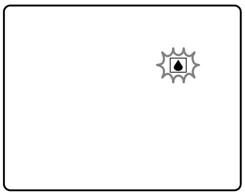
低照度下で、スローシャッターやゲインを上げて撮影しているときに、CCDの構造上白く輝く点が見えることがあります。
このような場合は、シャッタースピードを速くするか、ゲインを下げる、またはビデオライトなどの補助光を使用して撮影してください。

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。ファインダーに「結露しています」が約4秒間表示され、が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取り出してください」が表示され、が点滅します。



- カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、メインダイヤルでの電源の入／切とEJECTスイッチのみ働きます）。結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

結露を防ぐためには

- 温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、ファインダーのや電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

こんなときにはご注意

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

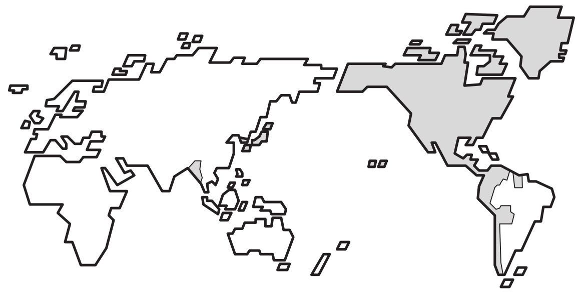
海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

● 録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像／音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による



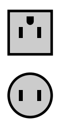
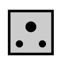
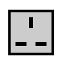
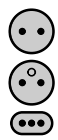
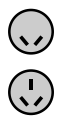
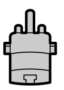
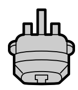
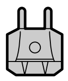
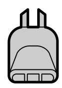
●アメリカ合衆国
●エクアドル
●カナダ
●キューバ
●グアム
●大韓民国
●チリ
●ドミニカ
●トリニダード・トバコ
●ニカラグア
●バミューダ
●プエルトルコ
●ベネズエラ
●ペルー
●米領サモア
●ボリビア
●グァテマラ
●グリーンランド
●コスタリカ
●コロンビア
●スリナム
●セントルシア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バラバドス
●ミャンマー
●フィリピン
●ホンジュラス
●ミクロネシア
●メキシコ
●台湾

バッテリーパックの充電

コンパクトパワーアダプターCA-920は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国／地域では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

■海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

次のページへ

海外で使うとき…つづき

世界時計の都市と代表国

本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ヶ所の標準時間を表示できます。
28ページの手順4-②で、エリア（都市名）を選んでください。
エリアの右に ☀ が付くと、サマータイムになります。

エリアと日本との時差（*日本標準時）

ロンドン	−9	ホンコン	−1	ロサンゼルス	−17
パリ	−8	トウキョウ	0	デンバー	−16
カイロ	−7	シドニー	+1	シカゴ	−15
モスクワ	−6	ソロモン	+2	ニューヨーク	−14
ドバイ	−5	ウェリントン	+3	カラカス	−13
カラチ	−4	サモア	−20	リオ	−12
ダッカ	−3	ホノルル	−19	フェルナンド	−11
バンコク	−2	アンカレジ	−18	アゾレス	−10

保証書とアフターサービス

● 本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、キヤノンサービスセンターまたはご購入いただいた販売店にご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より１年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはキヤノンサービスセンター、またはご購入店にお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様（型式：XL H1）

システム

録画方式：	回転ヘッドヘリカルスキャン
映像記録規格：	HDV：HDV 1080i DV：DV方式（民生用デジタルVCR　SD方式）
音声記録方式：	HDV：MPEG-1 Audio Layer2/MPEG-2 Audio Layer2 16bit 48kHz 転送レート384kbs（2ch） DV：PCMデジタル記録 16bit (48kHz/2ch)、12bit (32kHz/4ch)
信号方式：	NTSC方式準拠 1080/60i方式
使用可能ビデオカセット：	Mini DV のついたミニDVカセット
テープ速度：	HDV：約18.81mm/秒 DV：約18.81mm/秒（SPモード時） 約12.56mm/秒（LPモード時）
録画／再生時間：	HDV：60分（60分テープ使用時） DV：60分（60分テープ使用時/SPモード時） 90分（60分テープ使用時/LPモード時）
早送り／巻戻し時間：	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子：	1/3型CCD×3　（水平画素ずらし） 総画素：約167万画素 有効画素：HD：156万画素 SD16：9 156万画素 SD4：3　117万画素
ビューファインダー：	カラー液晶ファインダー （2.4型ワイド、約21.5万画素、RGBデルタ配列）
マイク：	MS方式ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク
レンズマウント：	XLマウントシステム準拠
焦点調整：	TTL AF方式、フォーカスリングによる手動調節可 （HD 20X L IS レンズ装着時）
色温度切り換え：	自動追尾型WB、セット、プリセット、色温度設定機能付き
最低被写体照度：	0.5ルクス（HD 20X L ISレンズ装着時、60i/30Fモード、マニュアルモード、シャッター速度1/4秒、F1.6、ゲイン18dB）
推奨被写体照度：	100ルクス以上
被写体照度範囲：	0.5－10万ルクス（60i/30Fモード）
記録カード：	マルチメディアカード、SDメモリーカード
カード記録画素数：	静止画1920×1080、1440×1080、848×480、640×480
カード記録規格：	DCF準拠、Exif2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法：	JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）

* 本機では、2GBまでのSDメモリーカードの動作を確認しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。
ＸＬＨ1は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
ＸＬＨ1は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

S映像入出力端子：	4ピンミニDIN 輝度信号：1Vp-p／75Ω 色信号：0.286Vp-p／75Ω
映像入出力端子：	RCAピンジャック／BNCジャック 1Vp-p／75Ω　不平衡
音声出力端子：	RCAピンジャック（L、R）、2系統 －10dBv（47kΩ負荷時、フルスケール－12dB）／3kΩ以下、不平衡
音声入力端子：	
フロントマイク端子：	φ3.5mmステレオミニジャック（アンバランス） 感度：－55dBv（Auto Mode）/600Ω 最大感度：－67dBv(Manual Mode vol. Max) ATT：20dB
AUDIO 1、2端子：	RCA端子（アンバランス） 感度：－10dBv/47ｋΩ
リア端子	XLR端子（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド） LINE/MICスイッチMIC時：感度：－54dBv (Auto Mode)/ 600Ω 最大感度1：－66dBv (Auto Mode/ REAR MIC Gain Up 12dB) 最大感度2：－66dBv (Manual Mode/ vol. Max) 最大感度3：－78dBv (Manual Mode /vol. Max + REAR MIC Gain Up 12dB) ATT：20dB LINE/MICスイッチLINE時：感度：0dBv
HDV/DV端子：	4ピン（IEEE1394準拠）、入出力兼用

ヘッドホン端子：　φ3.5mmステレオミニジャック
−23.5dBv（16Ω負荷時）／50Ω
LANC リモート端子：　φ2.5mmステレオミニミニジャック
GENLOCK端子（BNC型）：　入力のみ1.0Vp−p、75Ω
TC-IN端子（BNC型）：　入力のみ0.5V−1.8Vp−p、10KΩ
TC-OUT端子（BNC型）：　出力のみ1.0Vp−p、75Ω
HD/SD-SDI端子（BNC型）：　出力のみ0.8Vp−p、75Ω、不平衡
SDI 480/60i：SMPTE 259M準拠
HD-SDI:SMPTE292M準拠
コンポーネント出力端子：　D3/D1対応

電源／その他

電源電圧：　DC7.4V（公称）
消費電力：　約7.8W（録画中・AF合焦時、HD 20X L IS レンズ装着時、HDモード時）
動作温度：　0℃−+40℃
外形寸法：　約226（幅）×220（高さ）×496（奥行）mm
撮影時総質量：　約3750g　（HD 20X L IS レンズ、レンズフード、
バッテリーパックBP-950G、ビデオカセット30分用含む）
本体質量：　約2435g

レンズ

本機に装着したときに、画角などが変わります。

	XL H1装着時の画角		XL H1装着時の至近距離画界	
	広角端	望遠端	広角端	望遠端
HD 20X ズームレンズ L IS	39° 51'×30° 29' (4：3時) 51° 36'×30° 29' (16：9時)	2° 05'×1° 34' (4：3時) 2° 46'×1° 34' (16：9時)	47.7×35.4mm (4：3時) 64.8×35.4mm (16：9時) [距離20mm]	52.9×39.7mm (4：3時) 70.5×39.7mm (16：9時) [距離1m]
20Xズームレンズ L IS	39° 51'×30° 29' (4：3時) 51° 36'×30° 29' (16：9時)	2° 05'×1° 34' (4：3時) 2° 46'×1° 34' (16：9時)	47.7×35.4mm (4：3時) 64.8×35.4mm (16：9時) [距離20mm]	52.9×39.7mm (4：3時) 70.5×39.7mm (16：9時) [距離1m]
16Xズームレンズ (マニュアル)	39° 51'×30° 29' (4：3時) 51° 36'×30° 29' (16：9時)	2° 36'×1° 57' (4：3時) 3° 28'×1° 57' (16：9時)	60.1×44.6mm (4：3時) 81.9×44.6mm (16：9時) [距離50mm]	42.0×31.7mm (4：3時) 55.8×31.7mm (16：9時) [距離1m]
3Xワイドレンズ	59° 52'×46° 48' (4：3時) 75° 01'×46° 48' (16：9時)	21° 44'×16° 25' (4：3時) 28° 42'×16° 25' (16：9時)	58.8×44.2mm (4：3時) 78.2×44.2mm (16：9時) [距離20mm]	203.0×152.7mm (4：3時) 270.2×152.7mm(16：9時) [距離0.5m]
16Xズームレンズ (IS II)	39° 11'×29° 57' (4：3時) 50° 46'×29° 57' (16：9時)	2° 33'×1° 55' (4：3時) 3° 24'×1° 55' (16：9時)	45.3×33.7mm (4：3時) 61.7×33.7mm (16：9時) [距離20mm]	59.4×44.7mm (4：3時) 79.3×44.7mm (16：9時) [距離1m]

コンパクトパワーアダプター　CA-920

おもな仕様

電源	AC 100-240V、50/60Hz
出力電力／消費電力	アダプターモード時　公称DC7.2V、2.0A
	35VA(AC 100V)〜47VA(AC 240V)
	チャージモード時　公称DC8.4V、1.5A
	29VA(AC 100V)〜40VA(AC 240V)
使用温度	0℃〜+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約75×51×99mm
本体質量	約215g

バッテリーパック　BP-950G

おもな仕様

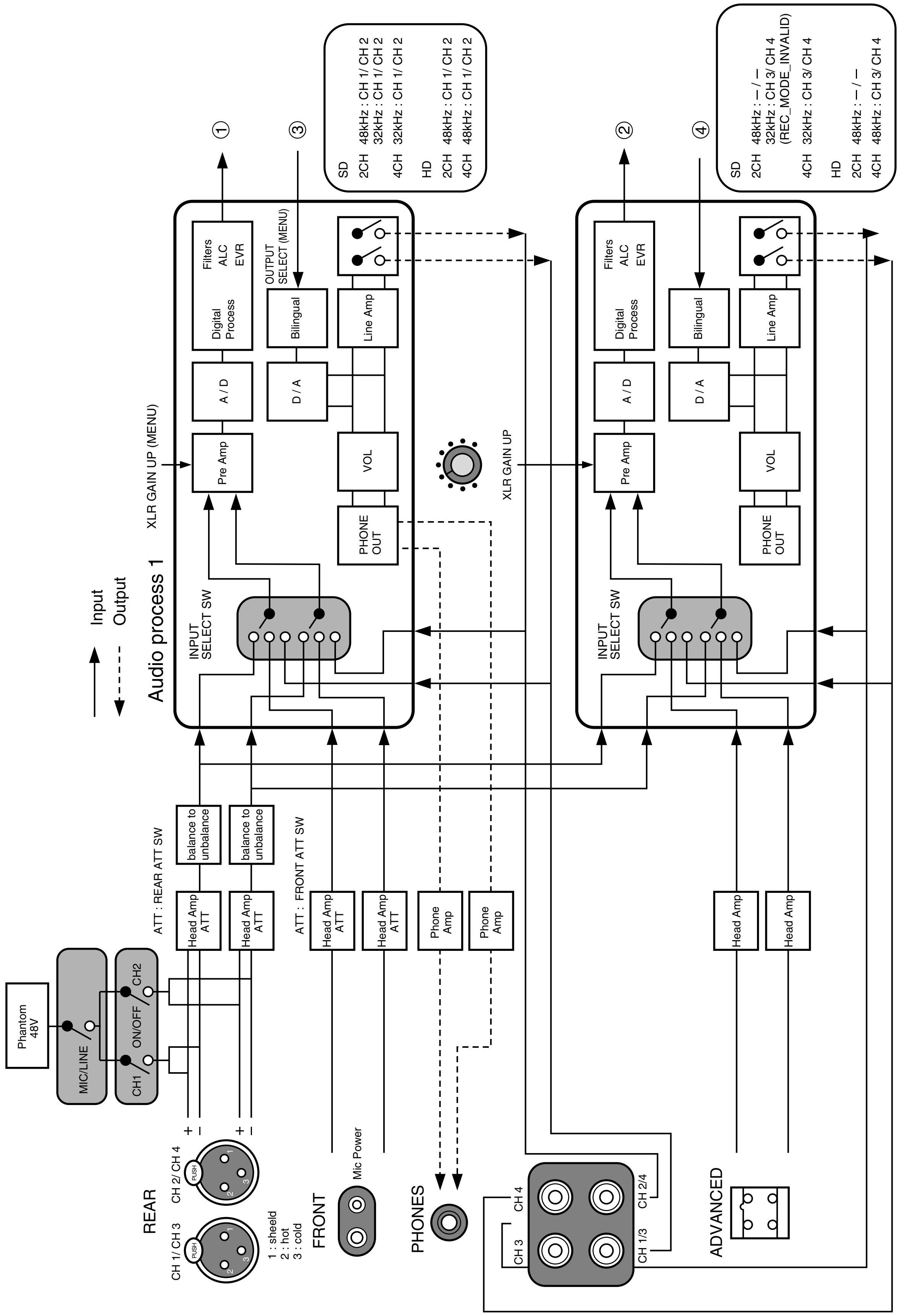
使用電池	リチウムイオン蓄電池
使用温度	0℃〜+40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	5200mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	38.2×40.3×70.5mm
質量	約210g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

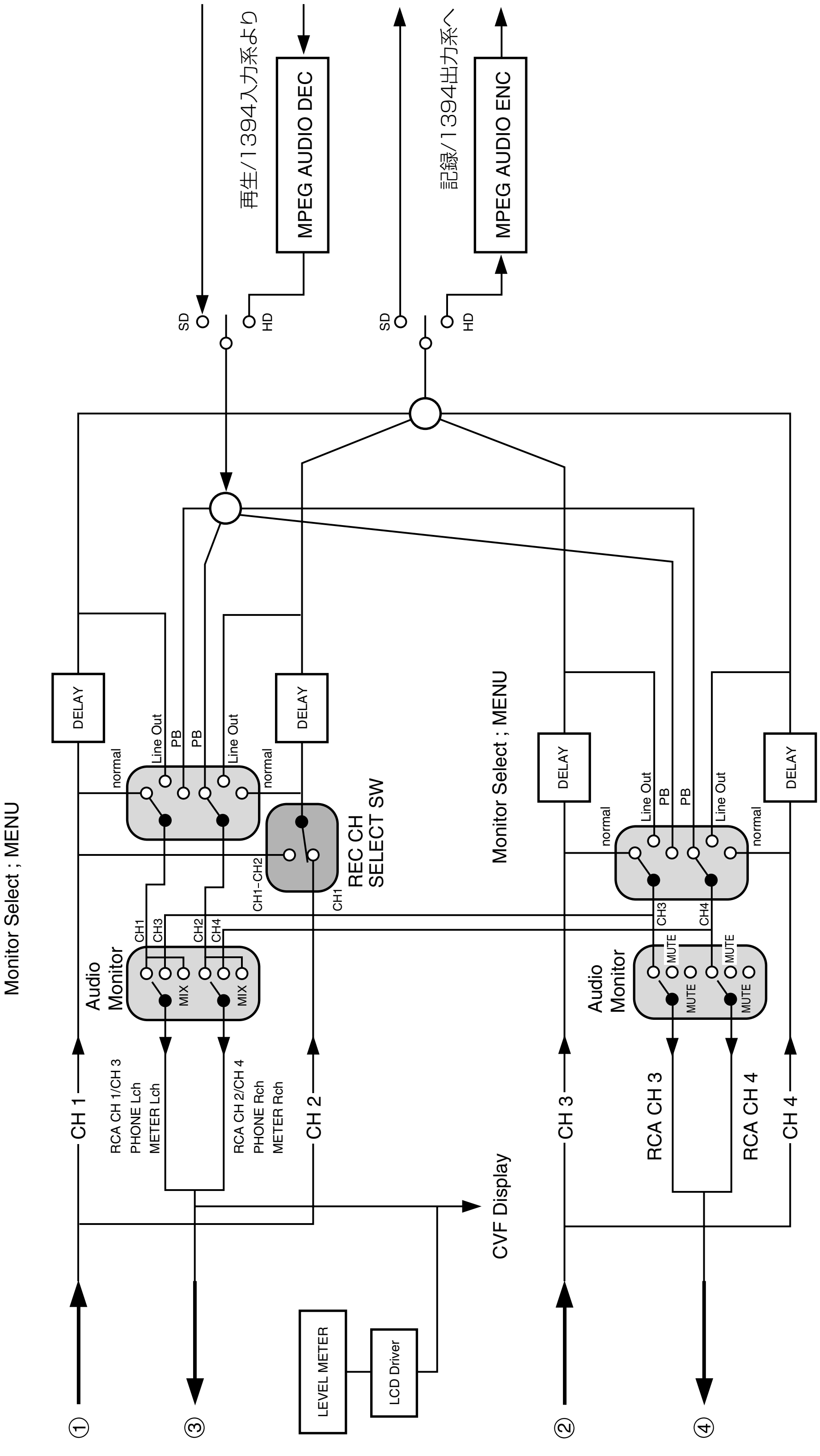
索 引

その他

オーディオブロック図



Input
Output
Audio process 1
XLR GAIN UP (MENU)
XLR GAIN UP
INPUT SELECT SW
OUTPUT SELECT (MENU)
Pre Amp
A / D
Digital Process
Filters ALC EVR
D / A
Bilingual
Line Amp
VOL
PHONE OUT
SD
2CH 48kHz : CH 1/ CH 2
32kHz : CH 1/ CH 2
4CH 32kHz : CH 1/ CH 2
HD
2CH 48kHz : CH 1/ CH 2
4CH 48kHz : CH 1/ CH 2
SD
2CH 48kHz : – / –
32kHz : CH 3/ CH 4
(REC_MODE_INVALID)
4CH 32kHz : CH 3/ CH 4
HD
2CH 48kHz : – / –
4CH 48kHz : CH 3/ CH 4
①
②
③
④
ATT : REAR ATT SW
ATT : FRONT ATT SW
balance to unbalance
Head Amp ATT
Phone Amp
Head Amp
Phantom 48V
MIC/LINE
ON/OFF
CH1
CH2
REAR
CH 1/ CH 3
CH 2/ CH 4
1 : sheeld
2 : hot
3 : cold
FRONT
Mic Power
PHONES
CH 4
CH 3
CH 2/4
CH 1/3
ADVANCED


Monitor Select ; MENU
Audio Monitor
MIX
CH1
CH3
CH2
CH4
normal
Line Out
PB
DELAY
REC CH SELECT SW
CH1–CH2
CH1
CH 1
CH 2
CH 3
CH 4
RCA CH 1/CH 3
PHONE Lch
METER Lch
RCA CH 2/CH 4
PHONE Rch
METER Rch
CVF Display
LEVEL METER
LCD Driver
①
②
③
④
MUTE
RCA CH 3
RCA CH 4
SD
HD
再生/1394入力系より
MPEG AUDIO DEC
記録/1394出力系へ
MPEG AUDIO ENC

カスタムキー一覧

コピーしてお持ちになると便利です。

カメラモード

タイムコード
インデックス記録
ゼブラパターン
VCRストップ
オンスクリーン
TC HOLD
レベルメーター
EVFシロクロモード
CPマイナス＊
FB
EVF反転モード

＊カスタムキー2のみ

VCR/PLAYモード

タイムコード
オンスクリーン
データコード
レベルメーター
TC HOLD
EVFシロクロモード

カードカメラモード

ゼブラパターン
オンスクリーン
EVFシロクロモード
FB
CPマイナス＊
EVF反転モード

＊カスタムキー2のみ

カードVCR/PLAYモード

オンスクリーン
データコード
EVFシロクロモード

Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

（2005年9月15日現在）

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

製品名	お問い合わせ
XL H1	**キヤノン販売　お客様相談センター**

（全国共通番号）050-555-90004

受付時間：平日 9:00～12:00　13:00～17:00
（休業日：土、日、祝日）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。
※ 上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報　http://canon.jp/dv
キヤノン サポートページ　http://canon.jp/support

保証書別添付　保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

Li-ion
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

この使用説明書は100%再生紙を使用しています。

PUB. DIJ-222
0000Ni0.00

PRINTED IN JAPAN